

測量成果電子納品要領

平成 29 年 4 月

岐 阜 県

測量成果電子納品要領

<目 次>

1	適用	1
2	フォルダ構成	2
2-1	全体構成	2
2-2	サブフォルダ構成	10
3	成果品の管理項目	28
3-1	測量情報管理項目	28
3-2	測量成果管理項目	37
3-3	ドキュメント管理項目	40
4	ファイル形式	42
4-1	基準点測量成果ファイル	45
4-2	水準測量成果ファイル	49
4-3	地形測量及び写真測量成果ファイル	52
4-4	路線測量成果ファイル	66
4-5	河川測量成果ファイル	73
4-6	用地測量成果ファイル	82
4-7	その他の応用測量成果ファイル	88
4-8	ドキュメントファイル	89
5	ファイルの命名規則	90
5-1	管理ファイル等	90
5-2	測量成果ファイル等	91
5-3	ドキュメントファイル	108
6	検符等及び第三者機関検定	109
6-1	検符及び押印	109
6-2	第三者機関検定	110
7	電子媒体	111
7-1	使用媒体	111
7-2	電子媒体の表記規則	111
7-3	電子データのバックアップ	113
7-4	成果品が複数枚に渡る場合の処置	113
8	その他留意事項	115
8-1	ウイルス対策	115
8-2	使用文字	116
8-3	電子化が困難な資料の取り扱い	117
8-4	測地系	117
付属資料 1	管理ファイルの DTD	付 1-1
付属資料 2	管理ファイルの XML 記入例	付 2-1
付属資料 3	成果表フォーマット	付 3-1
付属資料 4	CAD データ作成に当たっての留意点	付 4-1

1 適用

「測量成果電子納品要領」(以下「本要領」という)は、測量作業共通仕様書および用地調査等で定められた測量成果等を電子的手段により提出する際の基準を定めたものである。

【解説】

本要領は、表 1-1に示される共通仕様書及び特記仕様書に規定される成果品に適用することを基本とし、国土交通省公共測量作業規程に従って作成される測量成果等を電子納品する際の標準的な仕様を定めるものである。

なお、本要領は、世界測地系に準拠して行われる測量業務に適用されるものとする。また、本要領で定められていない電子媒体、使用文字等の電子納品の通則は、「調査設計業務等の電子納品要領」による。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	測量業務共通仕様書	岐阜県
2	用地調査等共通仕様書	国土交通省

用地調査等共通仕様書に規程される業務のうち、補償調査等、用地測量以外の業務は、本要領の対象外とする。

2 フォルダ構成

2-1 全体構成

電子的手段により引き渡される測量成果品は、図 2-1に示されるフォルダ構成とする。

電子媒体のルート直下には、「SURVEY」フォルダ及び業務管理ファイルを置く。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

「SURVEY」フォルダの下には、「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKEL」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」、「OTHRSOYO」、「DOC」のサブフォルダと、測量情報管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

また、「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKEL」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」、「OTHRSOYO」の各フォルダの下には、「測量記録」、「測量成果」、「その他データ」を格納するための「WORK」、「DATA」、「OTHR」サブフォルダをそれぞれ作成する。

格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

サブフォルダの構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。また、各サブフォルダに格納するファイルは、次による。

- 「KITEN」サブフォルダには、基準点測量の成果等及び基準点測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「SUIJUN」サブフォルダには、水準測量の成果等及び水準測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「CHIKEL」サブフォルダには、地形測量及び写真測量の成果等及び地形測量及び写真測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「ROSEN」サブフォルダには、路線測量の成果等及び路線測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「KASEN」サブフォルダには、河川測量の成果等及び河川測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合

わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

- 「YOUCHI」サブフォルダには、用地測量の成果等及び用地測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「OTHRISOYO」サブフォルダには、その他の応用測量の成果等及びその他の応用測量成果管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。
- 「DOC」サブフォルダには、当該測量業務に関するドキュメントファイル(製品仕様書、特記仕様書等)及びドキュメント管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

(留意事項)

- フォルダ名称は、半角英数大文字とする。
- フォルダ構成図のフォルダの順番は例示であり、表示の順番はこれによるものではない。

【解説】

(1) 電子媒体ルート

1) 業務管理ファイル

電子媒体ルートに格納する「業務管理ファイル」は、「業務管理項目」(業務の属性を表すデータ)を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「INDEX_D.XML」とする。「業務管理ファイル」の詳細は、「調査設計業務等の電子納品要領」による。業務管理ファイルを規定する DTD 「INDE_Dnn.DTD」及び XSL 「INDE_Dnn.XSL」(nn はバージョン番号を表す。)も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

(2) SURVEY フォルダ(測量データフォルダ)

1) 測量情報管理ファイル

「SURVEY」フォルダに格納する「測量情報管理ファイル」は、「測量情報管理項目」(測量情報の属性を表すデータ)を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURVEY.XML」とする。「測量情報管理項目」の詳細は、「3-1 測量情報管理項目」による。測量情報管理ファイルを規定する DTD 「SURVEY03.DTD」及び XSL 「SURVEY03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

(3) KITEN サブフォルダ(基準点測量サブフォルダ)

1) 基準点測量成果管理ファイル

「KITEN」サブフォルダに格納する「基準点測量成果管理ファイル」は、「基準点測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_KTN.XML」とする。「基準点測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルの DTD「SURV_D03.DTD」及び XSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

基準点測量の測量記録^(注1)を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

基準点測量の測量成果^(注2)を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

基準点測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない基準点測量の成果等を格納する。

(注 1) 測量記録とは、測量作業の工程で得られる測量成果以外の記録・資料等の成果等である(成果等の詳細は、表 2-3参照)。

(注 2) 測量成果とは、測量作業の最終工程で得られる成果等で、本要領で規定するものである(成果等の詳細は、表 2-3参照)。国土交通省公共測量作業規程では、測量分類又は測量細分類ごとに整理すべき成果等を明示している。本要領では、「測量記録」、「測量成果」に区分して納品する。

(4) SUIJUN サブフォルダ(水準測量サブフォルダ)

1) 水準測量成果管理ファイル

「SUIJUN」サブフォルダに格納する「水準測量成果管理ファイル」は、「水準測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_SJN.XML」とする。「水準測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルの DTD「SURV_D03.DTD」及び XSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

水準測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

水準測量の測量成果を格納する。本サブフォルダの以下に含まれるサブフォル

ダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

水準測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない水準測量の成果等を格納する。

(5) CHIKEI サブフォルダ(地形測量及び写真測量サブフォルダ)

1) 地形測量及び写真測量成果管理ファイル

「CHIKEI」サブフォルダに格納する「地形測量及び写真測量成果管理ファイル」は、「地形測量及び写真測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_CHI.XML」とする。「地形測量及び写真測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルの DTD「SURV_D03.DTD」及び XSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

地形測量及び写真測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

地形測量及び写真測量の測量成果を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

地形測量及び写真測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない地形測量及び写真測量の成果等を格納する。

(6) ROSEN サブフォルダ(路線測量サブフォルダ)

1) 路線測量成果管理ファイル

「ROSEN」サブフォルダに格納する「路線測量成果管理ファイル」は、「路線測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_RSN.XML」とする。「路線測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルの DTD「SURV_D03.DTD」及び XSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

路線測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

路線測量の測量成果を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHRs)

路線測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない路線測量の成果等を格納する。

(7) KASEN サブフォルダ(河川測量サブフォルダ)

1) 河川測量成果管理ファイル

「KASEN」サブフォルダに格納する「河川測量成果管理ファイル」は、「河川測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_KSN.XML」とする。「河川測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルの DTD「SURV_D03.DTD」及び XSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

河川測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

河川測量の測量成果を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHRs)

河川測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない河川測量の成果等を格納する。

(8) YOUCHI サブフォルダ(用地測量サブフォルダ)

1) 用地測量成果管理ファイル

「YOUCHI」サブフォルダに格納する「用地測量成果管理ファイル」は、「用地測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_YCH.XML」とする。「用地測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルの DTD「SURV_D03.DTD」及び XSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

用地測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

用地測量の測量成果を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ

構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

用地測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない用地測量成果を格納する。

【解説】用地測量成果の電子納品方法

用地測量成果は個人情報が含まれている場合があるため、電子納品方法を別途定めた。詳細については、「電子納品運用ガイドライン」の「6-8 用地調査業務等の電子納品」に示す。

(9) OTHRSOYO サブフォルダ(その他の応用測量サブフォルダ)

1) その他の応用測量成果管理ファイル

「OTHRSOYO」サブフォルダに格納する「その他の応用測量成果管理ファイル」は、「その他の応用測量成果管理項目」(測量成果の属性を表すデータ)をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_OYO.XML」とする。「その他の応用測量成果管理項目」の詳細は、「3-2 測量成果管理項目」による。測量成果管理ファイルのDTD「SURV_D03.DTD」及びXSL「SURV_D03.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。

2) 測量記録サブフォルダ(WORK)

その他の応用測量の測量記録を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

3) 測量成果サブフォルダ(DATA)

その他の応用測量の測量成果を格納する。本サブフォルダ以下に含まれるサブフォルダ構成は、「2-2 サブフォルダ構成」による。

4) その他データサブフォルダ(OTHR)

その他の応用測量における各種証明書や説明書を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていないその他の応用測量成果を格納する。

(10) DOC サブフォルダ(ドキュメントサブフォルダ)

1) ドキュメント管理ファイル

「DOC」サブフォルダに格納する「ドキュメント管理ファイル」は、「ドキュメント管理項目」をXML文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_DOC.XML」とする。「ドキュメント管理項目」の詳細は、「3-3 ドキュメント管理項目」による。ドキュメント管理ファイルのDTD「SDOC_D01.DTD」及びXSL「SDOC_D01.XSL」も本フォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。

2) ドキュメントファイル

「DOC」サブフォルダには、「ドキュメントファイル」を格納する。表 2-1に示す当該測量作業のドキュメントを、「DOC」サブフォルダ直下に格納する。「DOC」フォルダは、細分しない。

表 2-1 ドキュメントファイルの種類

成果品の名称	備考
製品仕様書	当該測量作業の基となった製品仕様書
特記仕様書	当該測量作業の基となった特記仕様書
協議書	作業期間中にやりとりされた協議書
実施報告書	実施報告、現場写真、案内図等

(11) REPORT、DRAWING、PHOTO、BORING フォルダの扱い

測量作業のみの成果等の電子納品では原則として使用しない。ただし、地質・土質調査、設計など他の業務等と合わせて測量作業が発注された場合など、本要領に規定されていない電子成果品の提出が必要な場合は、電子成果品の取扱いや他の電子納品要領・基準の適用について受発注者間協議により定める。

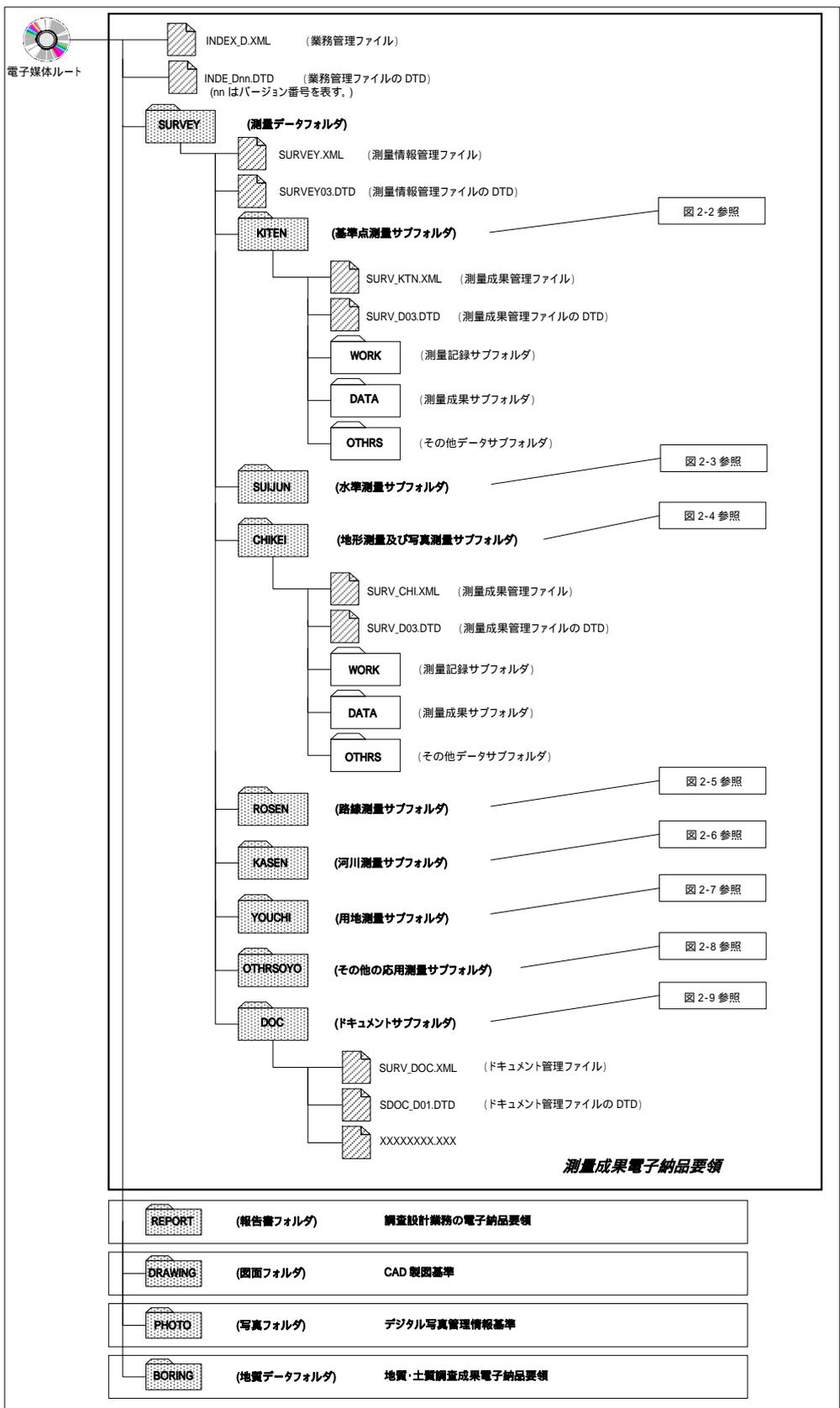


図 2-1 フォルダ構成 (全体構成)

2-2 サブフォルダ構成

「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKEI」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」、「OTHRISOYO」サブフォルダ以下の「WORK」、「DATA」サブフォルダには、実施した測量作業と、測量地域又は測量精度に応じて測量細区分を示すサブフォルダを作成し、成果等を格納する。測量細区分を示すサブフォルダ名は、表 2-2による。

【解説】

測量成果等を格納するフォルダは、8つのサブフォルダ「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKEI」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」、「OTHRISOYO」、「DOC」から構成される。「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKEI」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」、「OTHRISOYO」、「DOC」サブフォルダ構成は、図 2-2～図 2-9による。

「DOC」を除く各フォルダには、測量作業の途中段階である測量記録(観測手簿、観測記簿等)、最終的な測量成果(成果表、数値地形図データファイル等)、その他のデータ(各種証明書、説明書等)を分類して格納するための「WORK」、「DATA」、「OTHRIS」サブフォルダを作成し、当該成果等を格納する。

成果区分、測量細区分ごとの成果等の一覧は、表 2-3による。

例：「KITEN」サブフォルダは、次のサブフォルダにより構成される。

- 「WORK」サブフォルダ(測量記録を格納)
- 「DATA」サブフォルダ(測量成果を格納)
- 「OTHRIS」サブフォルダ(その他データを格納)

「WORK」、「DATA」サブフォルダは、実施した測量作業(撮影、空中三角測量等)に応じて細分し、さらに、測量地域、測量の等級・地図情報レベルに応じて、A～Z, 1～9の記号によって補助的に区分した細区分サブフォルダを作成し、当該成果等を格納する。これらのサブフォルダは、表 2-2による。

例：「CHIKEI/WORK」サブフォルダを、撮影(2 地区)、空中三角測量(2 地区)で細区分した場合

- CHIKEI/WORK/SATU_A
- CHIKEI/WORK/SATU_B
- CHIKEI/WORK/KUSAN_A
- CHIKEI/WORK/KUSAN_B

なお、測量区分内で測量作業を細区分しない場合は、A の記号を割り当てる。

例：「KITEN/WORK」サブフォルダを測量作業で細区分せず、1 つのサブフォルダを作成する場合

- KITEN/WORK/KTN_A

表 2-2 測量細区分とサブフォルダ構成

測量区分	成果区分	測量細区分	サブフォルダ名
基準点測量 <KITEN>	測量記録 <WORK>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN /WORK/KTN_*
	測量成果 <DATA>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN /DATA/KTN_*
	その他データ <OTHR>		/KITEN /OTHR
水準測量 <SUIJUN>	測量記録 <WORK>	水準測量 <SJN_*>	/SUIJUN /WORK/SJN_*
	測量成果 <DATA>	水準測量 <SJN_*>	/SUIJUN /DATA/SJN_*
	その他データ <OTHR>		/SUIJUN /OTHR
地形測量及び写真測量 <CHIKI>	測量記録 <WORK>	現地測量 <TSGPS_*>	/CHIKI /WORK/TSGPS_*
		撮影 <SATU_*>	/CHIKI /WORK/SATU_*
		空中三角測量 <KUSAN_*>	/CHIKI /WORK/KUSAN_*
		数値図化 <ZUKA_*>	/CHIKI /WORK/ZUKA_*
		既成図数値化 <MPDG_*>	/CHIKI /WORK/MPDG_*
		写真地図作成 <ORTH_*>	/CHIKI /WORK/ORTH_*
		航空レーザ測量 <LASE_*>	/CHIKI /WORK/LASE_*
		地図編集 <ZUHEN_*>	/CHIKI /WORK/ZUHEN_*
		その他の地形測量及び写真測量 <OCHK_*>	/CHIKI /WORK/OCHK_*
		測量成果 <DATA>	
	その他データ <OTHR>		/CHIKI /OTHR

測量区分	成果区分	測量細区分	サブフォルダ名
路線測量 <ROSEN>	測量記録 <WORK>	中心線測量 <RCYUSN_*>	/ROSEN /WORK/RCYUSN_*
		縦横断測量 <RZYUO_*>	/ROSEN /WORK/RZYUO_*
		詳細測量 <RSYOS_*>	/ROSEN /WORK/RSYOS_*
		幅杭測量 <RHABA_*>	/ROSEN /WORK/RHABA_*
	測量成果 <DATA>	中心線測量 <RCYUSN_*>	/ROSEN /DATA/RCYUSN_*
		縦横断測量 <RZYUO_*>	/ROSEN /DATA/RZYUO_*
		詳細測量 <RSYOS_*>	/ROSEN /DATA/RSYOS_*
		幅杭測量 <RHABA_*>	/ROSEN /DATA/RHABA_*
	その他データ <OTHR>		/ROSEN /OTHR
	河川測量 <KASEN>	測量記録 <WORK>	距離標設置測量 <WKYOR_*>
定期縦横断測量 <WZYUO_*>			/KASEN /WORK/WZYUO_*
深浅測量 <WSINS_*>			/KASEN /WORK/WSINS_*
法線測量 <WHOSE_*>			/KASEN /WORK/WHOSE_*
海浜・汀線測量 <WKAINA_*>			/KASEN /WORK/WKAINA_*
測量成果 <DATA>		距離標設置測量 <WKYOR_*>	/KASEN /DATA/WKYOR_*
		定期縦横断測量 <WZYUO_*>	/KASEN /DATA/WZYUO_*
		深浅測量 <WSINS_*>	/KASEN /DATA/WSINS_*
		法線測量 <WHOSE_*>	/KASEN /DATA/WHOSE_*
		海浜・汀線測量 <WKAINA_*>	/KASEN /DATA/WKAINA_*
その他データ <OTHR>		/KASEN /OTHR	
用地測量 <YOUCHI>	測量記録 <WORK>	資料調査 <YSIRYO_*>	/YOUCHI /WORK/YSIRYO_*
		境界確認 <YKYOK_*>	/YOUCHI /WORK/YKYOK_*
		境界測量	/YOUCHI

測量区分	成果区分	測量細区分	サブフォルダ名
		<YKYOS_*>	/WORK/YKYOS_*
		境界点間測量	/YOUCHI
		<YTENKN_*>	/WORK/YTENKN_*
		面積計算	/YOUCHI
	測量成果 <DATA>	<YMENSK_*>	/WORK/YMENSK_*
		用地実測図等の作成	/YOUCHI
		<YZISKZ_*>	/WORK/YZISKZ_*
		資料調査	/YOUCHI
		<YSIRYO_*>	/DATA/YSIRYO_*
		境界確認	/YOUCHI
		<YKYOK_*>	/DATA/YKYOK_*
		境界測量	/YOUCHI
	<YKYOS_*>	/DATA/YKYOS_*	
	境界点間測量	/YOUCHI	
<YTENKN_*>	/DATA/YTENKN_*		
面積計算	/YOUCHI		
<YMENSK_*>	/DATA/YMENSK_*		
用地実測図等の作成	/YOUCHI		
<YZISKZ_*>	/DATA/YZISKZ_*		
その他データ <OTHR>		/YOUCHI	
		/OTHR	
その他の応 用測量 <OTHRSO YO>	測量記録 <WORK>	その他の応用測量 <OYO_*>	/OTHRSOYO /WORK/OYO_*
	測量成果 <DATA>	その他の応用測量 <OYO_*>	/OTHRSOYO /DATA/OYO_*
	その他データ <OTHR>		/OTHRSOYO /OTHR

(注1) *には、A～Z, 1～9 の記号を割り当て、測量地域、測量の等級・地図情報レベルに応じて、補助的に細区分する

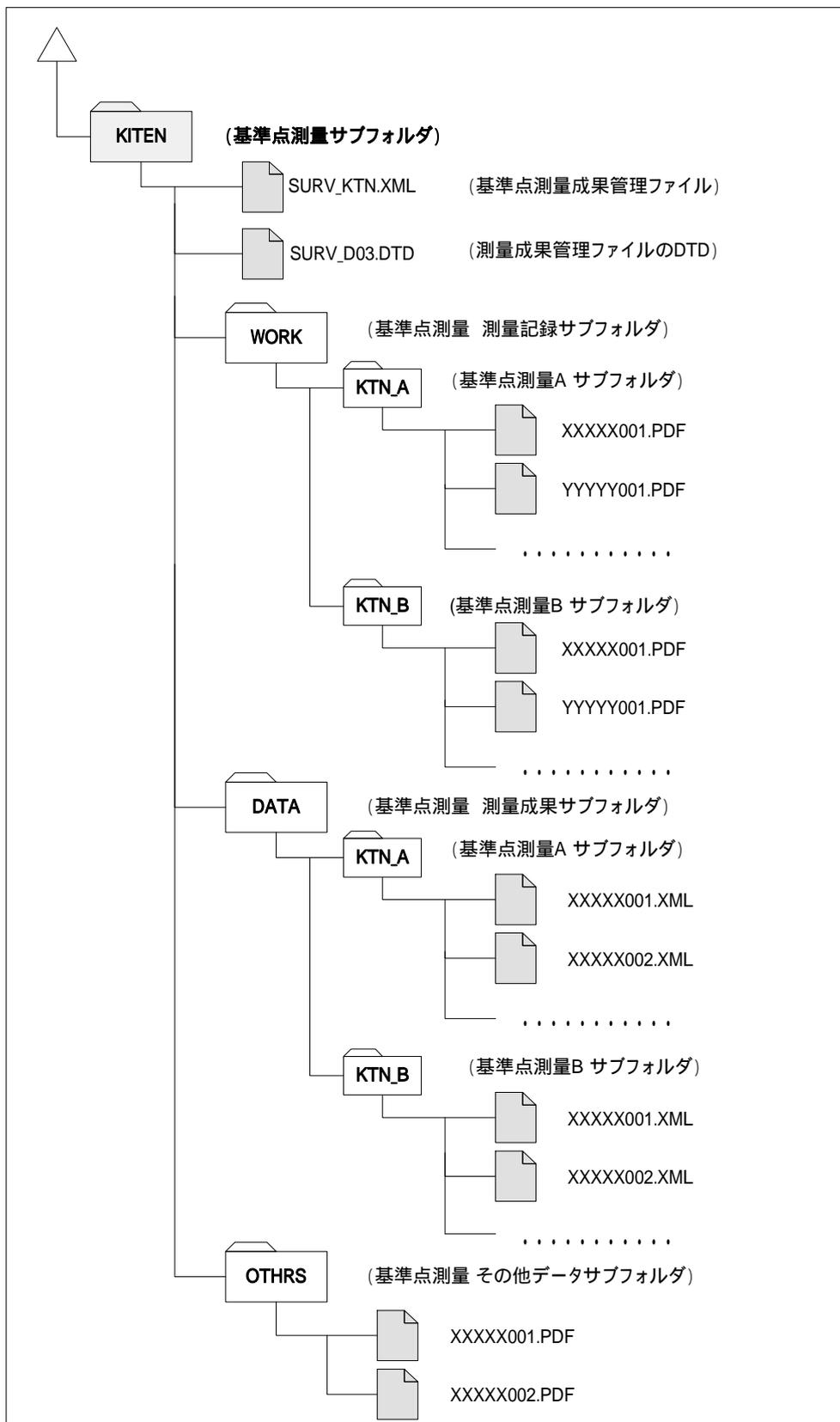


図 2-2 「KITEN」サブフォルダ構成

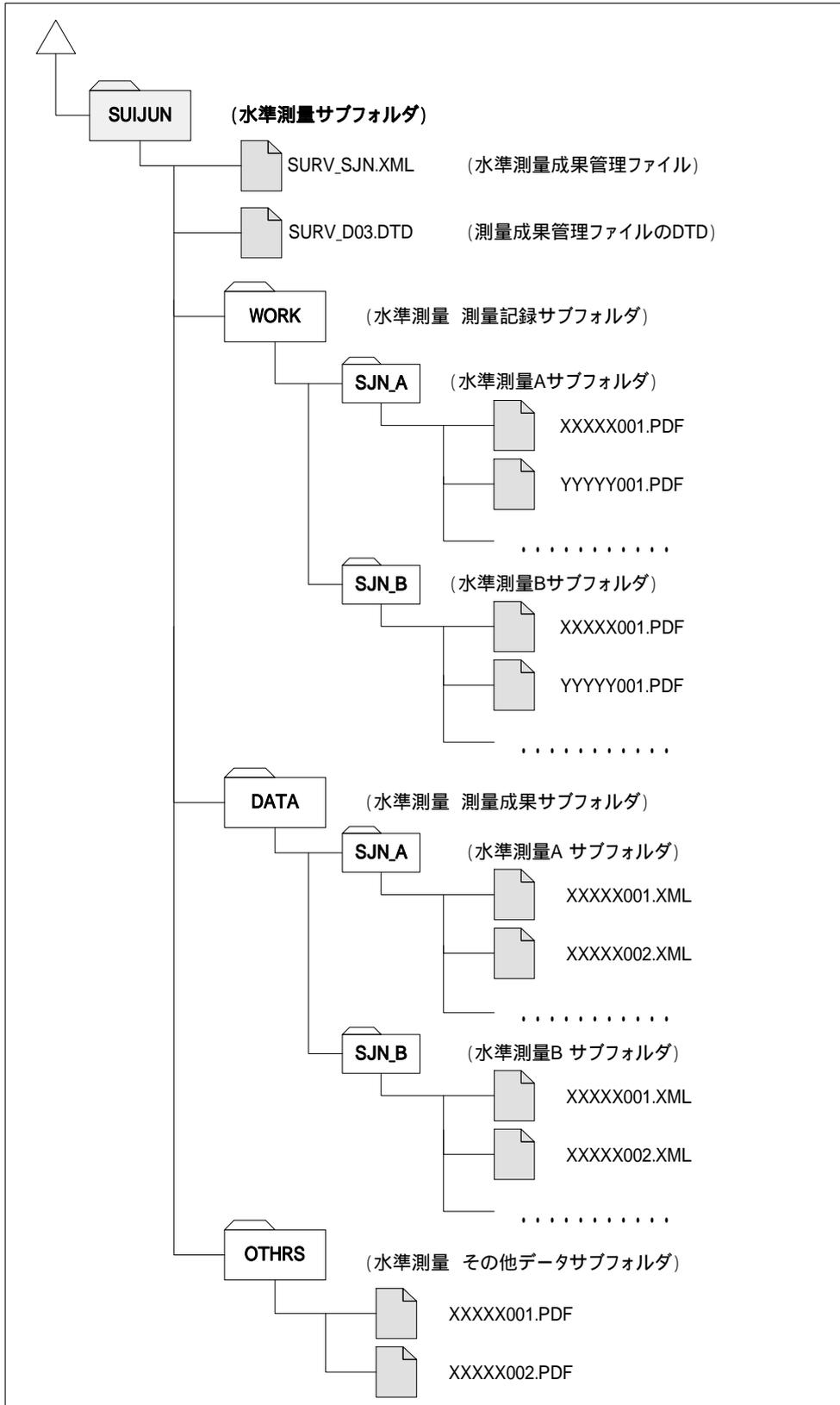


図 2-3 「SUIJUN」サブフォルダ構成

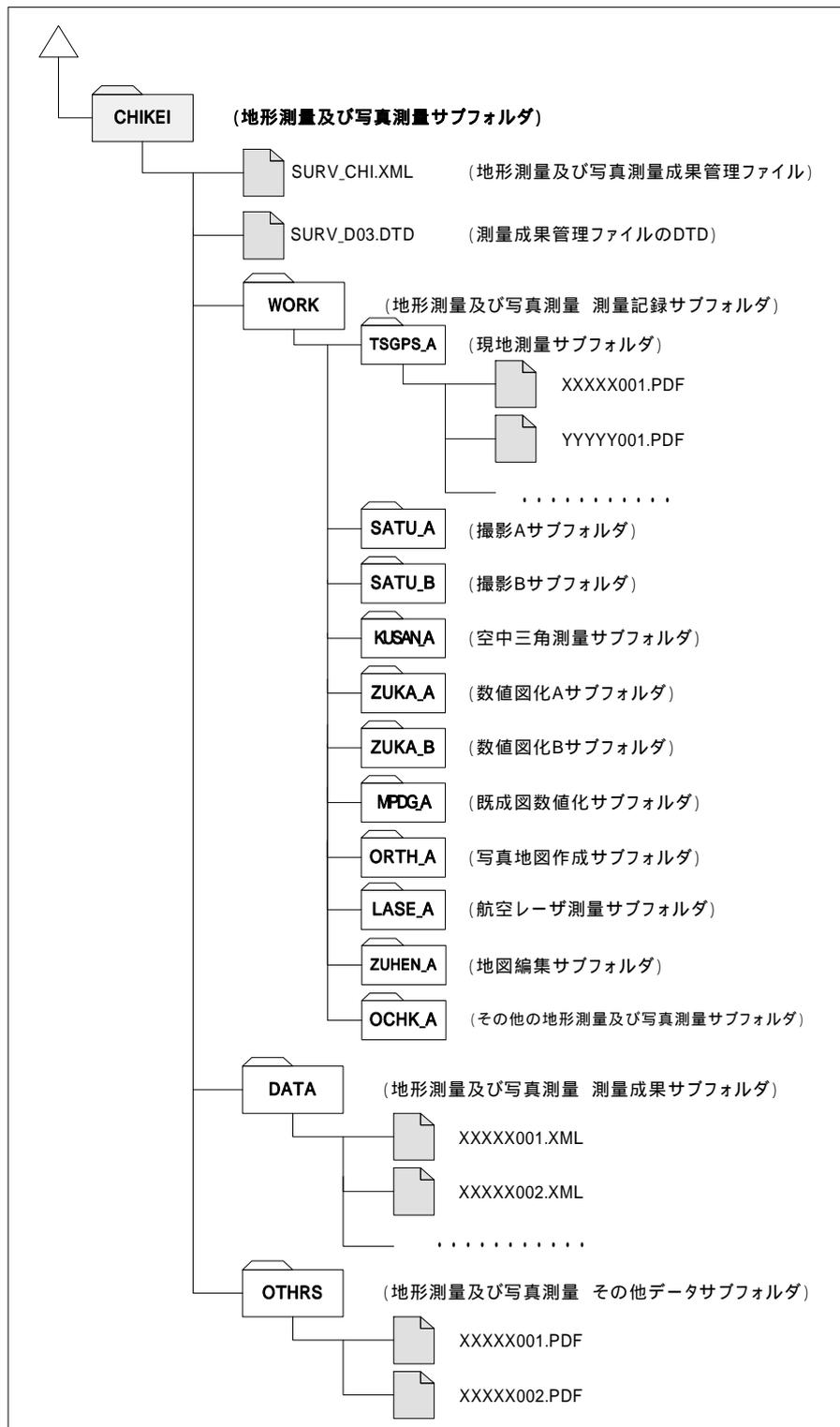


図 2-4 「CHIKEI」サブフォルダ構成

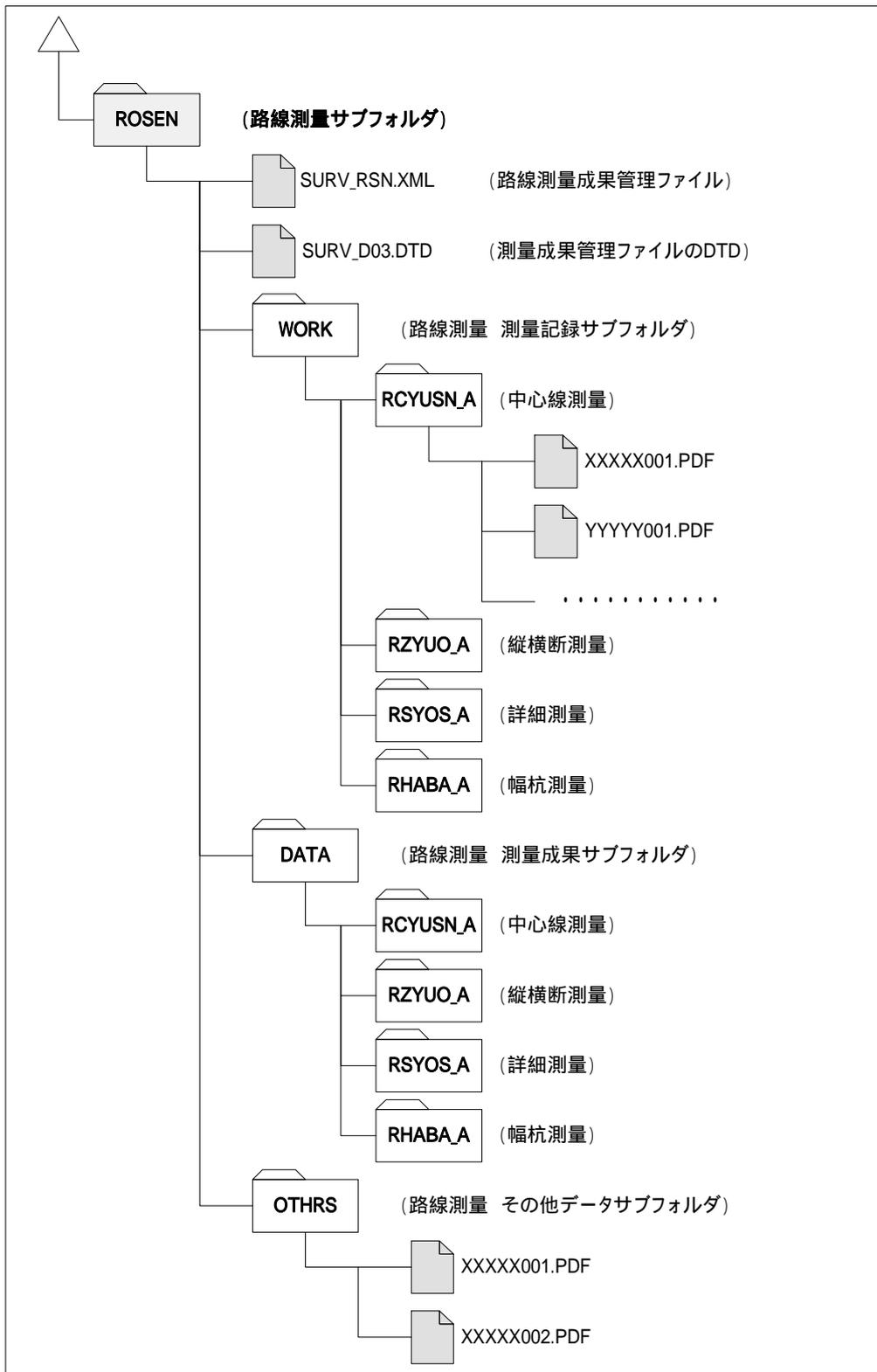


図 2-5 「ROSEN」サブフォルダ構成

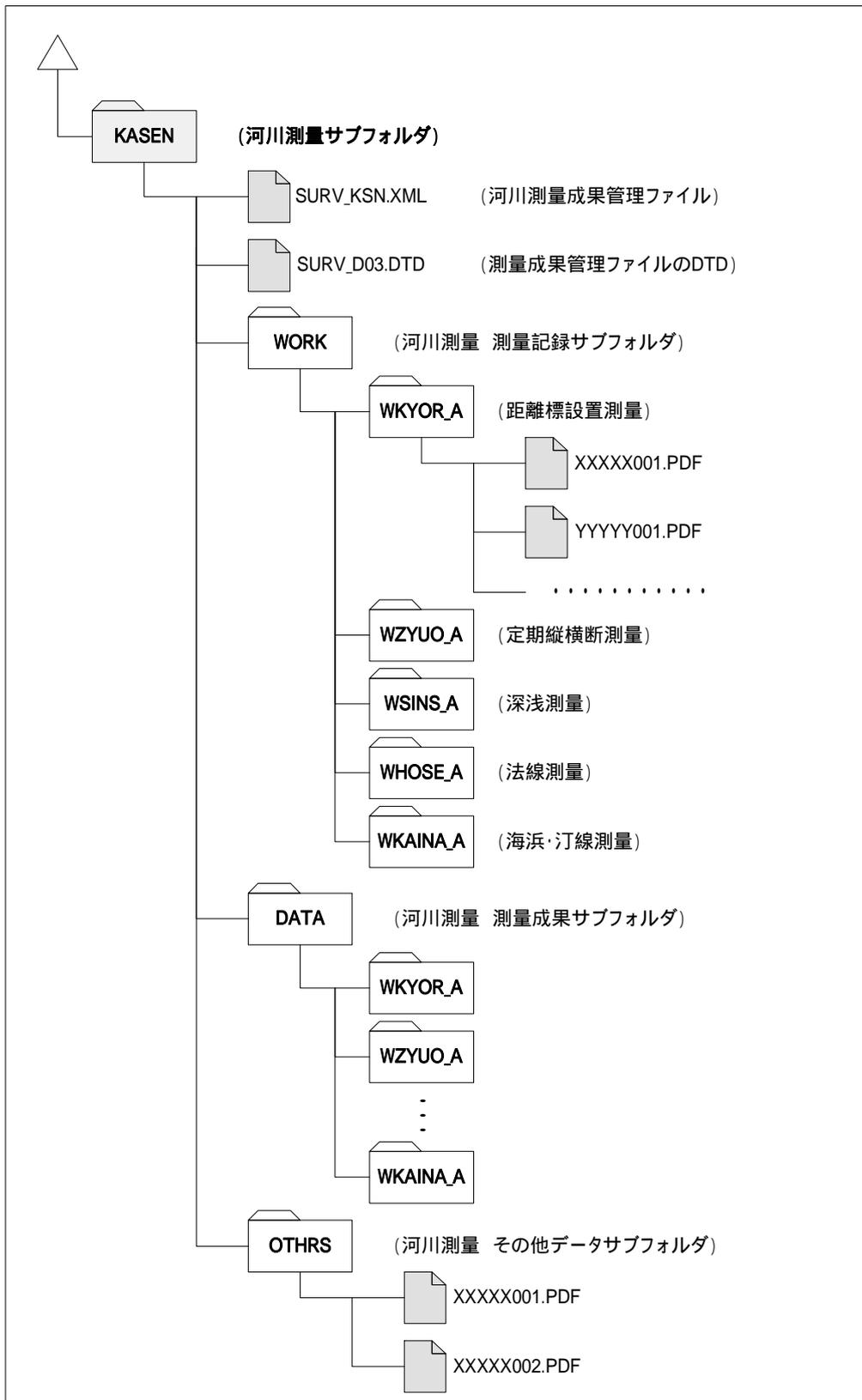


図 2-6 「KASEN」サブフォルダ構成

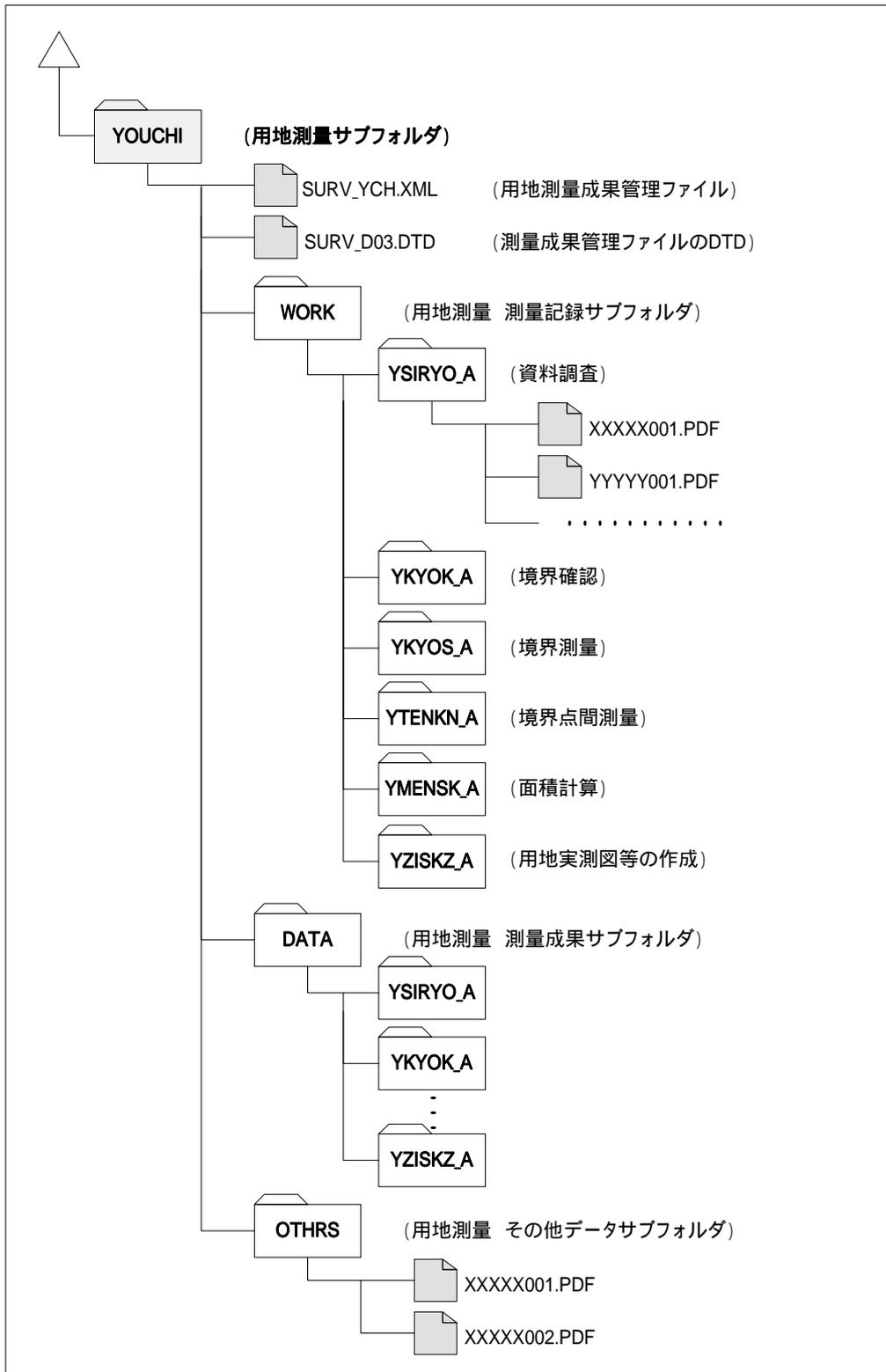


図 2-7 「YOUCHI」サブフォルダ構成

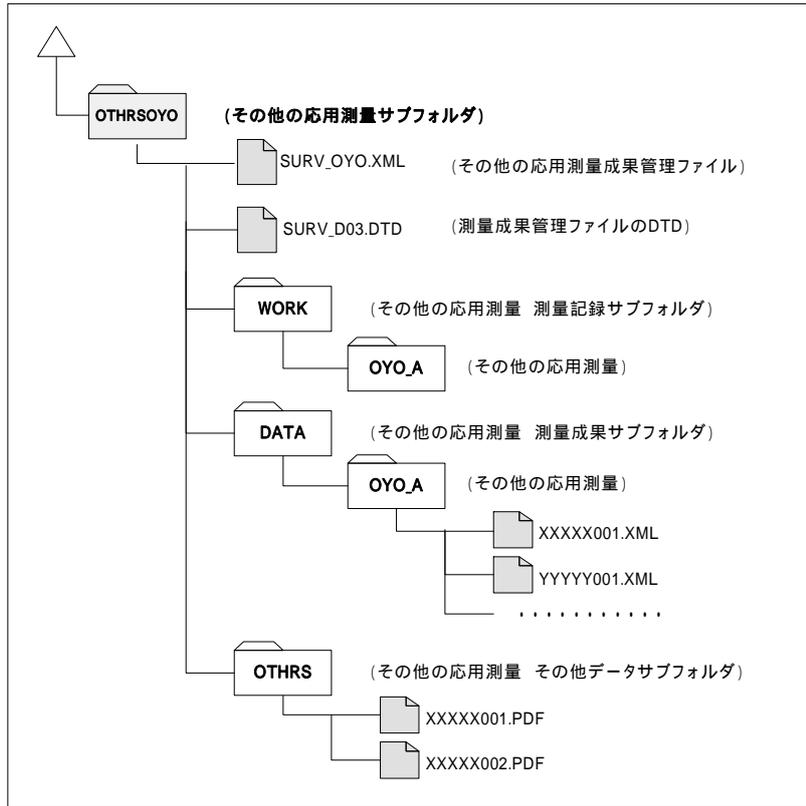


図 2-8 「OTHRSOYO」サブフォルダ構成

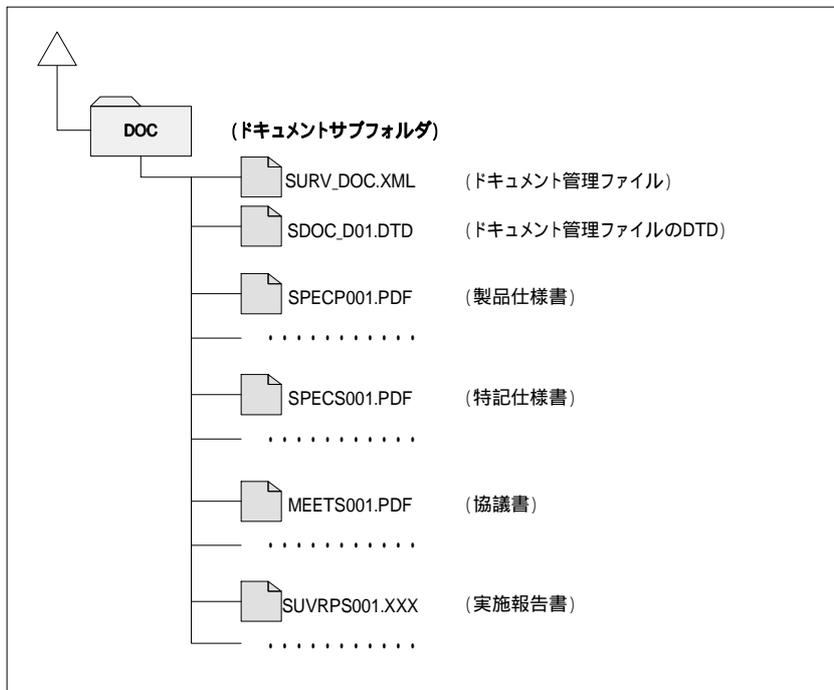


図 2-9 「DOC」サブフォルダ構成

表 2-3 測量成果の成果区分一覧

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
基準点測量	測量記録	基準点測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、観測記録簿、観測記録簿(数値データ)、計算簿、計算簿(数値データ)、基準点網図、平均図、観測図、精度管理表、点検測量簿、埋標手簿、測量標の地上写真、基準点現況調査報告書、測量標新旧位置明細書、GPS 観測記録簿	基準点測量 注 1)
	測量成果	基準点測量	成果表、成果表(数値データ)、点の記、点の記(数値データ)、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	
	その他データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、GPS 観測スケジュール表、衛星配置図、GPS 基準局配置図	
水準測量	測量記録	水準測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、水準路線図、平均図、精度管理表、点検測量簿、測量標の地上写真、基準点現況調査報告書、測量標新旧位置明細書	水準測量 注 1)
	測量成果	水準測量	観測成果表、観測成果表(数値データ)、平均成果表、平均成果表(数値データ)、点の記、点の記(数値データ)、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	
	その他データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書	
地形測量及び写真測量	測量記録	現地測量	-	現地測量 (基準点の設置) 注 2)
			測定位置確認資料、細部測量精度管理表	現地測量 (細部測量)
			数値編集精度管理表	現地測量 (数値編集)
	撮影		標定点成果表、標定点配置図、水準路線図、標定点測量簿、標定点測量簿(数値データ)、同明細簿、精度管理表	空中写真測量 (標定点の設置)
			対空標識点明細票、対空標識点一覧図、精度管理表	空中写真測量 (対空標識の設置)

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
			数値写真、サムネイル画像、撮影記録、撮影諸元、標定図、同時調整成果表(外部標定要素成果表)、精度管理表(撮影コース別)、精度管理表(撮影ロール別)、GPS/IMU 計算精度管理表、GPS 基準局観測記録簿、空中写真数値化作業記録簿及び点検記録簿	空中写真測量(撮影)
			刺針点一覧図、精度管理表	空中写真測量(刺針)
		空中三角測量	外部標定要素成果表、パスポイント・タイポイント成果表、空中三角測量作業計画・実施一覧図、写真座標測定簿、調整計算簿、精度管理表	空中写真測量(空中三角測量)
		数値図化	精度管理表(数値図化)、精度管理表(地形補備測量)	空中写真測量(数値図化)
			精度管理表(数値編集)	空中写真測量(数値編集)
			精度管理表(現地補測)、精度管理表(補測編集)	空中写真測量(補測編集)
			精度管理表	空中写真測量(数値地形図データファイルの作成)
		既成図数値化	精度管理表	既成図数値化
		修正測量 注3)	精度管理表	修正測量
		写真地図作成	精度管理表	写真地図作成
		航空レーザー測量	航空レーザー計測作業計画、航空レーザー測量システム点検記録	航空レーザー測量(作業計画)
			G 基準点測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)、水準測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)、GPS 基準局明細表	航空レーザー測量(GPS 基準局の設置)
			GPS 衛星の配置などを記載した手簿、記簿等の資料及び基線解析結果等を記載した精度管理表、衛星数及び PDOP 図、計測漏れの点検図、航跡図、航空レーザー計測記録	航空レーザー測量(航空レーザー計測)
			調整用基準点の配点図、調整用基準点明細表	航空レーザー測量(調整用基準点の設置)
			三次元計測データ、三次元計測データ点検表、調整用基準点調査表、コース間点検箇所残差表、コース間点検箇所配点図、欠測率調査表	航空レーザー測量(三次元計測データ作成)

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
			調整用基準点残差表	航空レーザ測量 (オリジナルデータ作成)
			既存データ検証結果表、フィルタリング点検図、グラウンドデータ作成作業精度管理表	航空レーザ測量 (グラウンドデータ作成)
			グリッドデータ点検図、グリッドデータ作成作業精度管理表	航空レーザ測量 (グリッドデータ作成)
			-	航空レーザ測量 (等高線データ作成)
			格納データリスト、数値データファイル作成作業精度管理表	航空レーザ測量 (数値データファイル作成)
			品質評価表	航空レーザ測量 (品質評価)
			作業記録、メタデータ	航空レーザ測量 (成果等の整理)
		地図編集	精度管理表	地図編集
		その他の地形測量及び写真測量	-	基盤地図作成 注4)
		測量成果		数値地形図データファイル、写真地図データファイル、位置情報ファイル、数値地形モデルファイル、オリジナルデータ、グラウンドデータ、グリッドデータ、水部ポリゴンデータ、等高線データ、基盤地図情報又は基盤地図情報を含む数値地形図データ、品質評価表、メタデータ、XMLスキーマ、コードリスト
その他データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、GPS基準局配置図、撮影作業日誌、カメラキャリブレーションデータ、航空レーザ計測作業日誌、ファイル説明書	-	
路線測量	測量記録	中心線測量	計算簿	線形決定
			観測手簿、計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	条件点の観測
			計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	IP設置測量

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称		
			成果等	測量細分類	
			計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	中心線測量	
		縦横断測量	観測手簿、水準路線図、平均図、精度管理表	仮 BM 設置測量	
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、精度管理表	縦断測量	
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、精度管理表	横断測量	
		詳細測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、精度管理表	詳細測量	
		幅杭測量	計算簿、計算簿(数値データ)、杭打図、精度管理表	用地幅杭設置測量	
	測量成果	中心線測量		線形図データファイル	線形決定
				成果表、成果表(数値データ)	条件点の観測
				点の記	IP 設置測量
		縦横断測量		線形地形図データファイル、引照点図、点の記	中心線測量
				成果表、成果表(数値データ)、点の記、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	仮 BM 設置測量
				成果表、成果表(数値データ)、縦断面図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	縦断測量
		詳細測量		横断面図データファイル	横断測量
				成果表、成果表(数値データ)、縦断面図データファイル、横断面図データファイル、詳細平面図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	詳細測量
	幅杭測量		品質評価表、メタデータ	用地幅杭設置測量	
その他データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GPS 基準局配置図	-		
河川測量	測量記録	距離標設置測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、精度管理表	距離標設置測量	
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、水準路線図、平均図、精度管理表	水準基標測量	
	定期縦横断測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、水準路線図、平均図、精度管理表、業務報告書	定期縦断測量		

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、精度管理表、業務報告書	定期横断測量
		深浅測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)	深浅測量
		法線測量	観測手簿、計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	法線測量
		海浜・汀線測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、計算簿(数値データ)、精度管理表	海浜測量
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、計算簿(数値データ)	汀線測量
	測量成果	距離標設置測量	成果表、成果表(数値データ)、点の記、距離標位置情報整理表、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	距離標設置測量
			成果表、成果表(数値データ)、点の記、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	水準基標測量
		定期縦横断測量	測量成果整理表、成果表(数値データ)、縦断面図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	定期縦断測量
			測量成果整理表、成果表(数値データ)、横断面図データファイル	定期横断測量
		深浅測量	横断面図データファイル	深浅測量
法線測量		線形図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	法線測量	
海浜・汀線測量		等高・等深線図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	海浜測量	
		汀線図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	汀線測量	
その他データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GPS 基準局配置図	-	
用地測量	測量記録	資料調査	公図等転写連続図、地積測量図転写図、土地調査表、建物の登記記録等調査表、権利者調査表	資料調査
		境界確認	観測手簿	復元測量
	土地境界立会確認書、公共用地境界確定協議の申請書・確定図		境界確認	

測量区分	成果区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称		
			成果等	測量細分類	
		境界測量	観測手簿、観測手簿(数値データ)、測量計算簿等、測量計算簿等(数値データ)	境界測量	
			観測手簿、観測手簿(数値データ)、計算簿、計算簿(数値データ)、基準点網図データファイル、精度管理表	補助基準点の設置	
			計算簿、計算簿(数値データ)	用地境界仮杭設置	
			計算簿、計算簿(数値データ)	用地境界杭設置	
		境界点間測量	観測手簿、精度管理表、精度管理図	境界点間測量	
		面積計算	-	面積計算	
		用地実測図等の作成	精度管理表	用地実測図データファイルの作成	
			精度管理表	用地平面図データファイルの作成	
		測量成果	資料調査	-	資料調査
			境界確認	復元箇所位置図データファイル	復元測量
	-			境界確認	
	境界測量		成果表、成果表(数値データ)	境界測量	
			成果表、成果表(数値データ)	補助基準点の設置	
			成果表、成果表(数値データ)、設置箇所位置図データファイル	用地境界仮杭設置	
成果表、成果表(数値データ)、設置箇所位置図データファイル			用地境界杭設置		
境界点間測量	-		境界点間測量		
面積計算	面積計算書、面積計算書(数値データ)	面積計算			
用地実測図等の作成	用地実測図データファイル、品質評価表、メタデータ、XMLスキーマ、コードリスト	用地実測図データファイルの作成			
	用地平面図データファイル、品質評価表、メタデータ、XMLスキーマ、コードリスト	用地平面図データファイルの作成			

測量 区分	成果 区分	測量細区分	公共測量作業規程による成果等名称	
			成果等	測量細分類
	その他 データ		測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GPS 基準局配置図、既知点検測の観測手簿・計算書・検測図	-
その他 の 応用 測量	測量 記録	その他の応用 測量	-	その他 の 応用 測量
	測量 成果	その他の応用 測量	主題図データファイル、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト	
	その他 データ		その他の資料	
ドキュメント			製品仕様書、特記仕様書、協議書、実施報告書	-

- 注 1) 復旧測量は、基準点測量、水準測量の各フォルダに格納する。
- 注 2) 現地測量の基準点の設置は、基準点測量の成果として格納する。
- 注 3) 修正測量は、測量手法により、「現地測量(CG*)」、「図化(CZ*)」等に格納する。
- 注 4) 基盤地図情報作成は、測量手法により、地形測量及び写真測量の各フォルダに格納する。

3 成果品の管理項目

3-1 測量情報管理項目

測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)には、表 3-1に示す測量情報管理項目を記入する。

表 3-1 測量情報管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
基礎情報	適用要領基準	「土木 201603-01」と記入する。	全角文字 半角英数字	30			
	助言番号(承認番号)	公共測量実施計画に対する国土地理院からの「助言番号(承認番号)」を記入する。ただし、該当しない場合は「99999999(8桁)」を記入する。	半角英数字	8			
	作業規程名	当該測量の基となった作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127			
	製品仕様書 6	製品仕様書名	当該測量の基となった製品仕様書又は作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127		
		製品仕様書ファイル名	製品仕様書のファイル名を記入する。対応する製品仕様書のファイルが複数ある場合は、繰返し記入する。	半角英数 大文字	12		
	第三者機関成果検定の有無	第三者機関による成果検定の実施の有無を、0又は1のコードで記入する。(0:なし、1:あり)	半角数字	1 固定			
	基準点測量成果格納用フォルダ名	基準点測量成果を格納するフォルダ名称(KITENで固定)を記入する。	半角英数 大文字	5 固定			
	水準測量成果格納用フォルダ名	水準測量成果を格納するフォルダ名称(SUIJUNで固定)を記入する。	半角英数 大文字	6 固定			
	地形測量及び写真測量成果格納用フォルダ名	地形測量及び写真測量成果を格納するフォルダ名称(CHIKEIで固定)を記入する。	半角英数 大文字	6 固定			
	路線測量成果格納用フォルダ名	路線測量成果を格納するフォルダ名称(ROSENで固定)を記入する。	半角英数 大文字	5 固定			
	河川測量成果格納用フォルダ名	河川地形測量成果を格納するフォルダ名称(KASENで固定)を記入する。	半角英数 大文字	5 固定			
	用地測量成果格納用フォルダ名	用地測量成果を格納するフォルダ名称(YOUCHIで固定)を記入する。	半角英数 大文字	6 固定			
	その他の応用測量成果格納用フォルダ名	その他の応用測量成果を格納するフォルダ名称(OTHRISOYOで固定)を記入する。	半角英数 大文字	8 固定			
ドキュメント格納用フォルダ名	ドキュメント類を格納するフォルダ名称(DOCで固定)を記入する。	半角英数 大文字	3 固定				

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
場所 情報 1	測量区域番号	測量を行った区域の番号を記入する。	半角数字	2			
	測量区域名	測量を行った区域の名称を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	区域 情報	西側境界座標経度	対象領域又は測量地域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	8		2
		東側境界座標経度	対象領域又は測量地域の最東端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	8		
		北側境界座標緯度	対象領域又は測量地域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	8		
		南側境界座標緯度	対象領域又は測量地域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	8		
		平面直角座標系	平面直角座標(19系)の系番号で記入する。	半角数字	2		2
		西側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最西端座標を Y 座標で記入する。(m)	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	11		
		東側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最東端座標を Y 座標で記入する。(m)	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	11		
		北側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最北端座標を X 座標で記入する。(m)	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	11		
南側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最南端座標を X 座標で記入する。(m)	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	11				
測量 情報 3	測量区分	本要領に規定する「測量区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32			
	測量細区分	本要領に規定する「測量細区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32			
	測量記録フォルダパス名	測量記録のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数 大文字	64		4	
	測量成果フォルダパス名	測量成果のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数 大文字	64		4	

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
	その他データフォルダパス名	各種証明書、説明書等のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数 大文字	64		4	
	測量区域 No	場所情報に記された「測量区域番号」を記入する。(測量区域番号に記されたものの中から選択する。)	半角数字	2			
	等級精度	等級	測量成果等の等級を表す記号(数字)を記入する。	半角数字	2		5
		地図情報レベル	測量成果等の地図情報レベルを記入する。	半角数字	32		
	画像種別	白黒、カラーの別を記入する。	半角数字	1 固定			
	解像度	測量成果等の解像度を記入する。 (単位：m)	半角数字	7			
	新規修正区分	対象測量の新規測量か修正測量かの区分を記入する。	半角数字	1 固定			
	面積	測量範囲の概略の面積を記入する。 (単位：km ²)	半角数字	6			
	距離	測量延長距離の概数 単位：km	半角数字	6			
	点数	基準点の点数を記入する。(与点の数は除く)	半角数字	4			
モデル数	空中三角測量における、モデルの数を記入する	半角数字	4				
検定情報	測量成果検定証明書等のファイル名	測量成果検定証明書等のファイル名をパスを含めて記入する。測量成果検定証明書等のファイルの数だけ繰り返し記入する。(例：SURVEY/KITEN/OTHRs/KOTJ2nnn.PDF)	半角英数 大文字	64			
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127			
	予備	その他予備事項があれば記入する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	127			
	ソフトウェア用 TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	64			

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

【記入者】 : 電子媒体作成者が記入する項目
: 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】 : 必須記入項目 : 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
: 任意記入項目

- 1 : 本測量作業の対象となった測量区域の数だけ繰り返し記入する。(例：3 箇所が測量実施対象 3 回繰り返す)
- 2 : 緯度経度、平面直角座標のうち、平面直角座標の記入は必須とする。
- 3 : 本測量作業で行われた測量種類を「測量細区分」の単位(測量実施場所が異なる場合は別物とする)で記入し、細区分の数だけ繰り返し記入する。
- 4 : 当該測量細区分の成果が「測量記録」、「測量成果」、「その他データ」サブフォルダに格納されている場合は必ず記入する。
- 5 : 等級、地図情報レベルのどちらかを必ず記入する。
- 6 : 製品仕様書の数だけ繰り返し記入する。

【解説】

(1) 適用要領基準

適用要領基準に国土交通省の要領で定められた以外の項目を記入すると、チェックプログラム実行時にエラーが発生するため、岐阜県が適用している国土交通省の電子納品要領にしたがうものとする。

(2) 助言番号(承認番号)

公共測量実施計画の届出を行い、国土地理院、地方測量部等から発行された番号「助言番号」若しくは「承認番号」を記入する。ただし、該当しない場合は「99999999(8桁)」を記入する。

例：助言番号(承認番号)

H20D0003、H20C0052 等

また、文書番号から助言番号(承認番号)への記入方法は表 3-2のとおりとする。

例：国地道公発第 226 号

平成 20 年 月 日

平成 20 年度の北海道地方測量部の助言番号

H20A0226

表 3-2 略称記号と助言番号(承認番号)の対象

略称記号	文書番号	名 称	略称記号	文書番号	名 称
A	国地道公	北海道地方測量部	G	国地中公	中国地方測量部
B	国地東公	東北地方測量部	H	国地四公	四国地方測量部
C	国地関公	関東地方測量部	I	国地九公	九州地方測量部
D	国地北公	北陸地方測量部	J	国地沖公	沖 縄 支 所
E	国地部公	中部地方測量部	K	企指公	企画部測量指導課
F	国地近公	近畿地方測量部			

(3) 作業規程名

当該測量作業の基となった作業規程名を記入する。

例：作業規程名

国土交通省公共測量作業規程(平成 20 年国土交通省告示版)

(4) 製品仕様書

1) 製品仕様書名

当該測量作業の基となった製品仕様書名を記入する。

例：製品仕様書名

地図情報レベル 2500 データ作成の製品仕様書(案) 国土地理院技術
資料 A・1-No.295-1

2) 製品仕様書ファイル名

ドキュメントフォルダに格納した製品仕様書ファイル名を記入する。

(5) 第三者機関成果検定の有無

当該測量作業の第三者機関による成果検定の実施の有無を、次より選択して記入する。

- ・ 第三者機関検定を実施しない場合：0
- ・ 第三者機関検定を実施する場合：1

(6) 測量区域番号・測量区域名称

測量区域が複数にわたる場合、実際に測量を行った区域毎に区域番号を割当てる。区域番号は「1」より開始する。

割当てられた測量区域毎に測量区域番号・測量区域名称及び区域情報について記入する。なお、測量区域名称には、地名(行政名：市町村名、地区名等、測量区域を特定できるもの)を記入する。

(7) 区域情報

区域情報については、「境界座標」、「平面直角座標」のうち、「平面直角境界座標」の記入を必須とする。

区域情報の記入について、国土交通省においては「平面直角座標」の使用を最も望ましいものとしているが、岐阜県においては、電子納品されたデータと GIS との連携を踏まえ、「平面直角座標」の使用を必須とした。

区域情報の詳細な記入方法については、業務管理項目の場所情報に準ずるものとする。

(8) 測量区分

測量区分の名称は、表 3-3より選択して記入する。

表 3-3 測量区分とサブフォルダ名の対応

測量区分名称	測量サブフォルダ名
基準点測量	KITEN
水準測量	SUIJUN
地形測量及び写真測量	CHIKEI
路線測量	ROSEN
河川測量	KASEN
用地測量	YOUCHI
その他の応用測量	OTHRSOYO

(9) 測量細区分

測量細区分の名称は、下記の例に示すように細区分を示す英数字を付した名称を記入する。公共測量作業規程に規定する測量分類とは異なるので注意する(「2-2 サブフォルダ構成」参照)。

測量細区分は、測量区域及び等級・精度で区分するもので、末尾の英数字は A～Z, 1～9 の順に使用し、該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させることが望ましい。

例 1：基準点測量で単独の測量細区分サブフォルダに成果を格納する場合

「基準点測量」と記入する。(測量細区分サブフォルダ名：KTN_A)

基準点測量で複数の測量細区分サブフォルダに成果を格納する場合

「基準点測量 A」、「基準点測量 B」と記入する。

(測量細区分サブフォルダ名：KTN_A、KTN_B)

例 2：複数区域(A,B,C)及び複数等級・精度(1,2 級)が混在する場合、地区を優先とする

基準点測量 A A 地区の 1 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_A)

基準点測量 B A 地区の 2 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_B)

基準点測量 C B 地区の 1 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_C)

基準点測量 D B 地区の 2 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_D)

基準点測量 E C 地区の 1 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_E)

基準点測量 F C 地区の 2 級(測量細区分サブフォルダ名：KTN_F)

(10) 測量記録・測量成果・その他データフォルダパス名

測量成果等が収められた測量記録フォルダ、測量成果フォルダ、及びその他データフォルダ以下のフォルダパス名を記入する。格納する成果等がない場合は、記入しない。

記入方法は以下に従う。

- フォルダ階層表示は「/」で区切る。

- パスの書出しは「SURVEY」とする。

例 1：水準測量の場合

SURVEY/SUIJUN/WORK/SJN_A

例 2：地形測量の一連の測量作業によって最終的に数値地形図データファイルを作成し測量成果サブフォルダに格納した場合

SURVEY/CHIKEI/DATA

例 3：河川測量の定期縦断測量を行い、縦断図データファイルを測量成果サブフォルダに格納した場合

SURVEY/KASEN/DATA/RZYUO_A

例 4：用地測量で測量機器検定証明書をその他データサブフォルダに格納した場合

SURVEY/YOUCI/OTHR

(11) 等級精度

等級精度については、「等級」又は「地図情報レベル」のどちらか一方を必ず記入する。「等級」及び「地図情報レベル」のどちらも未確定である場合は、いずれかに「99」を記入する。

1) 等級

基準点測量、水準測量において表される等級については、表 3-4に示すコード(半角数字 2 桁)を選択し、記入する。目的別に設置された基準点の場合、相当する等級を確認の上、そのコードを記入する。

表 3-4 等級コード一覧

基準点測量				水準測量			
測量レベル (基本測量)	コード	測量レベル (公共測量)	コード	測量レベル (基本測量)	コード	測量レベル (公共測量)	コード
電子基準点	10	-	-	1 等水準	11	1 級水準	21
1 等基準点	11	1 級基準点	21	2 等水準	12	2 級水準	22
2 等基準点	12	2 級基準点	22	3 等水準	13	3 級水準	23
3 等基準点	13	3 級基準点	23	-	-	4 級水準	24
4 等基準点	14	4 級基準点	24	-	-	簡易水準	25

*基本測量：基本測量とは、すべての測量の基礎となる測量で、国土地理院の行うものをいう。

*公共測量：公共測量とは、基本測量以外の測量のうち、小道路若しくは建物のため等の局地的測量又は高度の精度を必要としない測量で、政令で定めるものを除き、測量に要する費用の全部若しくは一部を国又は公共団体が負担し、若しくは補助して実施するものをいう。

2) 地図情報レベル

測量成果の縮尺レベルを記入する。

例 1 : 1/2,500 地形図の場合
2500

例 2 : 1/12,500 空中写真撮影の場合
12500

例 3 : 地図情報レベルが混在(地形図 1/500、1/1,000)の場合
「測量情報」の単位で管理項目を 2 回繰り返し、「地図情報レベル」に
「500」、「1000」をそれぞれ記入

例 4 : 「等級」、「地図情報レベル」のどちらも未確定である場合
「等級」、「地図情報レベル」のいずれかに「99」を記入

(12) 画像種別

空中写真撮影について、白黒、カラーの別を表 3-5に示すコード(半角数字 1 桁)を選択し、記入する。

表 3-5 画像種別コード一覧

画像種別	コード	画像種別	コード
白黒	1	カラー	2

(13) 解像度

デジタルオルソ等、測量成果の解像度を記入する。

- デジタルオルソ 25 cm の場合 0.25(m 単位で記入)
- DEM 25 m の場合 25 (m 単位で記入)

(14) 新規修正区分

対象測量について、新規測量、修正測量、定期測量の区分を表 3-6に示すコード(半角数字 1 桁)を選択し、記入する。

表 3-6 新規修正区分コード一覧

区分	コード	区分	コード	区分	コード
新規測量	1	修正測量	2	定期測量	3

例 1 : 測量作業規程における「修正測量」の場合
2

例 2 : 測量作業規程における「定期縦断測量」、「定期横断測量」の場合
3

(15) 面積

現地測量、撮影、図化について、対象となった範囲の概略面積(実施数量)を記入する(単位:k m²)。

(16) 距離

水準測量について、測量延長距離の概数を記入する(単位:km)。

(17) 点数

基準点測量について、当該基準点の点数を記入する。(与点の数は除く。)

(18) モデル数

空中三角測量における、モデルの数を記入する。

(19) 測量成果検定証明書等のファイル名

測量成果検定証明書等のファイル名を、パスを含めて記入する。

例：基準点測量の測量成果検定証明書等

SURVEY/KITEN/OTHRs/KOTJ2nmn.PDF

3-2 測量成果管理項目

測量成果管理ファイル(SURV_KTN.XML、SURV_SJN.XML、SURV_CHI.XML、SURV_RSN.XML、SURV_KSN.XML、SURV_YCH.XML、SURV_OYO.XML)には、表 3-7に示す測量成果管理項目を記入する。

表 3-7 測量成果管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
測量成果情報 1	測量区分フォルダ名	「測量区分」のフォルダ名を記入する。	半角英数 大文字	8			
	測量成果区分フォルダ名	測量成果区分(測量記録、測量成果、その他データ)のフォルダ名を記入する。	半角英数 大文字	8			
	測量細区分フォルダ名	「測量細区分」のフォルダ名を記入する。	半角英数 大文字	8			
	測量成果名称	測量成果等の名称を記入する。 (例：精度管理表、観測手簿等)	全角文字 半角英数字	64			
	測量成果ファイル形式	測量成果等のファイル形式を記入する。	半角英数字	12			
	測量成果レコードフォーマット	測量成果等のレコードフォーマットの名称や説明を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	測量成果作成ソフトウェア名	測量成果等のファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	成果ファイル情報 2	測量成果ファイル名	測量成果等のファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数 大文字	13		
		測量成果ファイル名副題	測量成果等のファイル名副題を、拡張子を含めて記入する。 製品仕様書に定められているファイル名や国土基本図図郭に準じたファイル名などを記入する。	全角文字 半角英数字	64		
		XML スキーマファイル名 3	当該測量成果において参照する XML スキーマファイル名を記入する。複数の XML スキーマを参照する場合は、ファイルの数だけ繰返し記入する。	半角英数 大文字	12		
コードリストファイル名 3		当該測量成果において参照するコードリストファイル名を記入する。複数のコードリストを参照する場合は、ファイルの数だけ繰返し記入する。	半角英数 大文字	12			
	メタデータファイル名	当該測量成果のメタデータファイル名を記入する。	半角英数 大文字	12			
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127			
	予備	その他予備事項があれば記入する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	127			
	ソフトウェア用 TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	64			

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】 : 電子媒体作成者が記入する項目
: 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 : 必須記入項目 : 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
: 任意記入項目

- 1: 格納されている成果等の種類(成果表、点の記、精度管理表、...)の数分だけ繰り返し記入する。
2: 成果ファイル情報については、成果等の数だけ繰り返し記入する。
3: XML スキーマファイル名、コードリストファイル名は、当該測量成果を JPGIS 準拠形式で作成した場合にのみ記入する。参照する XML スキーマ、コードリストが複数ある場合は、繰り返し記入する。

【解説】

(1) 測量区分フォルダ名

「測量区分」のフォルダ名を表 3-8より選択して記入する。

表 3-8 測量区分フォルダ名称一覧

測量区分	フォルダ名称
基準点測量	KITEN
水準測量	SUIJUN
地形測量及び写真測量	CHIKEI
路線測量	ROSEN
河川測量	KASEN
用地測量	YOUCHI
その他の応用測量	OTHRSOYO

(2) 測量成果区分フォルダ名

測量作業の途中段階である測量記録(観測手簿、観測記簿等)と、最終的な測量成果(成果表、数値地形図データファイル等)、及びその他データ(各種証明書、説明書等)に分類して格納するためのサブフォルダ名を記入する。

- 測量記録.....「WORK」
- 測量成果.....「DATA」
- その他データ.....「OTHR」

(3) 測量細区分フォルダ名

測量細区分フォルダ名は、表 2-2に示すように実施した測量作業(撮影、空中三角測量等)に加え、測量地域又は測量の等級・地図情報レベルに応じて、A~Z, 1~9の記号によって補助的に区分した測量細区分サブフォルダ名を記入する。

(4) 測量成果名称

表 4-1~表 4-7に従い、測量成果等の名称を記入する(例:精度管理表、観測手簿、点の記等)。

(5) 測量成果ファイル形式・測量成果レコードフォーマット

測量成果等のファイル形式を記入する。また、測量成果レコードフォーマットの名称又は準拠した仕様等の説明を記入する。

『測量成果ファイル形式』:「PDF」「TXT」「DM」「XML」「JPG」「DOC」等、ファイルの拡張子を記入する。

『測量成果レコードフォーマット』:特に説明を要するものについては、必ず記入する。なお、市販の広く流通したファイル形式のものについては省略する。

例 1: 公共測量作業規程

例 2: JPGIS 準拠の XML 形式

例 3: 河川局独自形式

例 4: カンマ区切りの TXT 形式

例 5: ワールドファイル仕様の TXT 形式

(6) 測量成果ファイル名

ファイル命名規則に従い命名した成果等のファイル名を記入する(拡張子含む)。

(7) 測量成果ファイル名副題

測量成果等のファイル名副題を、拡張子を含めて記入する。

製品仕様書に定められているファイル名や国土基本図図郭に準じたファイル名などを記入する。

例 1: 点の記: 標識番号を付したファイル名

4930-64-7201.PDF

例 2: 精度管理表: 地区名を付したファイル名

地区精度管理表.PDF

例 3: 標準図式データファイル: 国土基本図図郭番号に準じたファイル名

12MD3546.DM

例 4: XML スキーマ: 製品仕様書に基づくファイル名

KsjAppSchema-N02-v1_1.xsd

例 5: コードリスト: 製品仕様書に基づくファイル名

InstitutionTypeCd.xml, RailwayClassCd.xml

例 6: メタデータ: 製品仕様書に基づくファイル名

KS-META-N02-07.XML

(8) XML スキーマファイル名・コードリストファイル名

当該測量成果において参照する XML スキーマ、コードリストのファイル名を記入する。XML スキーマファイル名、コードリストファイル名は、当該測量成果を JPGIS 準拠形式で作成した場合にのみ記入する。参照する XML スキーマ、コードリストが複数ある場合は、繰返し記入する。

(9) メタデータファイル名

当該測量成果のメタデータファイル名を記入する。

3-3 ドキュメント管理項目

ドキュメント管理ファイル(SURV_DOC.XML)には、表 3-9に示すドキュメント管理項目を記入する。

表 3-9 ドキュメント管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
ドキュメント情報 1	ドキュメント名称	ドキュメントの名称を記入する。 (例：製品仕様書、協議書等)	全角文字 半角英数字	64		
	ドキュメントファイル形式	ドキュメントのファイル形式を記入する。	半角英数字	12		
	ドキュメントファイル名	ドキュメントのファイル名を拡張子を含めて記入する。	半角英数大文字	13		
	ドキュメントファイル名副題	内容が分かる程度の副題を記入する。ファイル名は拡張子を含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64		
	ドキュメント作成ソフトウェア名	ドキュメントファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64		
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127		
	予備	その他予備事項があれば記入する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	127		
	ソフトウェア用 TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。 (複数記入可)	全角文字 半角英数字	64		

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】：電子媒体作成者が記入する項目
：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】：必須記入項目：条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
：任意記入項目

1：格納されているドキュメントファイルの数分だけ繰り返し記入する。

【解説】

- (1) ドキュメント名称
ドキュメントの名称を記入する(例:製品仕様書、協議書等)。
- (2) ドキュメントファイル形式
ドキュメントのファイル形式を記入する。
「PDF」「JPG」「DOC」等、ファイルの拡張子を記入する。
- (3) ドキュメントファイル名
ファイル命名規則に従い命名したドキュメントのファイル名を記入する(拡張子含む)。
- (4) ドキュメントファイル名副題
ドキュメントについて、利用上副題をつけて管理することが望ましいものは成果の内容がわかるように記述を行う。具体的内容は受発注者間協議により定める。

例：第 1 回協議書.PDF

4 ファイル形式

測量成果品のファイル形式は、次のとおりとする。

- 業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、測量成果管理ファイル、及びドキュメント管理ファイル
業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、測量成果管理ファイル、及びドキュメント管理ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。
- スタイルシート
各管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合は XSL に準じる。
- 測量成果等
測量成果等のファイルの形式は、「4-1 基準点測量成果ファイル」、「4-2 水準測量成果ファイル」、「4-3 地形測量及び写真測量成果ファイル」、「4-4 路線測量成果ファイル」、「4-5 河川測量成果ファイル」、「4-6 用地測量成果ファイル」、「4-7 その他の応用測量成果ファイル」による。
- ドキュメントファイル
ドキュメントファイルのファイル形式は、「4-8 ドキュメントファイル」による。

【解説】

- (1) 業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、測量成果管理ファイル、及びドキュメント管理ファイルのファイル形式は、XML 形式とする。
- (2) 各管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシートを用いてもよいが、XSL に準じて作成する。スタイルシートを作成した場合は、各管理ファイルと同じ場所に格納する。
- (3) 測量成果等は、「4-1 基準点測量成果ファイル」、「4-2 水準測量成果ファイル」、「4-3 地形測量及び写真測量成果ファイル」、「4-4 路線測量成果ファイル」、「4-5 河川測量成果ファイル」、「4-6 用地測量成果ファイル」、「4-7 その他の応用測量成果ファイル」に示すファイル形式で納品する。

測量成果等のファイル形式は、次のとおり分類される。

- ・ PDF：米国のアドビシステムズ社が策定、発表した電子文書のファイルフォーマット。観測手簿、観測記簿、計算簿、成果表などが対象となる。
- ・ JPGIS 準拠：「地理情報標準プロファイル Japan Profile for Geographic Information Standards(JPGIS)」に準拠した XML ファイル。基盤地図情報に該当する成果表(数値データ)や数値地形図データファイルが対象となる。
なお、実データ以外に、XML スキーマ(XSD)、コードリスト(XML)が作成されるが、当該測量成果と同一のサブフォルダに格納する。また、XML スキーマ、コ

ードリストは、同一ファイルを複数の実データから参照することがあるが、その場合、XML スキーマ、コードリストを重複して格納しないようにする。

- ・ JMP2.0 : JMP2.0 による XML 形式で作成されたメタデータファイル。メタデータの記載方法は、次の規則による。
 - JMP2.0(JMP : Japan Metadata Profile)(国土地理院、平成 14 年度)
 - JMP2.0 仕様書(国土地理院技術資料 E.1-No.281)
 - JMP2.0 解説書(国土地理院技術資料 E.1-No.282)
- ・ 標準図式データファイル : 「公共測量標準図式数値地形図データファイル仕様」に従い作成される数値地形図データファイル。拡張デジタルマッピングデータファイル仕様と仕様上の差異はなく、インデックスデータファイル、データファイル、ファイル説明書のデータセットから構成される。
- ・ SXF(SFC) : 本要領では、CAD データのファイル形式は、SXF(SFC)とし、SXF Ver.2.0 レベル 2 を原則とする。CAD データの作成に当たっての留意点は、付属資料 4 を参照する。
- ・ TXT : 基本的にキャラクタコードからなるファイルであり、改行やファイルの終端などにはキャラクタ以外の制御コードを含む TXT ファイル。データをカンマで区切って並べた CSV ファイルも含まれる。成果表(数値データ)などが対象となる。ファイル仕様が定められているものは、次のとおりであり、これ以外は、受発注者間協議によりフォーマットを定める。
 - 基準点測量、水準測量の成果表 : 本要領 付属資料 3 成果表数値フォーマットによる
 - 地形測量及び写真測量の成果表 : 本要領 付属資料 3 成果表数値フォーマットによる
 - 河川測量 定期縦横断測量の成果表 : 「河川定期縦横断測量業務実施要領・同解説(一般財団法人 日本建設情報総合センター、平成 9 年 6 月)」及び「河川定期縦横断データ作成ガイドライン(国土交通省河川局、平成 20 年 5 月)」による
- ・ オリジナル : ソフトウェアの固有性が高い測量機器等のデータや、ワープロ・表計算ソフト等を利用して作成される成果が対象となる。受発注者間協議により、ファイル形式を決定する。
- ・ その他 : 関係団体等が推奨しているファイル形式。具体例を次に示す。
 - 観測手簿(多角、水準)における APA・SIMA(日本測量調査技術協会、日本測量機器工業会)
 - 測量成果(座標、路線、縦断、横断、画地)における SIMA(日本測量機器工業会)
 - TS 地形測量における JSP・SIMA-DM(全国測量設計業協会連合会・日本測量機器工業会)

- 地形・数値測量における精度管理表の TXT 形式(日本測量調査技術協会)
 - 観測手簿(GPS 方式)における RINEX(Receiver Independent Exchange format): 受信機に独立な交換フォーマット
- (4) ドキュメントは、「4-8 ドキュメントファイル」に示すファイル形式で納品する。

4-1 基準点測量成果ファイル

基準点測量の成果等は、製品仕様書に定められたファイル形式で納品することを原則とするが、製品仕様書に定めがない場合は、表 4-1のファイル形式により電子納品する。

表 4-1 ファイル形式(基準点測量成果)

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
基準点測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	観測記簿	PDF	
	観測記簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	
	平均図	PDF	協議により SXF(SFC)、標準図式データファイル、オリジナル形式も可
	成果表	PDF	
	点の記	PDF	
	点の記(数値データ)	オリジナル	
	建標承諾書	(対象外)	
	測量標設置位置通知書	(対象外)	
	基準点網図	PDF	協議により SXF(SFC)、標準図式データファイル、オリジナル形式も可
	品質評価表	PDF	
	測量標の地上写真	PDF	協議によりオリジナル形式も可
	基準点現況調査報告書	PDF	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	協議により付属資料 3 で定める成果表数値フォーマット形式も可
	点検測量簿	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	観測図	PDF	協議により SXF(SFC)、標準図式データファイル、オリジナル形式も可

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
			可
	精度管理表	PDF	
	埋標手簿	PDF	
	測量標新旧位置明細書	PDF	
	GPS 観測記録簿	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
その他データ	測量機器検定証明書	PDF	
	測量成果検定証明書等	PDF	
	ファイル説明書	PDF	
	GPS 観測スケジュール表	PDF	
	衛星配置図	PDF	
	GPS 基準局配置図	PDF	

(注) 表に示される成果のうち、「対象外」と表記されている成果については、原則として電子納品の対象外とし、紙での納品を行う。これらの成果の電子納品については、電子納品の有無、ファイル形式、ファイル命名規則等を受発注者間協議により決定する。

【運用基準】

(基準点測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。観測手簿(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。PDF 形式については、枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 観測記録簿は、PDF 形式で納品する。
観測記録簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。観測記録簿(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。PDF 形式については、枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- (3) 計算簿は、PDF 形式で納品する。
計算簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。計算簿(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。PDF 形式については、枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。

- (4) 基準点網図・平均図・観測図は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、SXF(SFC)、標準図式データファイル、オリジナル形式で納品してもよい。ファイルは、図単位又は図の種別単位で作成する。
- (5) 成果表は、PDF 形式で納品する。1 成果 1 ファイルの単位で作成する。成果表(数値データ)は、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、TXT 形式で納品してもよい。TXT ファイルのフォーマットは、付属資料 3 による。成果表(数値データ)は、等級種別等、適当な単位にまとめてファイルを作成する。
- (6) 点の記は、PDF 形式で納品する。1 成果 1 ファイルの単位で作成する。点の記(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。点の記(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。点の記(数値データ)は、適当な単位でまとめて作成する。
- (7) 点検測量簿、埋標手簿及び基準点現況調査報告書は、PDF 形式で納品する。ファイルは、適当な単位でまとめて作成する。
- (8) 測量標の地上写真は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもよい。ファイルは、適当な単位でまとめて作成する。
- (9) 建標承諾書、測量標設置位置通知書の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (10) 測量標新旧位置明細書は、PDF 形式で納品する。
- (11) GPS 観測記録簿は、PDF 形式で納品する。
- (12) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (13) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (14) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (15) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。
- (16) 基準点の復旧測量の成果は、基準点測量の成果として電子納品を行う。

(その他データ)

- (1) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、GPS 観測スケジュール表、衛星配置図、GPS 基準局配置図は、PDF 形式で納品する。
- (2) 表 4-1 にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納する。ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定する。
- (3) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてフ

ファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納する。

4-2 水準測量成果ファイル

水準測量の成果等は、製品仕様書に定められたファイル形式で納品することを原則とするが、製品仕様書に定めがない場合は、表 4-2のファイル形式により電子納品する。

表 4-2 ファイル形式(水準測量成果)

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
水準測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	観測成果表	PDF	
	平均成果表	PDF	
	水準路線図	PDF	協議により SXF(SFC)、標準図式データファイル、オリジナル形式も可
	計算簿	PDF	
	平均図	PDF	協議により SXF(SFC)、標準図式データファイル、オリジナル形式も可
	点の記	PDF	
	点の記(数値データ)	オリジナル	
	建標承諾書	(対象外)	
	測量標設置位置通知書	(対象外)	
	観測成果表(数値データ)	TXT	付属資料3で定める成果表数値フォーマット
	平均成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	協議により付属資料3で定める成果表数値フォーマット形式も可
	測量標の地上写真	PDF	協議によりオリジナル形式も可
	基準点現況調査報告書	PDF	
	品質評価表	PDF	
	点検測量簿	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	精度管理表	PDF	
	測量標新旧位置明細書	PDF	
XML スキーマ	XSD		

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
	コードリスト	JPGIS 準拠	
その他データ	測量機器検定証明書	PDF	
	測量成果検定証明書等	PDF	
	ファイル説明書	PDF	

(注) 表に示される成果のうち、「対象外」と表記されている成果については、原則として電子納品の対象外とし、紙での納品を行う。これらの成果の電子納品については、電子納品の有無、ファイル形式、ファイル命名規則等を受発注者間協議により決定する。

【運用基準】

(水準測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。観測手簿(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。ファイルは、適当な単位でまとめて作成する。
- (2) 計算簿は PDF 形式とする。ファイルは、適当な単位でまとめて作成する。
- (3) 観測成果表は、PDF 形式で納品する。
観測成果表(数値データ)は、TXT 形式で納品する。TXT ファイルのフォーマットは、付属資料 3 による。ファイルは、適当な単位でまとめて作成する。
- (4) 平均成果表は、PDF 形式で納品する。
平均成果表(数値データ)は、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、TXT 形式で納品してもよい。TXT ファイルのフォーマットは、付属資料 3 による。ファイルは、適当な単位でまとめて作成する。
- (5) 水準路線図、平均図は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、SXF(SFC)、標準図式データファイル、オリジナル形式で納品してもよい。ファイルは、図単位で作成する。
- (6) 点の記は、PDF 形式で納品する。1 成果 1 ファイルの単位で作成する。
点の記(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。点の記(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。点の記(数値データ)は、適当な単位でまとめて作成する。
- (7) 点検測量簿及び基準点現況調査報告書は、PDF 形式で納品する。
ファイルは、適当な単位でまとめて作成する。
- (8) 測量標の地上写真は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもよい。ファイルは、適当な単位でまとめて作成する。
- (9) 建標承諾書、測量標設置位置通知書の納品方法は、受発注者間協議により決定する。

- (10) 測量標新旧位置明細書は、PDF 形式で納品する。
- (11) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (12) 品質表評価表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (13) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (14) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。
- (15) 水準点の復旧測量の成果は、水準測量の成果として電子納品を行う。

(その他データ)

- (1) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書は、PDF 形式で納品する。
- (2) 表 4-2 にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納する。
ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定する。
- (3) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納する。

4-3 地形測量及び写真測量成果ファイル

地形測量及び写真測量の成果等は、製品仕様書に定められたファイル形式で納品することを原則とするが、製品仕様書に定めがない場合は、表 4-3のファイル形式により電子納品する。

表 4-3 ファイル形式(地形測量及び写真測量成果)

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
現地測量(基準点の設置)	-	-	基準点測量の成果として格納
現地測量(細部測量)	測定位置確認資料	PDF	
	細部測量精度管理表	PDF	
現地測量(数値編集)	数値編集精度管理表	PDF	
現地測量(数値地形図データファイルの作成)	数値地形図データファイル	SXF(SFC)	協議により、JPGIS準拠、標準図式データファイル形式も可
	数値地形図データ作成精度管理表	PDF	
現地測量(品質評価)	品質評価表	PDF	
現地測量(成果等の整理)	メタデータ	JMP2.0	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
空中写真測量(標定点の設置)	標定点成果表	TXT	
	標定点配置図	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル、PDF、オリジナル形式も可
	水準路線図	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル、PDF、オリジナル形式も可
	標定点測量簿	PDF	
	標定点測量簿(数値データ)	オリジナル	
	同明細簿	PDF	
	精度管理表	PDF	
空中写真測量(対空標識の設置)	対空標識点明細票	PDF	
	偏心計算簿	(対象外)	

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
	対空標識点一覧図	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル、PDF、オリジナル形式も可
	精度管理表	PDF	
空中写真測量(撮影)	ネガフィルム	(対象外)	
	密着印画	(対象外)	
	数値写真	TIF	
	サムネイル画像	BMP 又は JPG	
	標定図	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル、PDF、オリジナル形式も可
	同時調整成果表(外部標定要素成果表)	TXT	
	撮影記録	PDF	
	撮影諸元	PDF	
	品質評価表	PDF	
	精度管理表(撮影コース別)	PDF	
	精度管理表(撮影ロール別)	PDF	
	GPS/IMU 計算精度管理表	PDF	
	GPS 基準局観測記録簿	PDF	
	空中写真数値化作業記録簿及び点検記録簿	PDF	
空中写真測量(刺針)	刺針点明細票	(対象外)	
	偏心計算簿	(対象外)	
	刺針点一覧図	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル、PDF、オリジナル形式も可
	精度管理表	PDF	
空中写真測量(空中三角測量)	外部標定要素成果表	TXT	
	パスポイント・タイポイント成果表	TXT	
	空中三角測量作業計画・実施一覧図	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル、PDF、オリジナル形式も可
	写真座標測定簿	TXT	
	調整計算簿	TXT	

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
	精度管理表	PDF	
空中写真測量(現地調査)	現地調査結果を整理した空中写真	(対象外)	
空中写真測量(数値図化)	精度管理表(数値図化)	PDF	
	精度管理表(地形補備測量)	PDF	
空中写真測量(数値編集)	出力図	(対象外)	
	精度管理表(数値編集)	PDF	
空中写真測量(補測編集)	出力図	(対象外)	
	精度管理表(現地補測)	PDF	
	精度管理表(補測編集)	PDF	
空中写真測量(数値地形図データファイルの作成)	数値地形図データファイル	SXF(SFC)	協議により、JPGIS準拠、標準図式データファイル形式も可
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
既成図数値化	数値地形図データファイル	SXF(SFC)	協議により、JPGIS準拠、標準図式データファイル形式も可
	出力図	(対象外)	
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
修正測量	数値地形図データファイル	SXF(SFC)	測量手法により、現地測量(CG*)、数値図化(CZ*)の成果として格納
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
写真地図作成	写真地図データファイル	TIF	
	位置情報ファイル	TIFFW(ワールドファイル仕様)	
	数値地形モデルファイル	標準図式デー	

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
		タファイル	
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	数値写真	(対象外)	
	正射投影画像	(対象外)	
	モザイク画像	(対象外)	
	精度管理表	PDF	
航空レーザー測量 (作業計画)	航空レーザー計測作業計画	PDF	
	航空レーザー測量システム点 検記録	PDF	
航空レーザー測量 (GPS 基準局の設 置)	基準点測量に準ずる測量記 録(手簿・記簿など)	PDF	
	水準測量に準ずる測量記録 (手簿・記簿など)	PDF	
	GPS 基準局明細表	PDF	
航空レーザー測量 (航空レーザー計測)	GPS 衛星の配置などを記載 した手簿、記簿等の資料及 び基線解析結果等を記載し た精度管理表	PDF	
	衛星数及び PDOP 図	PDF	
	計測漏れの点検図	PDF	
	航跡図	PDF	
	航空レーザー計測記録	PDF	
航空レーザー測量 (調整用基準点の 設置)	調整用基準点の配点図	PDF	
	調整用基準点明細表	PDF	
航空レーザー測量 (三次元計測デー タ作成)	三次元計測データ	PDF	
	三次元計測データ点検表	PDF	
	調整用基準点調査表	PDF	
	コース間点検箇所残差表	PDF	
	コース間点検箇所配点図	PDF	
	写真地図データファイル		写真地図データ (CD*)の成果として 格納
	位置情報ファイル		
	水部ポリゴンデータ	JPGIS 準拠	協議により、TXT 又 はその他の形式も可
	欠測率調査表	PDF	
航空レーザー測量	オリジナルデータ	JPGIS 準拠	協議により、TXT 又

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
(オリジナルデータ作成)			はその他の形式も可
	調整用基準点残差表	PDF	
航空レーザ測量 (グラウンドデータ作成)	グラウンドデータ	JPGIS 準拠	協議により、TXT 又はその他の形式も可
	既存データ検証結果表	PDF	
	フィルタリング点検図	PDF	
	グラウンドデータ作成作業精度管理表	PDF	
航空レーザ測量 (グリッドデータ作成)	グリッドデータ	JPGIS 準拠	協議により、標準図式データファイル又はその他の形式も可
	グリッドデータ点検図	PDF	
	グリッドデータ作成作業精度管理表	PDF	
航空レーザ測量 (等高線データ作成)	等高線データ	JPGIS 準拠	協議により、標準図式データファイル又はその他の形式も可
航空レーザ測量 (数値データファイル作成)	格納データリスト	PDF	
	数値データファイル作成作業精度管理表	PDF	
航空レーザ測量 (品質評価)	品質評価表	PDF	
航空レーザ測量 (成果等の整理)	作業記録	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
地図編集	数値地形図データファイル (編集原図データ)	SXF(SFC)	協議により、JPGIS 準拠形式も可
	基図データ及び編集原図データ等出力図	(対象外)	
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
その他の地形測量及び写真測量	測量記録	-	
	測量成果	-	
基盤地図作成	基盤地図情報又は基盤地図		測量手法により、上記

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
	情報を含む数値地形図データ		までの規定に従い成果を格納
	品質評価表		
	メタデータ		
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
その他データ	測量機器検定証明書	PDF	
	測量成果検定証明書等	PDF	
	ファイル説明書	PDF	
	GPS 基準局配置図	PDF	
	撮影作業日誌	PDF	
	カメラキャリブレーションデータ	PDF	
	航空レーザ計測作業日誌	PDF	

(注) 表に示される成果のうち、「対象外」と表記されている成果については、原則として電子納品の対象外として、従来どおりの納品を行う。これらの成果を電子納品する場合は、受発注者間協議により、ファイル形式、ファイル作成単位、ファイル名等を決定する。

【運用基準】

現地測量

(基準点の設置)

- (1) 基準点の設置の成果等は、基準点測量の成果として納品する。

(細部測量)

- (1) 測定位置確認資料、細部測量精度管理表観測手簿は、PDF 形式で納品する。

(数値編集)

- (1) 数値編集精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(数値地形図データファイルの作成)

- (1) 数値地形図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、JPGIS 準拠、標準図式データファイル形式で納品してもよい。
- (2) 数値地形図データ作成精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(品質評価)

- (1) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。

(成果等の整理)

- (1) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (2) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

空中写真測量

(標定点の設置)

- (1) 標定点成果表は、TXT 形式で納品する。TXT ファイルのフォーマットは、付属資料 3 による。ファイルは、基準点測量、水準測量等の測量種別単位で 1 ファイルにまとめて作成する。
- (2) 標定点配置図、水準路線図は、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル、オリジナル形式、PDF で納品してもよい。ファイルは、図単位又は図の種別単位で作成する。標定点配置図、水準路線図、対空標識点一覧図、標定図及び刺針点一覧図を一図葉に併記した場合は、該当するフォルダに複製を作成して指定された命名規則でそれぞれのファイルを格納する。
- (3) 標定点測量簿及び同明細簿は、PDF 形式で納品する。
標定点測量簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。標定点測量簿(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。
ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルにまとめて作成する。
- (4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(対空標識の設置)

- (1) 対空標識点明細票は、PDF 形式で納品する。
- (2) 偏心計算簿の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (3) 対空標識点一覧図は、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル、オリジナル形式、PDF で納品してもよい。ファイルは、図単位で作成する。標定点配置図、水準路線図、標定図及び刺針点一覧図を一図葉に併記した場合は、該当するフォルダに複製を作成して指定された命名規則でそれぞれのファイルを格納する。
- (4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(撮影)

- (1) ネガフィルム、密着印画の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (2) 数値写真は、TIF形式で納品する。画像圧縮を行う場合にはロスレス圧縮を行う。数値写真はデータ量が膨大となるため、受発注者間協議により電子納品方法を別途定めてもよい。
- (3) サムネイル画像は、BMP 又は JPEG 形式で納品する。
- (4) 標定図は、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル、オリジナル形式、PDF で納品してもよい。ファイルは、測量区域単位で作成する。標定点配置図、水準路線図、対空標識点一覧図、標定図及び刺針点一覧図を一図葉に併記した場合は、該当するフォルダに複製を作成して指定された命名規則でそれぞれのファイルを格納する。
- (5) 同時調整成果表(外部標定要素成果表)は、TXT形式で納品する。TXTファイルのフォーマットは、付属資料3による。ファイルは、当該成果一式を1ファイルにまとめて作成する。
- (6) 撮影記録、撮影諸元は、PDF形式で納品する。ファイルは、撮影地区単位で作成する。
- (7) 精度管理表は、PDF形式で納品する。
- (8) GPS 基準局観測記録簿は、PDF形式で納品する。
- (9) 空中写真数値化作業記録簿及び点検記録簿は、PDF形式で納品する。
- (10) 品質評価表は、PDF形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。

(刺針)

- (1) 刺針点明細票、偏心計算簿の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (2) 刺針点一覧図は、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル、オリジナル形式、PDF で納品してもよい。ファイルは、測量区域単位で作成する。標定点配置図、水準路線図及び対空標識点一覧図等を一図葉に併記した場合は、該当するフォルダに複製を作成して指定された命名規則でそれぞれのファイルを格納する。
- (3) 精度管理表は、PDF形式で納品する。

(空中三角測量)

- (1) 外部標定要素成果表は、TXT形式で納品する。TXTファイルのフォーマットは、付属資料3による。ファイルは、当該成果一式を1ファイルにまとめて作成する。
- (2) パスポイント・タイポイント成果表は、TXT形式で納品する。ファイルは、当該成果一式を1ファイルにまとめて作成する。
- (3) 空中三角測量作業計画・実施一覧図は、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者

間協議により、標準図式データファイル、オリジナル形式、PDF で納品してもよい。ファイルは、測量区域単位で作成する。

- (4) 写真座標測定簿は、TXT 形式で納品する。TXT ファイルのフォーマットは、付属資料 3 による。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルにまとめて作成する。
- (5) 調整計算簿は、TXT 形式で納品する。TXT ファイルのフォーマットは、付属資料 3 による。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルにまとめて作成する。
- (6) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(現地調査)

- (1) 現地調査結果を整理した空中写真の納品方法は、受発注者間協議により決定する。

(数値図化)

- (1) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(数値編集)

- (1) 出力図の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (2) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(補測編集)

- (1) 出力図の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (2) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(数値地形図データファイルの作成)

- (1) 数値地形図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、JPGIS 準拠、標準図式データファイル形式で納品してもよい。
- (2) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。
- (3) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (4) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (5) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

既成図数値化

- (1) 数値地形図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議に

より、JPGIS 準拠、標準図式データファイル形式で納品してもよい。

- (2) 出力図の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (3) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。
- (4) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (5) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (6) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

修正測量

- (1) 数値地形図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、JPGIS 準拠、標準図式データファイル形式で納品してもよい。
- (2) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。
- (3) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (4) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (5) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

写真地図作成

- (1) 写真地図データファイルは、TIFF 形式で納品する。画像圧縮を行う場合にはロスレス圧縮を行う。
- (2) 位置情報ファイルは、ワールドファイル仕様の TXT 形式で納品する。拡張子は「TIFFW」を省略した「TFW」とする。
- (3) 数値地形モデルファイルは、標準図式データファイル形式で納品する。
- (4) 数値写真、正射投影画像、モザイク画像の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (5) 精度管理表は PDF 形式で納品する。
- (6) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (7) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。

航空レーザ測量

(作業計画)

- (1) 航空レーザ計測作業計画は、PDF 形式で納品する。
- (2) 航空レーザ測量システム点検記録は、PDF 形式で納品する。

(GPS 基準局の設置)

- (1) 基準点測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)は、PDF 形式で納品する。
- (2) 水準測量に準ずる測量記録(手簿・記簿など)は、PDF 形式で納品する。
- (3) GPS 基準局明細表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、設置箇所ごとに作成し、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめる。

(航空レーザ計測)

- (1) GPS 衛星の配置などを記載した手簿、記簿等の資料及び基線解析結果等を記載した精度管理表は、PDF 形式で納品する。新規設置の場合のみ、GPS 測量の様式に準拠し、作成する。
- (2) 衛星数及び PDOP 図は、PDF 形式で納品する。
- (3) 計測漏れの点検図は、PDF 形式で納品する。ファイルは、ブロック番号ごとに作成し、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめる。
- (4) 航跡図は、PDF 形式で納品する。ファイルは、1 フライトごとに 1 ページとし、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめて作成する。
- (5) 航空レーザ計測記録は、PDF 形式で納品する。ファイルは、1 フライトごとに 1 ページとし、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめて作成する。

(調整用基準点の設置)

- (1) 調整用基準点の配点図は、PDF 形式で納品する。背景となる地形図には、1/25,000 又は 1/50,000 の地形図を用いる。
- (2) 調整用基準点明細表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、調整用基準点数ごとに作成し、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめる。

(三次元計測データ作成)

- (1) 三次元計測データは、PDF 形式で納品する。
- (2) 三次元計測データ点検表は、PDF 形式で納品する。
- (3) 調整用基準点調査表は、PDF 形式で納品する。
- (4) コース間点検箇所残差表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、コース間ごとに作成し、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめる。
- (5) コース間点検箇所配点図は、PDF 形式で納品する。ファイルは、コース間ご

とに作成し、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめる。

- (6) 写真地図データ、位置情報ファイルは、写真地図データの成果として納品する。
- (7) 水部ポリゴンデータは、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、TXT 又はその他のファイル形式で納品してもよい。ファイルは、データ管理図葉単位で作成する。
- (8) 欠測率調査表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめる。

(オリジナルデータ作成)

- (1) オリジナルデータは、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、TXT 又はその他のファイル形式で納品してもよい。ファイルは、データ管理図葉単位で作成する。
- (2) 調整用基準点残差表は、PDF 形式で納品する。

(グラウンドデータ作成)

- (1) グラウンドデータは、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、TXT 又はその他のファイル形式で納品してもよい。ファイルは、データ管理図葉単位で作成する。
- (2) 既存データ検証結果表は、PDF 形式で納品する。
- (3) フィルタリング点検図は、PDF 形式で納品する。
- (4) グラウンドデータ作成作業精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめる。

(グリッドデータ作成)

- (1) グリッドデータは、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル又はその他の形式で納品してもよい。ファイルは、データ管理図葉単位で作成する。
- (2) グリッドデータ点検図は、PDF 形式で納品する。
- (3) グリッドデータ作成作業精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめる。

(等高線データ作成)

- (1) 等高線データは、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル又はその他の形式で納品してもよい。ファイルは、データ管理図葉単位で作成する。

(数値データファイル作成)

- (1) 格納データリストは、PDF 形式で納品する。
- (2) 数値データファイル作成作業精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイル

は、当該成果一式を 1 ファイルとしてまとめる。

(品質評価)

- (1) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。

(成果等の整理)

- (1) 作業記録は、PDF 形式で納品する。
- (2) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (3) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

地図編集

- (1) 数値地形図データファイル(編集原図データ)は、SXF(SFC)形式で納品する。
受発注者間協議により、JPGIS 準拠、標準図式データファイル形式で納品してもよい。
- (2) 基図データ及び編集原図データ等出力図、注記資料図の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (3) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。
- (4) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (5) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (6) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

その他の地形測量

- (1) その他地形測量は、受発注者間協議により電子納品対象を決定する。
- (2) ファイル名は、ファイル命名規則(地形測量成果)に準拠して決定する。
- (3) ファイル形式は、汎用性の高いもの、再利用が高いものを採用する。
- (4) 製品仕様に基づく地形測量の場合は、データセット、品質評価表、メタデータを電子納品する。
- (5) 新技術を用いた地形測量は、主要工程ごとの資料、精度管理表をあわせて納品する。

基盤地図情報作成

- (1) 基盤地図情報は、受発注者間協議により電子納品対象を決定する。
- (2) ファイル名は、ファイル命名規則(地形測量及び写真測量成果)に準拠して決定する。
- (3) データセット、品質評価表、メタデータを電子納品する。測量成果として、データフォルダ(CHIKEI/DATA)に当該成果を格納する。

(その他)

- (1) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、GPS 基準局配置図、撮影作業日誌、カメラキャリブレーションデータ、航空レーザ計測作業日誌は、PDF 形式で納品する。
- (2) 表 4-3にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納する。ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定する。
- (3) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納する。

4-4 路線測量成果ファイル

路線測量の成果等は、製品仕様書に定められたファイル形式で納品することを原則とするが、製品仕様書に定めがない場合は、表 4-4のファイル形式により電子納品する。

表 4-4 ファイル形式(路線測量成果)

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
線形決定	計算簿	PDF	
	線形図データファイル	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル形式も可
条件点の観測	観測手簿	PDF	
	計算簿	PDF	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	
	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	TXT	協議によりその他の形式も可
	精度管理表	PDF	
IP 設置測量	計算簿	PDF	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	
	点の記	PDF	
	精度管理表	PDF	
中心線測量	計算簿	PDF	
	計算簿(数値データ)	TXT	協議によりその他の形式も可
	線形地形図データファイル	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル形式も可
	引照点図	PDF	
	点の記	PDF	
	精度管理表	PDF	
	仮 BM 設置測量	観測手簿	PDF
成果表		PDF	
成果表(数値データ)		JPGIS 準拠	協議により TXT 又はその他の形式も可
点の記		PDF	
品質評価表		PDF	
メタデータ		JMP2.0	
水準路線図		PDF	協議により SXF(SFC)、オリジ

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
			ナル形式も可
	平均図	PDF	協議により SXF(SFC)、オリジナル形式も可
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
縦断測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	協議により TXT 又はその他の形式も可
	縦断面図データファイル	SXF(SFC)	
	品質評価表	PDF	点の成果の場合
	メタデータ	JMP2.0	点の成果の場合
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
横断測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	横断面図データファイル	SXF(SFC)	
	精度管理表	PDF	
詳細測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	協議により TXT 又はその他の形式も可
	縦断面図データファイル	SXF(SFC)	
	横断面図データファイル	SXF(SFC)	
	詳細平面図データファイル	SXF(SFC)	協議により JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式も可
	品質評価表	PDF	点の成果の場合
		PDF	面の成果の場合
	メタデータ	JMP2.0	点の成果の場合
		JMP2.0	面の成果の場合
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
コードリスト	JPGIS 準拠		
用地幅杭設置 測量	計算簿	PDF	

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
	計算簿(数値データ)	TXT	協議によりその他の形式も可
	杭打図データファイル	SXF(SFC)	協議により、標準図式データファイル形式も可
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	精度管理表	PDF	
その他データ	測量機器検定証明書	PDF	
	測量成果検定証明書等	PDF	
	ファイル説明書	PDF	
	点検測量簿	PDF	
	GPS 基準局配置図	PDF	

【運用基準】

(線形決定)

- (1) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (2) 線形図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。

(条件点の観測)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (3) 成果表は、PDF 形式で納品する。
成果表(数値データ)は、TXT 形式で納品する。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもよい。
- (4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。

(IP 設置測量)

- (1) 計算簿は、PDF 形式で納品する。計算簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。

- (2) 点の記は、PDF 形式で納品する。1 成果 1 ファイルの単位で作成する。
- (3) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは種別単位に作成する。

(中心線測量)

- (1) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
計算簿(数値データ)は、TXT 形式で納品する。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもよい。
- (2) 線形地形図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (3) 引照点図は、PDF 形式で納品する。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (4) 点の記は、PDF 形式で納品する。1 成果 1 ファイルの単位で作成する。
- (5) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。

(仮 BM 設置測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 成果表は、PDF 形式で納品する。
成果表(数値データ)は、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納品してもよい。
- (3) 点の記は、PDF 形式で納品する。1 成果 1 ファイルの単位で作成する。
- (4) 水準路線図、平均図は、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、オリジナル形式、PDF で納品してもよい。ファイルは、図単位で作成する。
- (5) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (6) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (7) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (8) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

(縦断測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
- (2) 成果表は、PDF 形式で納品する。
成果表(数値データ)は、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納品してもよい。
- (3) 縦断面図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (5) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (6) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (7) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

(横断測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
- (2) 横断面図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (3) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。

(詳細測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
- (2) 成果表は、PDF 形式で納品する。
成果表(数値データ)は、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、

TXT 又はその他の形式で納品してもよい。

- (3) 詳細平面図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (4) 縦断面図、横断面図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (5) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (6) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (7) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (8) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

(用地幅杭設置測量)

- (1) 計算簿は、PDF 形式で納品する。
計算簿(数値データ)は、TXT 形式で納品する。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもよい。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (2) 杭打図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (3) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (4) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (5) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。

(その他データ)

- (1) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GPS 基準局配置図は、PDF 形式で納品する。
ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- (2) 表 4-4 にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納する。
ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定する。
- (3) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてフ

ファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納する。

4-5 河川測量成果ファイル

河川測量の成果等は、製品仕様書に定められたファイル形式で納品することを原則とするが、製品仕様書に定めがない場合は、表 4-5のファイル形式により電子納品する。

表 4-5 ファイル形式(河川測量成果)

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
距離標設置測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	
	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	協議により TXT 又はその他の形式も可
	点の記	PDF	協議によりオリジナル形式も可
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	距離標位置情報整理表	PDF	協議によりオリジナル形式も可
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
水準基標測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	
	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	JPGIS 準拠	協議によりその他の形式も可
	点の記	PDF	協議によりオリジナル形式も可
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	水準路線図	PDF	協議により SXF(SFC)、オリジナル形式も可
	平均図	PDF	協議により SXF(SFC)、オリジナル形式も可
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
	コードリスト	JPGIS 準拠	
定期縦断測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	成果表(数値データ)	TXT	「河川定期縦横断測量業務実施要領・同解説」及び「河川定期縦横断データ作成ガイドライン」に準拠 拡張子は「CSV」
	縦断面図データファイル	SXF(SFC)	
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	計算簿	PDF	
	測量成果整理表	オリジナル	「河川定期縦横断データ作成ガイドライン」に準拠
	水準路線図	PDF	協議により SXF(SFC)、オリジナル形式も可
	平均図	PDF	協議により SXF(SFC)、オリジナル形式も可
	精度管理表	PDF	
	業務報告書	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
定期横断測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	成果表(数値データ)	TXT	「河川定期縦横断測量業務実施要領・同解説」及び「河川定期縦横断データ作成ガイドライン」に準拠 拡張子は「CSV」
	横断面図データファイル	SXF(SFC)	
	測量成果整理表	オリジナル	「河川定期縦横断データ作成ガイドライン」に準拠
	精度管理表	PDF	
	業務報告書	PDF	
深浅測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
	横断面図データファイル	SXF(SFC)	
法線測量	観測手簿	PDF	
	計算簿	PDF	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	
	線形図データファイル	SXF(SFC)	協議により JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式も可
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
海浜測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	
	等高・等深線図データファイル	SXF(SFC)	協議により JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式も可
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
		コードリスト	JPGIS 準拠
汀線測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	
	汀線図データファイル	SXF(SFC)	協議により JPGIS 準拠形式も可
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	XML スキーマ	XSD	
		コードリスト	JPGIS 準拠
その他データ	測量機器検定証明書	PDF	
	測量成果検定証明書等	PDF	
	ファイル説明書	PDF	
	点検測量簿	PDF	
	GPS 基準局配置図	PDF	

【運用基準】

(距離標設置測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。観測手簿(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (3) 成果表は、PDF 形式で納品する。
成果表(数値データ)は、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納品してもよい。
- (4) 点の記は、PDF 形式で納品する。
点の記(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。点の記(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。
- (5) 距離標位置情報整理表は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもよい。ファイルは、種別単位で作成する。
- (6) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (7) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (8) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (9) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

(水準基標測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。観測手簿(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (3) 成果表は、PDF 形式で納品する。

成果表(数値データ)は、JPGIS 準拠形式で納品する。受発注者間協議により、TXT 又はその他の形式で納品してもよい。

- (4) 点の記は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもよい。
- (5) 水準路線図、平均図は、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、PDF 又はオリジナル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (6) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (7) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (8) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (9) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

(定期縦断測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (3) 成果表(数値データ)は、TXT 形式で納品する。TXT データは、「河川定期縦横断測量業務実施要領・同解説(一般財団法人 日本建設情報総合センター、平成 9 年 6 月)」及び「河川定期縦横断データ作成ガイドライン(国土交通省河川局、平成 20 年 5 月)」で定められた仕様で作成する。拡張子は「CSV」とする。
- (4) 縦断面図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (5) 縦断測量成果整理表は、「河川定期縦横断データ作成ガイドライン(国土交通省河川局、平成 20 年 5 月)」に準拠した形式で納品する。
- (6) 水準路線図、平均図は、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、PDF 又はオリジナル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (7) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (8) 業務報告書は、PDF 形式で納品する。

- (9) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (10) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (11) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。
- (12) ダム湖の深浅測量成果についても、本要領に従い、電子成果品を作成する。

(定期横断測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 成果表(数値データ)は、TXT 形式で納品する。TXT データは、「河川定期縦横断測量業務実施要領・同解説(一般財団法人 日本建設情報総合センター、平成 9 年 6 月)」及び「河川定期縦横断データ作成ガイドライン(国土交通省河川局、平成 20 年 5 月)」で定められた仕様で作成する。拡張子は「CSV」とする。ファイルは、測線ごとに 1 ファイルとして作成する。
- (3) 横断面図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (4) 横断測量成果整理表は、「河川定期縦横断データ作成ガイドライン(国土交通省河川局、平成 20 年 5 月)」に準拠した形式で納品する。
- (5) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (6) 業務報告書は、PDF 形式で納品する。定期縦横断測量として、縦断測量及び横断測量が一体として行われた場合には、1 ファイルにまとめて作成する。
- (7) このほか、構造物周辺の縦横断測量を行った場合、定期縦断測量及び定期横断測量の場合に準じて電子化する。測線位置平面図を作成する場合は、PDF 形式で納品する。構造物周辺の縦横断測量成果は、これ以外の定期縦横断測量と区別しやすいように、ファイル名、ファイル副題、納品方法を、受発注者間協議により決定する。
- (8) ダム湖の深浅測量成果についても、本要領に従い、電子成果品を作成する。

(深浅測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。

ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100枚程度に分割してファイルを作成する。

- (2) 記録紙の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (3) 横断面図、縦断面図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (4) ダム湖の深浅測量成果についても、本要領に従い、電子成果品を作成する。

(法線測量)

- (1) 観測手簿は、PDF形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 計算簿は、PDF形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (3) 線形図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、JPGIS準拠又は標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (4) 精度管理表は、PDF形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (5) 品質評価表は、PDF形式で納品する。
- (6) メタデータは、JMP2.0形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (7) XMLスキーマはXSD形式、コードリストはJPGIS準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データがJPGIS準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

(海浜測量)

- (1) 観測手簿は、PDF形式で納品する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 計算簿は、PDF形式で納品する。
計算簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (3) 等高・等深線図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、JPGIS準拠又は標準図式データファイル形式で納品してもよい。フ

ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。

- (4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (5) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (6) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (7) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

(汀線測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。
観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 計算簿は、PDF 形式で納品する。
計算簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (3) 汀線図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (4) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (5) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (6) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

(その他)

- (1) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GPS 基準局配置図は、PDF 形式で納品する。
ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- (2) 表 4-5 にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納する。
ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定する。
- (3) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてフ

ファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納する。

4-6 用地測量成果ファイル

用地測量の成果等は、仕様書に定められたファイル形式で納品することを原則とするが、仕様書に定めがない場合は、表 4-6のファイル形式により電子納品する。

表 4-6 ファイル形式(用地測量成果)

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
資料調査	公図等転写図	(対象外)	
	公図等転写連続図	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル形式も可
	土地調査表	PDF	協議によりオリジナル形式も可
	建物の登記記録等調査表	PDF	協議によりオリジナル形式も可
	権利者調査表	PDF	協議によりオリジナル形式も可
	地積測量図転写図	PDF	
復元測量	観測手簿	PDF	
	復元箇所位置図データファイル	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル形式も可
境界確認	土地境界立会確認書	PDF	
	公共用地境界確定協議の申請書・確定図	PDF	
境界測量	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	測量計算簿等	PDF	
	測量計算簿等(数値データ)	オリジナル	
	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	TXT	協議によりその他の形式も可
補助基準点の設置	観測手簿	PDF	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	
	計算簿	PDF	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	
	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	TXT	協議によりその他の形式も可
	基準点網図データファイル	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル、PDF、オリジナル形

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
			式も可
	精度管理表	PDF	
用地境界仮杭設置	計算簿	PDF	協議により TXT 又はその他の形式も可
	計算簿(数値データ)	オリジナル	
	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	TXT	協議によりその他の形式も可
	設置箇所位置図データファイル	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル形式も可
用地境界杭設置	計算簿	PDF	
	計算簿(数値データ)	オリジナル	
	成果表	PDF	
	成果表(数値データ)	TXT	協議により TXT 形式も可
	設置箇所位置図データファイル	SXF(SFC)	協議により標準図式データファイル形式も可
境界点間測量	観測手簿	PDF	
	精度管理図	PDF	協議により SXF(SFC)、オリジナル形式も可
	精度管理表	PDF	
面積計算	面積計算書	PDF	
	面積計算書(数値データ)	TXT	協議によりその他の形式も可
用地実測図データファイルの作成	用地実測図データファイル	SXF(SFC)	協議により JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式も可
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
用地平面図データファイルの作成	用地平面図データファイル	SXF(SFC)	協議により JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式も可
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
	精度管理表	PDF	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
その他データ	測量機器検定証明書	PDF	
	測量成果検定証明書等	PDF	
	ファイル説明書	PDF	
	点検測量簿	PDF	
	GPS 基準局配置図	PDF	
	既知点検測の観測手簿・計算書・検測図	PDF	

表 4-6に示される成果のうち、「対象外」と表記されている成果については、原則として電子納品の対象外として従来どおりの納品を行う。これらの成果を電子納品する場合は、受発注者間協議により、ファイル形式、ファイル作成単位、ファイル名等を決定する。

【運用基準】

(資料調査)

- (1) 公図等転写図の納品方法は、受発注者間協議により決定する。
- (2) 公図等転写連続図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (3) 土地調査表は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもよい。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (4) 建物の登記簿等調査表は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもよい。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (5) 権利者調査表は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもよい。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (6) 地積測量図転写図は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。

(復元測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適

当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100枚程度に分割してファイルを作成する。

- (2) 復元箇所位置図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。

(境界確認)

- (1) 土地境界立会確認書は、PDF形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (2) 公共用地境界確定協議の申請書・確定図は、PDF形式で納品する。

(境界測量)

- (1) 観測手簿は、PDF形式で納品する。観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。観測手簿(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 測量計算簿等は、PDF形式で納品する。測量計算簿等(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (3) 成果表は、PDF形式で納品する。成果表(数値データ)は、TXT形式で納品する。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもよい。

(補助基準点の設置)

- (1) 観測手簿は、PDF形式で納品する。観測手簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。観測手簿(数値データ)の納品の要否は、受発注者間協議により決定する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合、利用の便を考慮し、100枚程度に分割してファイルを作成する。
- (2) 計算簿は、PDF形式で納品する。計算簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (3) 成果表は、PDF形式で納品する。成果表(数値データ)は、TXT形式で納品する。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもよい。
- (4) 基準点網図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル、PDF、オリジナル形式で納品してもよい。フ

ファイルは、図単位又は図の種別単位で作成する。

- (5) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。

(用地境界仮杭設置)

- (1) 計算簿は、PDF 形式で納品する。計算簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。ファイルは、受発注者間協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- (2) 成果表は、PDF 形式で納品する。成果表(数値データ)は、TXT 形式で納品する。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもよい。
- (3) 設置箇所位置図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。

(用地境界杭設置)

- (1) 計算簿は、PDF 形式で納品する。計算簿(数値データ)は、オリジナル形式で納品する。
ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて整理する。
- (2) 成果表は、PDF 形式で納品する。成果表(数値データ)は、TXT 形式で納品する。受発注者間協議により、その他の形式で納品してもよい。
- (3) 設置箇所位置図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。

(境界点間測量)

- (1) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。
- (2) 精度管理図は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、SXF(SFC) 又はオリジナル形式で納品してもよい。ファイルは、図単位又は図の種別単位で作成する。
- (3) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。

(面積計算)

- (1) 面積計算書は、PDF 形式で納品する。
面積計算書(数値データ)は、TXT 形式で納品する。

(用地実測図データファイルの作成)

- (1) 用地実測図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議に

より、JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。

- (2) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (3) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (4) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (5) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

(用地平面図データファイルの作成)

- (1) 用地平面図データファイルは、SXF(SFC)形式で納品する。受発注者間協議により、JPGIS 準拠又は標準図式データファイル形式で納品してもよい。ファイル作成単位は、受発注者間協議により決定する。
- (2) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位で作成する。
- (3) 品質評価表は、PDF 形式で納品する。
- (4) メタデータは、JMP2.0 形式で納品する。作成手法、地域範囲、ファイル形式が異なるため、メタデータの系譜、範囲、書式の記述が異なる場合、種別単位でファイルを作成する。
- (5) XML スキーマは XSD 形式、コードリストは JPGIS 準拠形式で納品する。
なお、コードリストは、実データが JPGIS 準拠形式の場合にのみ、必要に応じて作成する。

(その他)

- (1) 機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、点検測量簿、GPS 基準局配置図、既知点検測の観測手簿・計算書・検測図は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- (2) 表 4-6にない測量成果等については、その他データサブフォルダに格納する。ファイル形式、ファイル作成単位等は、受発注者間協議により決定する。
- (3) オリジナルファイル、又は拡張したファイルを納品する場合、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書を作成し、その他データサブフォルダに格納する。

4-7 その他の応用測量成果ファイル

その他の応用測量の成果等は、製品仕様書に定められたファイル形式で納品することを原則とするが、製品仕様書に定めがない場合は、表 4-7のファイル形式により電子納品する。

表 4-7 ファイル形式(その他の応用測量成果)

測量細分類	成果等の名称	ファイル形式	備考
その他の応用 測量	主題図データファイル	JPGIS 準拠	
	品質評価表	PDF	
	メタデータ	JMP2.0	
	XML スキーマ	XSD	
	コードリスト	JPGIS 準拠	
その他データ	その他の資料	-	

【運用基準】

- (1) その他の応用測量成果は、受発注者間協議により電子納品対象成果を決定する。
- (2) データセット、品質評価表、メタデータを電子納品する。測量成果として、データフォルダ(OTHRSOYO/DATA)に当該成果を格納する。

4-8 ドキュメントファイル

ドキュメントファイルは、表 4-8のファイル形式により電子納品する。

表 4-8 ファイル形式(ドキュメントファイル)

成果等の名称	ファイル形式	備考
製品仕様書	PDF	協議によりオリジナル形式も可
特記仕様書	PDF	協議によりオリジナル形式も可
協議書	PDF	
実施報告書	オリジナル	

【運用基準】

- (1) 製品仕様書は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもよい。
- (2) 特記仕様書は、PDF 形式で納品する。受発注者間協議により、オリジナル形式で納品してもよい。
- (3) 協議書は、PDF 形式で納品する。
- (4) 実施報告書は、オリジナル形式で納品する。実施報告書は、実施報告、現場写真、案内図等を含む。

5 ファイルの命名規則

ファイル名(拡張子含む)は、半角英数大文字とし、各ファイルの名称は次による。

5-1 管理ファイル等

- (1) 測量情報管理ファイルは「SURUEY.XML」とし、測量情報管理ファイルのDTDは「SURVEY03.DTD」(03は版情報)とする。
- (2) 測量成果管理ファイルは、基準点測量成果管理ファイル「SURV_KTN.XML」、水準測量成果管理ファイル「SURV_SJN.XML」、地形測量及び写真測量成果管理ファイル「SURV_CHI.XML」、路線測量成果管理ファイル「SURV_RSN.XML」、河川測量成果管理ファイル「SURV_KSN.XML」、用地測量成果管理ファイル「SURV_YCH.XML」、その他の応用測量成果管理ファイル「SURV_OYO.XML」とする。測量成果管理ファイルのDTDは「SURV_D03.DTD」(03は版番号)とする。
- (3) ドキュメント管理ファイルは「SURV_DOC.XML」とし、ドキュメント管理ファイルのDTDは「SDOC_D01.DTD」(01は版情報)とする。
- (4) 各管理ファイルのスタイルシートのファイル名は、「SURVEY03.XSL」、「SURV_D03.XSL」、「SDOC_D01.XSL」とする。

5-2 測量成果ファイル等

(1) 測量成果ファイル等のファイル名は、次の原則による(図 5-1参照)。

- 図 5-1の「`nnn`」部分には、測量細区分の設定記号(表 5-1参照)を付す。
- 図 5-1の「`XXX`」部分には、成果種類の設定記号(表 5-3～表 5-9参照)を付す。
- 図 5-1の「`nnn`」部分には、同一成果種類のファイル内で割振った連番を付す。

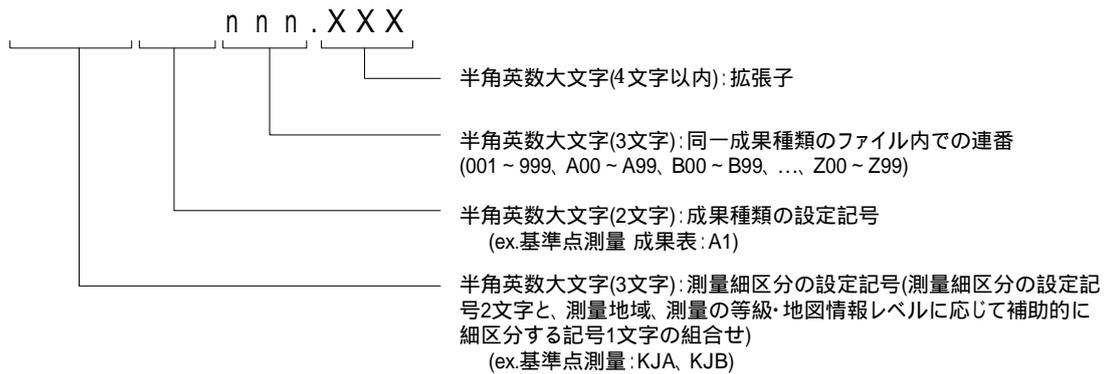


図 5-1 測量成果ファイルの命名規則

(2) XML スキーマ、コードリストのファイル名は、次による。

- XML スキーマ: SCHMnnn.XSD
- コードリスト: CODEnnn.XML

nnn は同一サブフォルダ内で割り振った連番を付す。

【解説】

(1) ファイル命名の原則

ファイル名に使用できる文字は、半角(1 バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」のみである。拡張子は 4 文字でもよい。

図 5-1のファイル命名規則のうち、「`nnn`」の部分に設定する記号については、表 5-1を参照する。表 5-1の記号の 3 文字目の「*」には、A,B,C,…,Z, 1,…,9 を割り当て、測量地域、測量の等級・地図情報レベルに応じて、補助的に細区分する。通常、「A」を記入するが、複数地域や複数精度の場合、成果を分割するため、B,C…Z, 1…9 を順次使用する。この記号は、該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させる。

例: 撮影で 1/8,000 と 1/12,500 が同時発注になった場合は 2 つの測量細区分サブフォルダに格納し、ファイル名もそれぞれ「CSA `nnn`.XXX」、「CSB

nnn.XXX」というファイル名となる。

図 5-1のファイル命名規則のうち、「

図 5-1のファイル命名規則のうち、「nnn」の部分には、連番(001～999)を割当てて

同一成果の電子ファイルが複数ある場合は、001,002,...,999 を順次割当てて。ファイル数が999を超える場合は、A00～A99, B00～B99,...,Z00～Z99を用いる。

例：基準点測量の成果表をPDF形式で3枚電子化した場合のファイル名は、

「KJAA1001.PDF」、「KJAA1002.PDF」、「KJAA1003.PDF」となる。

(2) 同一データセットでのファイル命名の留意点

標準図式データファイルなど、インデックスデータファイル、データファイル、ファイル説明書など、複数のファイルから構成されるデータセットについては、同一の設定記号を割り当て、同一のデータセット内でファイル名(拡張子除く)が異なるようにする。

例：線形図データファイルを標準図式データファイルで納品する場合

CGAB1001.DMI、CGAB1001.DM、CGAB1001.PDF

さらに、標準図式データファイルに加え、SXF(SFC)形式で納品する場合は、連番 nnn は次順の番号を付与する。

例：線形図データファイルを標準図式データファイルに加えて SXF(SFC)形式で納品する場合

CGAB1002.P21

(3) SXF データのラスタファイルの命名の留意点

SXF データのラスタファイルのファイル命名は図 5-2のとおりとする。

ラスタファイルについては、測量細区分の設定記号、成果種類の設定記号は、対応する SXF(SFC)ファイルと一致させる。同一成果の SXF ファイルが複数存在する場合、ファイルを跨ぐ形で枝番を付与する形となるため、注意する。

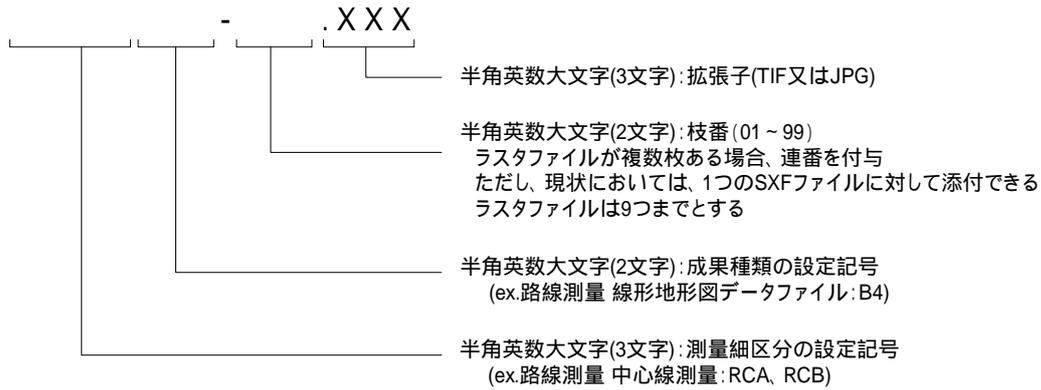


図 5-2 SXF データのラスタファイルの命名規則

表 5-1 測量細区分の設定記号

測量区分	測量細区分		設定記号
基準点測量			KJ*
	その他データ		KOT
水準測量			SJ*
	その他データ		SOT
地形測量及び写真測量	現地測量	基準点の設置	CG*
		細部測量	CG*
		数値編集	CG*
		数値地形図データファイルの作成	CG*
	撮影	標定点の設置	CS*
		対空標識の設置	CS*
		撮影	CS*
		刺針	CS*
	空中三角測量	空中三角測量	CK*
	数値図化	現地調査	CZ*
		数値図化	CZ*
		数値編集	CZ*
		補測編集	CZ*
		数値地形図データファイルの作成	CZ*
	既成図数値化		CM*
	修正測量(測量手法により CG*又は CZ*等に格納)		CG*又は CZ*等
	写真地図作成		CD*
	航空レーザ測量	作業計画	CL*
		GPS 基準局の設置	CL*
		航空レーザ計測	CL*
調整用基準点の設置		CL*	
三次元計測データ作成		CL*	
オリジナルデータ作成		CL*	

測量区分	測量細区分		設定記号
		グラウンドデータ作成	CL*
		グリッドデータ作成	CL*
		等高線データ作成	CL*
		品質評価	CL*
		成果等の整理	CL*
	地図編集		CU*
	その他の地形測量及び写真測量		CO*
	その他データ		ZOT
路線測量	中心線測量	線形決定	RC*
		条件点の観測	RC*
		IP 設置測量	RC*
		中心線測量	RC*
	縦横断測量	仮 BM 設置測量	RZ*
		縦断測量	RZ*
		横断測量	RZ*
	詳細測量		RS*
	幅杭測量	用地幅杭設置測量	RH*
	その他データ		ROT
河川測量	距離標設置測量	距離標設置測量	WK*
		水準基標測量	WK*
	定期縦横断測量	定期縦断測量	WZ*
		定期横断測量	WZ*
	深浅測量		WS*
	法線測量		WH*
	海浜・汀線測量	海浜測量	WT*
		汀線測量	WT*
	その他データ		WOT
用地測量	資料調査		YS*
	境界確認	復元測量	YK*
		境界確認	YK*
	境界測量	境界測量	YY*
		補助基準点の設置	YY*
		用地境界仮杭設置	YY*
		用地境界杭設置	YY*
	境界点間測量		YT*
	面積計算		YM*
	用地実測図等の作成	用地実測図データファイルの作成	YZ*
		用地平面図データファイルの作成	YZ*
その他データ		YOT	
その他の応用測量	その他の応用測量		OT*
	その他		OOT

(注1)*には、A～Z, 1～9の記号を割り当て、測量地域、測量の等級・地図情報レベルに応じて、補助的に細区分する

表 5-2 ファイル名設定記号のカテゴリ区分

成果等のカテゴリー	成果等の名称	DATA, WORK 区分	設定記号
点の成果	成果表、成果表(数値データ)、観測成果表、観測成果表(数値データ)、平均成果表、平均成果表(数値データ)、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト、等	DATA	A
面の成果	数値地形図データファイル、写真地図データファイル、オリジナルデータ、グラウンドデータ、グリッドデータ、水部ポリゴン、メッシュデータ、等高線データ、品質評価表、メタデータ、XML スキーマ、コードリスト、等	DATA	B
点の記	点の記、点の記(数値データ)、等	DATA	C
手簿・記簿	観測手簿、観測記簿、点検測量簿 埋標手簿、等	WORK	D
計算簿類	計算簿、標定点成果表、標定点測量簿、同明細簿、対空標識点明細票、同時調整成果表、外部標定要素成果表、座標測定簿、調整計算簿、等	WORK	E
網図・一覧図類	基準点網図、平均図、観測図、水準路線図、標定点配置図、対空標識点一覧図、標定図、刺針点一覧図、空中三角測量作業計画・実施一覧図、等	WORK	F
精度管理表	精度管理表、等	WORK	G
説明書類	基準点現況調査報告書、撮影記録、業務報告書、測量標の地上写真、等	WORK	H
その他	測量機器検定証明書、測量成果検定証明書等、ファイル説明書、GPS 観測スケジュール表、衛星配置図、等	OTHR	J

表 5-3 ファイル命名規則(基準点測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
基準点測量 <KJ*>	基準点測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		観測記簿	D3	WORK
		観測記簿(数値データ)	D4	WORK
		計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		平均図	F2	WORK
		成果表	A1	DATA
		点の記	C1	DATA
		点の記(数値データ)	C2	DATA
		建標承諾書	-	
		測量標設置位置通知書	-	
		基準点網図	F1	WORK
		品質評価表	A3	DATA
		測量標の地上写真	H1	WORK
		基準点現況調査報告書	H2	WORK
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		点検測量簿	D5	WORK
		メタデータ	A4	DATA
		観測図	F3	WORK
		精度管理表	G1	WORK
		埋標手簿	D6	WORK
		測量標新旧位置明細書	H3	WORK
		GPS 観測記録簿	D7	WORK
XML スキーマ	SCHM	DATA		
コードリスト	CODE	DATA		
その他データ <KOT>	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHR
		測量成果検定証明書等	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR
		GPS 観測スケジュール表	J4	OTHR
		衛星配置図	J5	OTHR
		GPS 基準局配置図	J6	OTHR

表 5-4 ファイル命名規則(水準測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
水準測量 <SJ*>	水準測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		観測成果表	A1	DATA
		平均成果表	A3	DATA
		水準路線図	F1	WORK
		計算簿	E1	WORK
		平均図	F2	WORK
		点の記	C1	DATA
		点の記(数値データ)	C2	DATA
		建標承諾書	-	
		測量標設置位置通知書	-	
		観測成果表(数値データ)	A2	DATA
		平均成果表(数値データ)	A4	DATA
		測量標の地上写真	H1	WORK
		基準点現況調査報告書	H2	WORK
		品質評価表	A5	DATA
		点検測量簿	D3	WORK
		メタデータ	A6	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		測量標新旧位置明細書	H3	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
コードリスト	CODE	DATA		
その他データ <SOT>	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHR
		測量成果検定証明書等	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR

表 5-5 ファイル命名規則(地形測量及び写真測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
現地測量 <CG*>	現地測量(基準点 の設置)		基準点測量 の成果とし て格納	
	現地測量(細部測 量)	測定位置確認資料	H1	WORK
		細部測量精度管理表	G1	WORK
	現地測量(数値編 集)	数値編集精度管理表	G2	WORK
	現地測量(数値地 形図データファ イルの作成)	数値地形図データファイル	B1	DATA
		数値地形図データ作成精度 管理表	G3	WORK
	現地測量(品質評 価)	品質評価表	B2	DATA
現地測量(成果等 の整理)	メタデータ	B3	DATA	
	XML スキーマ	SCHM	DATA	
	コードリスト	CODE	DATA	
撮影 <CS*>	空中写真測量(標 定点の設置)	標定点成果表	E1	WORK
		標定点配置図	F1	WORK
		水準路線図	F2	WORK
		標定点測量簿	E2	WORK
		標定点測量簿(数値データ)	E3	WORK
		同明細簿	E4	WORK
	空中写真測量(対 空標識の設置)	精度管理表	G1	WORK
		対空標識点明細票	E5	WORK
		偏心計算簿		
		対空標識点一覧図	F3	WORK
	空中写真測量(撮 影)	精度管理表	G2	WORK
		ネガフィルム	-	
		密着印画	-	
		数値写真	H1	WORK
		サムネイル画像	H2	WORK
		標定図	F4	WORK
		同時調整成果表(外部標定要 素成果表)	E6	WORK
		撮影記録	H3	WORK
		撮影諸元	H4	WORK
		品質評価表	B1	DATA
		精度管理表(撮影コース別)	G3	WORK
		精度管理表(撮影ロール別)	G4	WORK
	GPS/IMU 計算精度管理表	G5	WORK	
GPS 基準局観測記録簿	D1	WORK		
空中写真数値化作業記録簿	D2	WORK		

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
		及び点検記録簿		
	空中写真測量(刺 針)	刺針点明細票	-	
		偏心計算簿	-	
		刺針点一覧図	F5	WORK
		精度管理表	G6	WORK
空中写真測量 <CK*>	空中写真測量(空 中三角測量)	外部標定要素成果表	E1	WORK
		パスポイント・タイポイン ト成果表	E2	WORK
		空中三角測量作業計画・実 施一覧図	F1	WORK
		写真座標測定簿	E3	WORK
		調整計算簿	E4	WORK
		精度管理表	G1	WORK
数値図化 <CZ*>	空中写真測量(現 地調査)	現地調査結果を整理した空 中写真	-	
	空中写真測量(数 値図化)	精度管理表(数値図化)	G1	WORK
		精度管理表(地形補備測量)	G2	WORK
	空中写真測量(数 値編集)	出力図	-	
		精度管理表(数値編集)	G3	WORK
	空中写真測量(補 測編集)	出力図	-	
		精度管理表(現地補測)	G4	WORK
		精度管理表(補測編集)	G5	WORK
	空中写真測量(数 値地形図デー タファイルの作成)	数値地形図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G6	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
既成図数値化 <CM*>	既成図数値化	数値地形図データファイル	B1	DATA
		出力図	-	
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
修正測量	修正測量	数値地形図データファイル	測量手法に より、現地測 量(CG*)、数 値図化(CZ*) の成果とし て格納	
		品質評価表		
		メタデータ		
		精度管理表		
		XML スキーマ		
		コードリスト		
写真地図作成 <CD*>	写真地図作成	写真地図データファイル	B1	DATA
		位置情報ファイル	B2	DATA
		数値地形モデルファイル	B3	DATA

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
		品質評価表	B4	DATA
		メタデータ	B5	DATA
		数値写真	-	
		正射投影画像	-	
		モザイク画像	-	
		精度管理表	G1	WORK
航空レーザ測量 <CL*>	航空レーザ測量 (作業計画)	航空レーザ計測作業計画	H1	WORK
		航空レーザ測量システム点 検記録	D1	WORK
	航空レーザ測量 (GPS 基準局の設 置)	基準点測量に準ずる測量記 録(手簿・記簿など)	D2	WORK
		水準測量に準ずる測量記録 (手簿・記簿など)	D3	WORK
		GPS 基準局明細表	D4	WORK
	航空レーザ測量 (航空レーザ計測)	GPS 衛星の配置などを記載 した手簿、記簿等の資料及 び基線解析結果等を記載し た精度管理表	G1	WORK
		衛星数及び PDOP 図	H2	WORK
		計測漏れの点検図	H3	WORK
		航跡図	H4	WORK
		航空レーザ計測記録	H5	WORK
	航空レーザ測量 (調整用基準点の 設置)	調整用基準点の配点図	F1	WORK
		調整用基準点明細表	D5	WORK
	航空レーザ測量 (三次元計測デー タ作成)	三次元計測データ	H6	WORK
		三次元計測データ点検表	H7	WORK
		調整用基準点調査表	D6	WORK
		コース間点検箇所残差表	D7	WORK
		コース間点検箇所配点図	F2	WORK
		写真地図データファイル	写真地図デ ータ(CD*)の 成果として 格納	
		位置情報ファイル		
		水部ポリゴンデータ	B1	DATA
	欠測率調査表	D8	WORK	
航空レーザ測量 (オリジナルデー タ作成)	オリジナルデータ	B2	DATA	
	調整用基準点残差表	E1	WORK	
航空レーザ測量 (グラウンドデー タ作成)	グラウンドデータ	B3	DATA	
	既存データ検証結果表	D9	WORK	
	フィルタリング点検図	H9	WORK	
	グラウンドデータ作成作業 精度管理表	G2	WORK	

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
	航空レーザ測量 (グリッドデータ 作成)	グリッドデータ	B4	DATA
		グリッドデータ点検図	HA	WORK
		グリッドデータ作成作業精 度管理表	G3	WORK
	航空レーザ測量 (等高線データ作 成)	等高線データ	B5	DATA
	航空レーザ測量 (数値データファ イル作成)	格納データリスト	HB	WORK
		数値データファイル作成作 業精度管理表	G4	WORK
	航空レーザ測量 (品質評価)	品質評価表	B6	DATA
	航空レーザ測量 (成果等の整理)	作業記録	HC	WORK
		メタデータ	B7	DATA
		XML スキーマ	SCHM	DATA
コードリスト		CODE	DATA	
地図編集 <CU*>	地図編集	数値地形図データファイル (編集原図データ)	B1	DATA
		基図データ及び編集原図デ ータ等出力図	-	
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
その他の地形測 量及び写真測量 <CO*>	その他の地形測 量及び写真測量	測量記録	**	WORK
		測量成果	**	DATA
基盤地図作成	基盤地図作成	基盤地図情報又は基盤地図 情報を含む数値地形図デー タ	測量手法に より、上記ま での規定に 従い成果を 格納	
		品質評価表		
		メタデータ		
		XML スキーマ		
その他データ <ZOT>	その他データ	コードリスト		
		測量機器検定証明書	J1	OTHR
		測量成果検定証明書等	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR
		GPS 基準局配置図	J4	OTHR
		撮影作業日誌	J5	OTHR
		カメラキャリブレーション データ	J6	OTHR
航空レーザ計測作業日誌	J7	OTHR		

表 5-6 ファイル命名規則(路線測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
中心線測量 <RC*>	線形決定	計算簿	E1	WORK
		線形図データファイル	B1	DATA
	条件点の観測	観測手簿	D1	WORK
		計算簿	E2	WORK
		計算簿(数値データ)	E3	WORK
		成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		精度管理表	G1	WORK
	IP 設置測量	計算簿	E4	WORK
		計算簿(数値データ)	E5	WORK
		点の記	C1	DATA
		精度管理表	G2	WORK
	中心線測量	計算簿	E6	WORK
		計算簿(数値データ)	E7	WORK
		線形地形図データファイル	B2	DATA
		引照点図	B5	DATA
		点の記	C2	DATA
		精度管理表	G3	WORK
縦横断測量 <RZ*>	仮 BM 設置測量	観測手簿	D1	WORK
		成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		点の記	C1	DATA
		品質評価表	A3	DATA
		メタデータ	A4	DATA
		水準路線図	F1	WORK
		平均図	F2	WORK
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
	コードリスト	CODE	DATA	
	縦断測量	観測手簿	D2	WORK
		観測手簿(数値データ)	D3	WORK
		成果表	A5	DATA
		成果表(数値データ)	A6	DATA
		縦断面図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	A7	DATA
		メタデータ	A8	DATA
		精度管理表	G2	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
	コードリスト	CODE	DATA	
横断測量	観測手簿	D4	WORK	
	観測手簿(数値データ)	D5	WORK	
	横断面図データファイル	B2	DATA	

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
		精度管理表	G3	WORK
詳細測量 <RS*>	詳細測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		縦断面図データファイル	B1	DATA
		横断面図データファイル	B2	DATA
		詳細平面図データファイル	B3	DATA
		品質評価表	A3	DATA
			B4	DATA
		メタデータ	A4	DATA
			B5	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
コードリスト	CODE	DATA		
幅杭測量 <RH*>	用地幅杭設置測 量	計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		杭打図データファイル	F1	WORK
		品質評価表	A1	DATA
		メタデータ	A2	DATA
		精度管理表	G1	WORK
その他データ <ROT>	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHR
		測量成果検定証明書等	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR
		点検測量簿	J4	OTHR
		GPS 基準局配置図	J5	OTHR

表 5-7 ファイル命名規則(河川測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分	
距離標設置測量 <WK*>	距離標設置測量	観測手簿	D1	WORK	
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK	
		計算簿	E1	WORK	
		成果表	A1	DATA	
		成果表(数値データ)	A2	DATA	
		点の記	C1	DATA	
		品質評価表	A3	DATA	
		メタデータ	A4	DATA	
		距離標位置情報整理表	A5	DATA	
		精度管理表	G1	WORK	
		XML スキーマ	SCHM	DATA	
		コードリスト	CODE	DATA	
		水準基標測量	観測手簿	D3	WORK
	観測手簿(数値データ)		D4	WORK	
	計算簿		E2	WORK	
	成果表		A6	DATA	
	成果表(数値データ)		A7	DATA	
	点の記		C2	DATA	
	品質評価表		A8	DATA	
	メタデータ		A9	DATA	
	水準路線図		F1	WORK	
	平均図		F2	WORK	
	精度管理表		G2	WORK	
	XML スキーマ		SCHM	DATA	
	コードリスト		CODE	DATA	
	定期縦横断測量 <WZ*>		定期縦断測量	観測手簿	D1
		観測手簿(数値データ)		D2	WORK
成果表(数値データ)		A1		DATA	
縦断面図データファイル		B1		DATA	
品質評価表		A2		DATA	
メタデータ		A3		DATA	
計算簿		E1		WORK	
測量成果整理表		A4		DATA	
水準路線図		F1		WORK	
平均図		F2		WORK	
精度管理表		G1		WORK	
業務報告書		H1		WORK	
XML スキーマ		SCHM		DATA	
コードリスト		CODE	DATA		
定期横断測量		観測手簿	D3	WORK	
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK	
		成果表(数値データ)	A5	DATA	

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
		横断面図データファイル	B2	DATA
		測量成果整理表	A6	DATA
		精度管理表	G2	WORK
		業務報告書	H2	WORK
深浅測量 <WS*>	深浅測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		横断面図データファイル	B1	DATA
法線測量 <WH*>	法線測量	観測手簿	D1	WORK
		計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		線形図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
海浜・汀線測量 <WT*>	海浜測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		等高・等深線図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
		汀線測量	観測手簿	D3
	観測手簿(数値データ)		D4	WORK
	計算簿		E3	WORK
	計算簿(数値データ)		E4	WORK
	汀線図データファイル		B4	DATA
	品質評価表		B5	DATA
	メタデータ		B6	DATA
	XML スキーマ		SCHM	DATA
	コードリスト	CODE	DATA	
その他データ <WOT>	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHR
		測量成果検定証明書等	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR
		点検測量簿	J4	OTHR
		GPS 基準局配置図	J5	OTHR

表 5-8 ファイル命名規則(用地測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
資料調査 <YS*>	資料調査	公図等転写図	-	
		公図等転写連続図	F1	WORK
		土地調査表	H1	WORK
		建物の登記記録等調査表	H2	WORK
		権利者調査表	H3	WORK
		地積測量図転写図	F2	WORK
境界確認 <YK*>	復元測量	観測手簿	D1	WORK
		復元箇所位置図データファイル	B1	DATA
	境界確認	土地境界立会確認書	H1	WORK
		公共用地境界確定協議の申請書・確定図	H2	WORK
境界測量 <YY*>	境界測量	観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		測量計算簿等	E1	WORK
		測量計算簿等(数値データ)	E2	WORK
		成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
	補助基準点の設置	観測手簿	D3	WORK
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK
		計算簿	E3	WORK
		計算簿(数値データ)	E4	WORK
		成果表	A3	DATA
		成果表(数値データ)	A4	DATA
		基準点網図データファイル	F1	WORK
		精度管理表	G1	WORK
	用地境界仮杭設置	計算簿	E5	WORK
		計算簿(数値データ)	E6	WORK
		成果表	A5	DATA
		成果表(数値データ)	A6	DATA
		設置箇所位置図データファイル	B1	DATA
		用地境界杭設置	計算簿	E7
	計算簿(数値データ)		E8	WORK
	成果表		A7	DATA
	成果表(数値データ)		A8	DATA
	設置箇所位置図データファイル		B2	DATA
境界点間測量	境界点間測量	観測手簿	D1	WORK

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
<YT*>		精度管理図	G1	WORK
		精度管理表	G2	WORK
面積計算 <YM*>	面積計算	面積計算書	A1	DATA
		面積計算書(数値データ)	A2	DATA
用地実測図等の 作成 <YZ*>	用地実測図デー タファイルの作 成	用地実測図データファイル	B1	DATA
		品質評価表	B2	DATA
		メタデータ	B3	DATA
		精度管理表	G1	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
	用地平面図デー タファイルの作 成	用地平面図データファイル	B4	DATA
		品質評価表	B5	DATA
		メタデータ	B6	DATA
		精度管理表	G2	WORK
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
その他データ <YOT>	その他データ	測量機器検定証明書	J1	OTHR
		測量成果検定証明書等	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR
		点検測量簿	J4	OTHR
		GPS 基準局配置図	J5	OTHR
		既知点検測の観測手簿・計 算書・検測図	J6	OTHR

表 5-9 ファイル命名規則(その他の応用測量成果)

測量細区分	測量細分類	成果等の名称	成果種類の 設定記号	サブフォル ダ区分
その他の応用測 量 <OT*>	その他の応用測 量	主題図データファイル	**	DATA
		品質評価表	**	DATA
		メタデータ	**	DATA
		XML スキーマ	SCHM	DATA
		コードリスト	CODE	DATA
その他データ <OOT>	その他データ	その他の資料	J*	OTHR

(注 1) **は、表 5-2のファイル名の設定記号に準拠して決定する。
J*は、J1,J2,...,J*のように、ファイルごとに連番を割り当てる。

5-3 ドキュメントファイル

ドキュメントファイルの名称は、表 5-10による。

表 5-10 ファイル命名規則(ドキュメントファイル)

成果品の名称	ファイル形式	ファイル名称	備考
製品仕様書	PDF	SPECPnnn.PDF	受発注者間協議により、オリジナル形式も可。
特記仕様書	PDF	SPECSnnn.PDF	受発注者間協議により、オリジナル形式も可。
協議書	PDF	MEETSnnn.PDF	
実施報告書	オリジナル	SUVRPnnn.XXX	実施報告、現場写真、案内図等

ファイル名称の「nnn」部分には、同一成果のファイル内で割振った連番(001～999, A00～A99, B00～B99,..., Z00～Z99)を付与する。オリジナルファイルの拡張子は4文字でもよい。

例：協議書が10ファイルある場合

MEETS001.PDF, MEETS002.PDF, MEETS003.PDF,...MEETS010.PDF

6 検符等及び第三者機関検定

6-1 検符及び押印

電子納品する測量成果等については、当面の間は検符及び押印を要さないものとする。

【解説】

国土交通省公共測量作業規程では、受注者が作業工程の中で観測値、計算結果等の確認に必要な点検を行うこと、更に精度管理表等で確認者の押印をする様式が定められている。これまで紙媒体で納品されてきた測量成果等では、当該の測量成果等上に直接、検符や押印がなされ点検作業の証拠とされてきた。

この紙媒体の測量成果等に直接検符、押印を行う方法を電子的に置き換えるものとしては電子的な検符や電子署名の方法があるが、未だ十分には確立した技術になっていない状況である。

このため、当面の間、電子納品する測量成果等については検符及び押印を要さないものとして、別途、検符及び押印した測量成果等を受発注者間の協議により紙で納品する。

すなわち、受注者での点検作業は、電子納品を行う測量成果等から点検用に紙出力を行い、この上で点検を行い、検符及び押印を行うものとする。この際、電子納品を行う測量成果等との原本性を保証するものでなければならない。検符及び押印した証拠書類を、別途、電子ファイルで納品する場合は、受発注者間協議により納品方法を決定する。

6-2 第三者機関検定

電子納品する測量成果等を第三者機関が検定する場合は、第三者機関は、受注者から提出される測量成果等のデータファイルから点検用に紙出力を行い、本出力とデータファイルで必要な検査を行う。受注者は、第三者機関から発行される検定証明書等のファイルを電子媒体に格納し、納品する。

【解説】

国土交通省公共測量作業規程では、作業機関は、基盤地図情報に該当する測量成果等の高精度を要する測量成果又は利用度の高い測量成果で計画機関が指定するものについては、検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けなければならないとしている。

これまでは、納品する成果品に直接検符を打つことで点検した証拠としていたが、電子化した測量成果品には、点検した証拠である検符を直接打つことが出来ない。

電子納品する測量成果等を第三者機関が検定する場合には、測量成果等のデータファイルから点検用に紙出力を行い、これに直接検符を行うことによる点検及びデータファイルの点検を行う。

第三者機関は、受注者が提出する測量成果等のファイルの検定が終了した段階で、測量成果検定証明書等のファイルを発行し、受注者に引き渡す。

受注者は測量成果検定証明書等のファイルを格納した電子媒体を作成し、再度、第三者機関へ提出する。第三者機関は、電子媒体に格納されている成果品と検定を実施した成果品のファイルの同一性を確認した上で、紙面による測量成果検定証明書等を発行する。測量成果検定証明書等には、点検済み電子データの有効性を証明(作成途中の成果でないことの証明)するための資料としてファイル名とその保存された日時を明記した記録を添付する。

検符を付した点検用の出力紙は、受発注者間協議により保存期間を設定して受注者が保管する。

第三者機関検定を行う場合、6-1に示す受注者が自社内で行った点検作業の証拠書類の納品については、一定期間を定めて受注者側で保管する等、受発注者間で協議する。

7 電子媒体

7-1 使用媒体

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、以下の各項目に従うものとする。

- 納品された電子データの原本性を確保するため、格納データの書き換えが不可能な CD-R または DVD-R を使用する。
- CD-R のフォーマットは、Joliet とする。
- DVD-R にデータを記録する（パソコンを使って記録する）際のファイルシステムの論理フォーマットは、UDF（UDF Bridge）とする。
- 基本的には、1 枚の電子媒体に格納し納品する。
- 複数枚の電子媒体に格納する場合には、「7-4 成果品が複数枚に渡る場合の処置」に従う。
- 電子媒体は、品質の信頼性が高いと思われるメーカーの「インクジェット用白色レーベル」又は「白色レーベル」を使用する。（原産国が日本のものを推奨。）

【解説】

(1) CD-R または DVD-R の使用

岐阜県建設 CALS/EC 対象工事においては、納品された電子データの原本性を確保するため、納品用の媒体には、格納データの書き換えが不可能な CD-R または DVD-R を使用する。

(2) 品質の信頼性が高い製品の使用

納品された電子媒体は、継続的に安定した読み取り性能が求められる。しかしながら、電子媒体の規格については明確な基準がなく、ノーブランドのバルク品の品質について不確定な部分もあるため、岐阜県の電子納品に使用する電子媒体は、品質の信頼性が高いと思われるメーカー（出来れば日本製）の製品を選択するものとする。

7-2 電子媒体の表記規則

電子媒体には、「調査設計業務等の電子納品要領」で定められている「設計書コード」、「業務名称」、「作成年月」、「発注者名」、「受注者名」、「何枚目/全体枚数」、「ウイルスチェックに関する情報」、「フォーマット形式」、「発注者署名欄」、「受注者署名欄」に加えて、測量成果の電子納品においては「助言番号(承認番号)」を明記する。

【解説】

電子媒体のラベルは、必要項目を表面に直接印刷するか手書により作成する。手書きの場合は、油性フェルトペンで表記し、表面に損傷を与えないよう注意する。

シールによっては温湿度の変化で伸縮し、電子媒体に損傷を与えることがあるため、シールは使用しない。

助言番号がない場合は「99999999(8桁)」を記入する。

設計書コードは、発注者から指示される案件番号(17桁)を記入する。

業務名称には、業務の内容を分かりやすくするために、括弧書きで路線名あるいは河川名を併記する。また、実施内容を分かりやすくするための情報を記入しても良い。

発注者署名欄、受注者署名欄は、受発注者双方が油性フェルトペンに記述する。

「ウイルスチェックに関する情報」は、使用した「ウイルス対策ソフト名」「ウイルス定義年月日」もしくは「パターンファイル名」、「チェック年月日」を明記する。ウイルス対策の詳細は「調査設計業務等の電子納品要領 8-1 ウイルス対策」に示す。

設計書コード : 10032004123456789
助言番号 : 99999999

第 平成 年度 枚数 / 全体枚数
号 測量業務委託
(線)
平成 年 月

発注者署名欄

受注者署名

発注者名 : 岐阜県 土木事務所
受注者名 : 株式会社

ウイルスチェックに関する情報
ウイルス対策ソフト名 :
ウイルス定義 : 年 月 日版
チェック年月日 : 年 月 日
フォーマット形式 : Joliet

図 7-1 電子媒体への表記例

7-3 電子データのバックアップ

業務完了後、受注者は、納品した電子データのバックアップについて、以下の通り行うものとする。なお、本項目については、当面の暫定運用とする。

- ・ バックアップ方式は、MO、DVD、およびハードディスク等の納品した媒体以外でのメディアあるいは紙出力によるものとする。
- ・ 保管期間については、受発注者協議による。

【解説】

(1) 電子データのバックアップ

岐阜県では、ペーパーレス化推進のために、建設工事共通仕様書や電子納品要領等の改訂を行いつつ、納品物の完全な電子データ化を拡大していく方針である。

納品された電子媒体は、継続的に安定した読み取りが可能であることが求められる一方で、耐用年数について現時点では不確定な要素も多い。また、電子媒体への焼きこみ不足、メディアの不良によって、電子媒体内のデータの読み出しができない場合が見られた。このため、暫定期間を設けて受注者側でのバックアップを行うものとする。

なお、バックアップの際には、ファイル圧縮ソフトでデータファイル容量を小さくすることにより、必要な媒体数やディスク容量を減らすことが可能である。

7-4 成果品が複数枚に渡る場合の処置

- ・ 成果品は、原則 1 枚の電子媒体に格納する。
- ・ データが容量的に 1 枚の電子媒体に納まらず複数枚になる場合は、同一の業務管理ファイル(INDEX_D.XML)を各電子媒体のルート直下に格納する。ただし、基礎情報の「メディア番号」には該当する番号を記入する。
- ・ 各フォルダにおいても同様に、同一の管理ファイルを各電子媒体に格納する。
- ・ 何枚目の媒体であっても媒体内のルートからのフォルダ構成は変えない。また、異なる媒体であっても、ファイル名の重複がないようにする。

【解説】

- ・ 成果品を複数枚の媒体に分けて格納する場合の例を下図に示す。

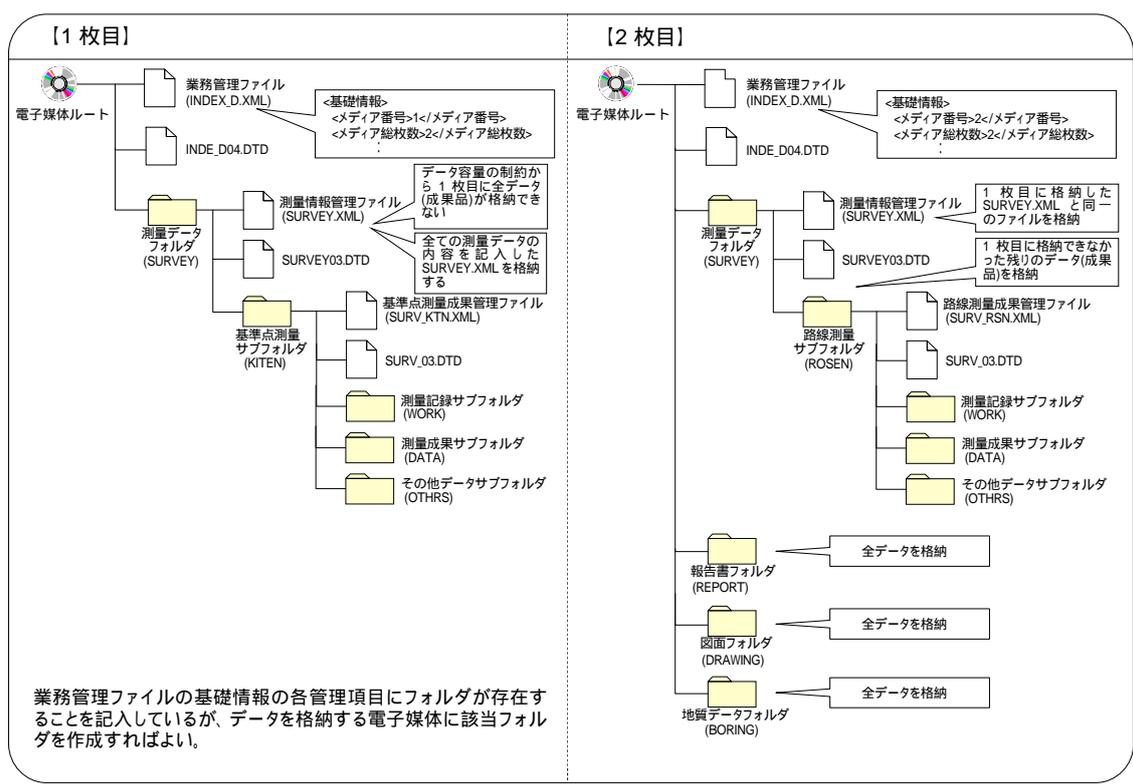
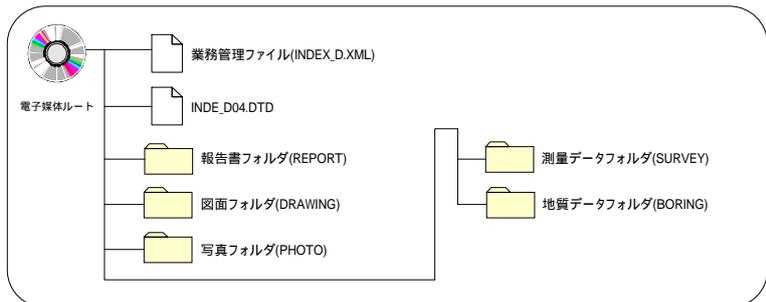


図 7-2 成果品の複数枚の電子媒体への格納例

8 その他留意事項

8-1 ウイルス対策

- 受注者は、納品すべき成果品が完成した時点で、ウイルスチェックを行う。
- ウイルス対策ソフトは特に指定はしないが、信頼性の高いものを利用する。
- 最新のウイルスも検出できるように、ウイルス対策ソフトは常に最新のデータに更新(アップデート)したものを利用する。
- 電子媒体の表面には、「使用したウイルス対策ソフト名」、「ウイルス(パターンファイル)定義年月日またはパターンファイル名」、「チェック年月日(西暦表示)」を明記する。

8-2 使用文字

- 本規定は、管理ファイル(XML 文書)を対象とする。
- 半角文字を JIS X 0201 で規定されている文字から片仮名用図形文字を除いたラテン文字用図形文字のみとする。
- 全角文字を JIS X 0208 で規定されている文字から数字とラテン文字を除いた文字のみとする。

【解説】

(1) 文字の定義

本要領で用いている文字に関わる用語を次のように定義する。

1) 全角文字

JIS X 0208 で規定されている文字から数字とラテン文字を除いた文字を全角文字という。

2) 半角英数字

JIS X 0201 で規定されている文字から片仮名用図形文字を除いた文字を半角英数字という。

3) 半角英数大文字

「半角英数字」からラテン小文字(LATIN SMALL LETTER A ~ Z)を除いた文字を半角英数大文字という。

4) 半角数字

JIS X 0201 で規定されている文字のうちの数字(DIGIT ZERO ~ NINE)及び小数点(.)を半角数字という。

(2) 留意事項

長期的な見読性を確保するため、使用できる文字を必要最小限に規定している。もともと OS に備わっておらず、利用者が独自に作成した外字は、他の端末では表示できないので使用を認めない。地名や人名などの表現で特殊な文字が必要な時(利用者が作成した外字や機種依存文字の使用が必要な場合等)は、平仮名もしくは片仮名などの標準化された全角文字で表現する。

8-3 電子化が困難な資料の取り扱い

電子化が困難な資料の取り扱いについては、受発注者間で事前に協議する。

【解説】

測量成果等のうち、電子化することにより本来の精度・品質を確保することが現状では困難と考えられる成果は、電子化が困難な資料として、電子納品の「対象外」とする。また、建標承諾書、測量標設置位置通知書など原本自体に意味があるものも電子納品の「対象外」とする。

8-4 測地系

本要領で扱う測地系は、世界測地系とする。

【解説】

測量法改正(平成 13 年 6 月 20 日)によって、平成 14 年 4 月 1 日から測量法に従って行われる公共測量は、新しい測地系(世界測地系)に準拠して行うこととなった。このため、平成 14 年度以降国土交通省の公共測量業務の電子納品に適用される本要領では、新しい測地系(世界測地系)に準拠した測量成果での納品を義務付けるものである。

付属資料1 管理ファイルの DTD

(1) 測量情報管理ファイルの DTD

測量情報管理ファイル (SURVEY.XML) の DTD (SURVEY03.DTD) は次による。

```
<!--SURVEY03.DTD / 2008/12-->
<!ELEMENT SURVEY (基礎情報+, 場所情報+, 測量情報+, 検定情報?, その他?, ソフトメーカ
用 TAG*)>
<!ATTLIST SURVEY DTD_version CDATA #FIXED "03">

<!-- ***** -->
<!--          基礎情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 基礎情報 (適用要領基準, 助言番号, 作業規程名, 製品仕様書+, 第三者機関成果
検定の有無, 基準点測量成果格納用フォルダ名?, 水準測量成果格納用フォルダ名?, 地形測
量及び写真測量成果格納用フォルダ名?, 路線測量成果格納用フォルダ名?, 河川測量成果格
納用フォルダ名?, 用地測量成果格納用フォルダ名?, その他の応用測量成果格納用フォルダ
名?, ドキュメント格納用フォルダ名?)>
<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 助言番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 作業規程名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 製品仕様書 (製品仕様書名, 製品仕様書ファイル名+)>
<!ELEMENT 製品仕様書名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 製品仕様書ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 第三者機関成果検定の有無 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 基準点測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 水準測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地形測量及び写真測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 路線測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 河川測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 用地測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他の応用測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ドキュメント格納用フォルダ名 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          場所情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 場所情報 (測量区域番号, 測量区域名?, 区域情報)>
<!ELEMENT 測量区域番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量区域名 (#PCDATA)>
<!-- ***** -->
<!--          区域情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 区域情報 (西側境界座標経度?, 東側境界座標経度?, 北側境界座標緯度?, 南側境
界座標緯度?, 平面直角座標系?, 西側境界平面直角座標?, 東側境界平面直角座標?, 北側境
界平面直角座標?, 南側境界平面直角座標?)>
<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 南側境界座標緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 平面直角座標系 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 西側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 東側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
```

```

<!ELEMENT 北側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 南側境界平面直角座標 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          測量情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 測量情報 (測量区分, 測量細区分, 測量記録フォルダパス名?, 測量成果フォルダ
パス名?, その他データフォルダパス名?, 測量区域 No, 等級精度, 画像種別?, 解像度?, 新
規修正区分?, 面積?, 距離?, 点数?, モデル数?)>
<!ELEMENT 測量区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量細区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量記録フォルダパス名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果フォルダパス名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他データフォルダパス名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量区域 No (#PCDATA)>
<!-- ***** -->
<!--          等級精度          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 等級精度 (等級?, 地図情報レベル?)>
<!ELEMENT 等級 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地図情報レベル (#PCDATA)>
<!ELEMENT 画像種別 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 解像度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 新規修正区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 面積 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 距離 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 点数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT モデル数 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          検定情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 検定情報 (測量成果検定証明書等のファイル名*)>
<!ELEMENT 測量成果検定証明書等のファイル名 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          その他          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>
<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>

```


(2) 測量成果管理ファイルの DTD

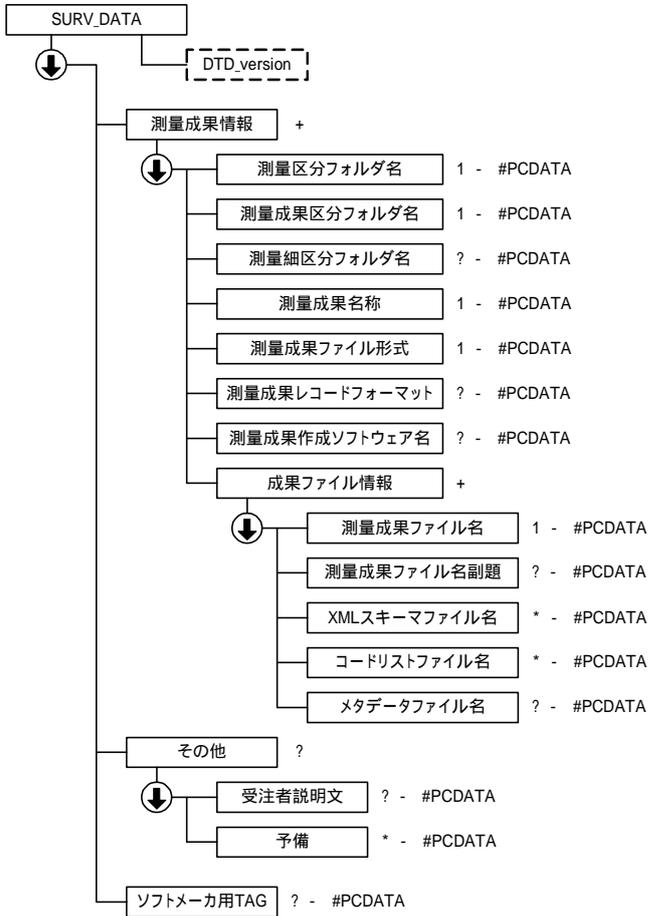
測量成果管理ファイル(基準点測量: SURV_KTN.XML、水準測量: SURV_SJN.XML、地形測量及び写真測量: SURV_CHI.XML、路線測量: SURV_RSN.XML、河川測量: SURV_KSN.XML、用地測量: SURV_YCH.XML、その他の応用測量: SURV_OYO.XML)の DTD (SURV_D03.DTD) は次による。

```
<!-- SURV_D03.DTD / 2008/12-->
<!ELEMENT SURV_DATA (測量成果情報+, その他?, ソフトメーカ用 TAG*)>
<!ATTLIST SURV_DATA DTD_version CDATA #FIXED "03">

<!-- ***** -->
<!--          測量成果情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 測量成果情報 (測量区分フォルダ名, 測量成果区分フォルダ名, 測量細区分フォルダ名?, 測量成果名称, 測量成果ファイル形式, 測量成果レコードフォーマット?, 測量成果作成ソフトウェア名?, 成果ファイル情報+)>
<!ELEMENT 測量区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量細区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果ファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果レコードフォーマット (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!-- ***** -->
<!--          成果ファイル情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 成果ファイル情報 (測量成果ファイル名, 測量成果ファイル名副題?, XML スキーマファイル名*, コードリストファイル名*, メタデータファイル名?)>
<!ELEMENT 測量成果ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量成果ファイル名副題 (#PCDATA)>
<!ELEMENT XML スキーマファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT コードリストファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メタデータファイル名 (#PCDATA)>
<!-- ***** -->
<!--          その他          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>
<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用 TAG (#PCDATA)>
```

SURV_D03.DTDの構造図



↓ : 上から順に記述することを示す。
 1 : 必ず、1回記述する。
 ? : 記述は任意、記述する場合は1回に限る。
 + : 必ず、1回以上記述する。
 * : 記述は任意、複数の記述を認める。

(3) ドキュメント管理ファイルの DTD

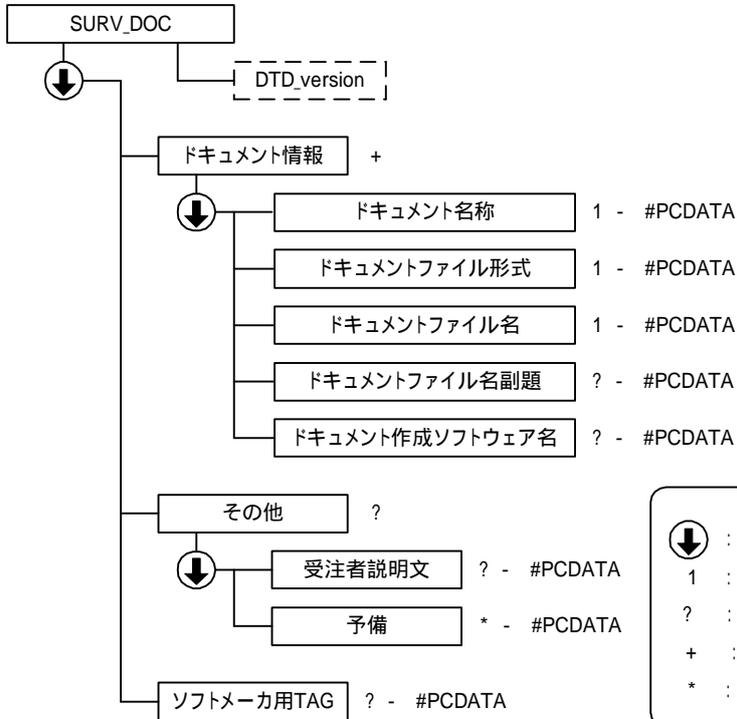
ドキュメント管理ファイル (SURV_DOC.XML) の DTD (SDOC_D01.DTD) は次による。

```

<!-- SDOC_D01.DTD / 2008/12-->
<!ELEMENT SURV_DOC (ドキュメント情報+, その他?, ソフトメーカー用 TAG*)>
<!ATTLIST SURV_DOC DTD_version CDATA #FIXED "01">
<!-- ***** -->
<!--          測量成果情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT ドキュメント情報 (ドキュメント名称, ドキュメントファイル形式, ドキュメント
ファイル名, ドキュメントファイル名副題?, ドキュメント作成ソフトウェア名?)>
<!ELEMENT ドキュメント名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ドキュメントファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ドキュメントファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ドキュメントファイル名副題 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ドキュメント作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!-- ***** -->
<!--          その他          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>
<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>

```

SDOC_D01.DTDの構造図



- ↓ : 上から順に記述することを示す。
 1 : 必ず、1回記述する。
 ? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
 + : 必ず、1回以上記述する。
 * : 記述は任意。複数の記述を認める。

付属資料2 管理ファイルのXML記入例

(1) 測量情報管理ファイルのXML記入例

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE SURVEY SYSTEM "SURVEY03.DTD">
<SURVEY DTD_version="03">

<基礎情報>
<適用要領基準>土木 201603-01</適用要領基準>
<助言番号>H20C0052</助言番号>
<作業規程名>国土交通省公共測量作業規程(平成20年国土交通省告示版)</作業規程名>
<製品仕様書>
<製品仕様書名>地図情報レベル2500データ作成の製品仕様書(案)</製品仕様書名>
<製品仕様書ファイル名>SPEC001.PDF</製品仕様書ファイル名>
</製品仕様書>
<製品仕様書>
<製品仕様書名>空間データ作成のための製品仕様書作成の手引き(案)</製品仕様書名>
<製品仕様書ファイル名> SPEC002.PDF </製品仕様書ファイル名>
</製品仕様書>
<第三者機関成果検定の有無>1</第三者機関成果検定の有無>
<基準点測量成果格納用フォルダ名>KITEN</基準点測量成果格納用フォルダ名>
<水準測量成果格納用フォルダ名>SUIJUN</水準測量成果格納用フォルダ名>
<地形測量及び写真測量成果格納用フォルダ名>CHIKEI</地形測量及び写真測量成果格納用フォルダ名>
<路線測量成果格納用フォルダ名>ROSEN</路線測量成果格納用フォルダ名>
<河川測量成果格納用フォルダ名>KASEN</河川測量成果格納用フォルダ名>
<用地測量成果格納用フォルダ名>YOUCHI</用地測量成果格納用フォルダ名>
<その他の応用測量成果格納用フォルダ名>OHRISOYO</その他の応用測量成果格納用フォルダ名>
<ドキュメント格納用フォルダ名>DOC</ドキュメント格納用フォルダ名>
</基礎情報>

<場所情報>
<測量区域番号>1</測量区域番号>
<測量区域名> 地区</測量区域名>
<区域情報>
<平面直角座標系>9</平面直角座標系>
<西側境界平面直角座標>-60000.00</西側境界平面直角座標>
<東側境界平面直角座標>-40000.00</東側境界平面直角座標>
<北側境界平面直角座標>-28500.00</北側境界平面直角座標>
<南側境界平面直角座標>-39000.00</南側境界平面直角座標>
</区域情報>
</場所情報>

<場所情報>
<測量区域番号>2</測量区域番号>
<測量区域名> 地区</測量区域名>
<区域情報>
<平面直角座標系>9</平面直角座標系>
<西側境界平面直角座標>-40000.00</西側境界平面直角座標>
<東側境界平面直角座標>-20000.00</東側境界平面直角座標>
<北側境界平面直角座標>-28500.00</北側境界平面直角座標>
<南側境界平面直角座標>-39000.00</南側境界平面直角座標>
</区域情報>

```

</場所情報>

<測量情報>

<測量区分>基準点測量</測量区分>

<測量細区分>基準点測量 A</測量細区分>

<測量記録フォルダパス名>SURVEY/KITEN/WORK/KTN_A</測量記録フォルダパス名>

<測量成果フォルダパス名>SURVEY/KITEN/DATA/KTN_A</測量成果フォルダパス名>

<その他データフォルダパス名>SURVEY/KITEN/OTHR</その他データフォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

<等級精度>

<等級>22</等級>

<地図情報レベル></地図情報レベル>

</等級精度>

<画像種別></画像種別>

<解像度></解像度>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<面積>25.0</面積>

<距離></距離>

<点数>12</点数>

<モデル数></モデル数>

</測量情報>

<測量情報>

<測量区分>基準点測量</測量区分>

<測量細区分>基準点測量 B</測量細区分>

<測量記録フォルダパス名>SURVEY/KITEN/WORK/KTN_B</測量記録フォルダパス名>

<測量成果フォルダパス名>SURVEY/KITEN/DATA/KTN_B</測量成果フォルダパス名>

<その他データフォルダパス名>SURVEY/KITEN/OTHR</その他データフォルダパス名>

<測量区域 No>2</測量区域 No>

<等級精度>

<等級>23</等級>

<地図情報レベル></地図情報レベル>

</等級精度>

<画像種別></画像種別>

<解像度></解像度>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<面積>50.3</面積>

<距離></距離>

<点数>24</点数>

<モデル数></モデル数>

</測量情報>

<測量情報>

<測量区分>水準測量</測量区分>

<測量細区分>水準測量</測量細区分>

<測量記録フォルダパス名>SURVEY/SUIJUN/WORK/SJN_A</測量記録フォルダパス名>

<測量成果フォルダパス名>SURVEY/SUIJUN/DATA/SJN_A</測量成果フォルダパス名>

<その他データフォルダパス名>SURVEY/SUIJUN/OTHR</その他データフォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

<等級精度>

<等級>22</等級>

<地図情報レベル></地図情報レベル>

</等級精度>

<画像種別></画像種別>

<解像度></解像度>

<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>25.0</面積>
<距離></距離>
<点数></点数>
<モデル数></モデル数>
</測量情報>

<測量情報>
<測量区分>地形測量及び写真測量</測量区分>
<測量細区分>撮影</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/CHIKAI/WORK/SATU_A</測量記録フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/CHIKAI/OTHR</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>2</測量区域 No>
<等級精度>
<等級></等級>
<地図情報レベル>2500</地図情報レベル>
</等級精度>
<画像種別>1</画像種別>
<解像度></解像度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>50.3</面積>
<距離></距離>
<点数></点数>
<モデル数></モデル数>
</測量情報>

<測量情報>
<測量区分>地形測量及び写真測量</測量区分>
<測量細区分>空中三角測量</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/CHIKAI/WORK/KUSAN_A</測量記録フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/CHIKAI/OTHR</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>2</測量区域 No>
<等級精度>
<等級></等級>
<地図情報レベル>2500</地図情報レベル>
</等級精度>
<画像種別>1</画像種別>
<解像度></解像度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>50.3</面積>
<距離></距離>
<点数></点数>
<モデル数>3</モデル数>
</測量情報>

<測量情報>
<測量区分>地形測量及び写真測量</測量区分>
<測量細区分>数値図化</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/CHIKAI/WORK/ZUKA_A</測量記録フォルダパス名>
<測量成果フォルダパス名>SURVEY/CHIKAI/DATA</測量成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/CHIKAI/OTHR</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>2</測量区域 No>
<等級精度>
<等級></等級>
<地図情報レベル>2500</地図情報レベル>

```
</等級精度>
<画像種別>1</画像種別>
<解像度></解像度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>50.3</面積>
<距離></距離>
<点数></点数>
<モデル数></モデル数>
</測量情報>

<測量情報>
<測量区分>地形測量及び写真測量</測量区分>
<測量細区分>地図編集</測量細区分>
<測量記録フォルダパス名>SURVEY/CHIKEI/WORK/ZUHEN_A</測量記録フォルダパス名>
<測量成果フォルダパス名>SURVEY/CHIKEI/DATA</測量成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/CHIKEI/OTHR</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>2</測量区域 No>
<等級精度>
<等級></等級>
<地図情報レベル>2500</地図情報レベル>
</等級精度>
<画像種別>1</画像種別>
<解像度></解像度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>50.3</面積>
<距離></距離>
<点数></点数>
<モデル数></モデル数>
</測量情報>

<検定情報>
<測量成果検定証明書等のファイル名>SURVEY/KITEN/OTHR/KOTJ2001.PDF</測量成果検定証明書等のファイル名>
<測量成果検定証明書等のファイル名>SURVEY/KITEN/OTHR/KOTJ2002.PDF</測量成果検定証明書等のファイル名>
<測量成果検定証明書等のファイル名>SURVEY/SUIJUN/OTHR/SOTJ2001.PDF</測量成果検定証明書等のファイル名>
<測量成果検定証明書等のファイル名>SURVEY/CHIKEI/OTHR/ZOTJ2001.PDF</測量成果検定証明書等のファイル名>
</検定情報>

<その他>
<受注者説明文></受注者説明文>
<予備></予備>
</その他>

<ソフトメーカー用 TAG></ソフトメーカー用 TAG>

</SURVEY>
```

(2) 測量成果管理ファイルのXML記入例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE SURV_DATA SYSTEM "SURV_D03.DTD">
<SURV_DATA DTD_version="03">
```

```
<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>WORK</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>観測手簿</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</測量成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAD1001.PDF</測量成果ファイル名>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>
```

```
<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>WORK</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>観測手簿(数値データ)</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>TXT</測量成果ファイル形式>
<測量成果レコードフォーマット>カンマ区切りのTXT形式</測量成果レコードフォーマット>
<測量成果作成ソフトウェア名>Microsoft ワードパット 5.1</測量成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAD2001.TXT</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>観測手簿数値データ</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>
```

```
<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>WORK</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>観測記簿</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</測量成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAD3001.PDF</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>観測記簿</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>
```

```
<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>WORK</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>精度管理表</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</測量成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAG1001.PDF</測量成果ファイル名>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>
```

<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>DATA</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>成果表</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</測量成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA1001.PDF</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>1 級基準点 No.201.PDF</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA1002.PDF</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>1 級基準点 No.202.PDF </測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA1003.PDF</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>1 級基準点 No.203.PDF </測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA1004.PDF</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>1 級基準点 No.204.PDF </測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>

<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>DATA</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>成果表数値データ</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>XML</測量成果ファイル形式>
<測量成果レコードフォーマット>JPGIS 準拠形式</測量成果レコードフォーマット>
<測量成果作成ソフトウェア名> 測量計算ソフト 1.0</測量成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA2001.XML</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>1 級基準点成果表数値データ.XML </測量成果ファイル名副題>
<XML スキーマファイル名>SCHM001.XSD</XML スキーマファイル名>
<コードリストファイル名>CODE001.XML</コードリストファイル名>
<コードリストファイル名>CODE002.XML</コードリストファイル名>
<メタデータファイル名>KJAA4001.XML</メタデータファイル名>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>

<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>DATA</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>品質評価表</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</測量成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA3001.PDF</測量成果ファイル名>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>

<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>DATA</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>メタデータ</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>XML</測量成果ファイル形式>
<測量成果レコードフォーマット>JMP2.0 形式</測量成果レコードフォーマット>
<測量成果作成ソフトウェア名>メタデータエディター1.0</測量成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KJAA4001.XML</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>KS-META-N02-07.XML</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>

<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>DATA</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>XML スキーマ</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>XSD</測量成果ファイル形式>
<測量成果レコードフォーマット>XSD 形式</測量成果レコードフォーマット>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>SCHM001.XSD</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>KsjAppSchema-N02-v1_1.xsd</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>

<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>DATA</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名>KTN_A</測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>コードリスト</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>JPGIS 準拠</測量成果ファイル形式>
<測量成果レコードフォーマット>XML 形式</測量成果レコードフォーマット>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>CODE001.XML</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>InstitutionTypeCd.xml</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>CODE002.XML</測量成果ファイル名>
<測量成果ファイル名副題>RailwayClassCd.xml</測量成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>

<測量成果情報>
<測量区分フォルダ名>KITEN</測量区分フォルダ名>
<測量成果区分フォルダ名>OTHERS</測量成果区分フォルダ名>
<測量細区分フォルダ名> </測量細区分フォルダ名>
<測量成果名称>測量成果検定証明書等</測量成果名称>
<測量成果ファイル形式>PDF</測量成果ファイル形式>
<測量成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</測量成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KOTJ2001.PDF</測量成果ファイル名>
</成果ファイル情報>

<成果ファイル情報>
<測量成果ファイル名>KOTJ2002.PDF</測量成果ファイル名>
</成果ファイル情報>
</測量成果情報>

<その他>
<受注者説明文></受注者説明文>
<予備></予備>
</その他>

<ソフトメーカー用 TAG></ソフトメーカー用 TAG>

</SURV_DATA>

(3) ドキュメント管理ファイルの XML 記入例

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE SURV_DOC SYSTEM "SDOC_D01.DTD">
<SURV_DOC DTD_version="01">
<ドキュメント情報>
<ドキュメント名称>地図情報レベル 2500 データ作成の製品仕様書(案)</ドキュメント名称>
<ドキュメントファイル形式>PDF</ドキュメントファイル形式>
<ドキュメントファイル名>SPEC001.PDF</ドキュメントファイル名>
<ドキュメントファイル名副題></ドキュメントファイル名副題>
<ドキュメント作成ソフトウェア名></ドキュメント作成ソフトウェア名>
</ドキュメント情報>

<ドキュメント情報>
<ドキュメント名称>空間データ作成のための製品仕様書作成の手引き(案)</ドキュメント名称>
<ドキュメントファイル形式>PDF</ドキュメントファイル形式>
<ドキュメントファイル名>SPEC002.PDF</ドキュメントファイル名>
<ドキュメントファイル名副題></ドキュメントファイル名副題>
<ドキュメント作成ソフトウェア名></ドキュメント作成ソフトウェア名>
</ドキュメント情報>

<ドキュメント情報>
<ドキュメント名称>協議書 2008-02-29</ドキュメント名称>
<ドキュメントファイル形式>PDF</ドキュメントファイル形式>
<ドキュメントファイル名>MEETS001.PDF</ドキュメントファイル名>
<ドキュメントファイル名副題>協議書 2008-02-29.PDF</ドキュメントファイル名副題>
<ドキュメント作成ソフトウェア名> ADOBE ACROBAT 5.0</ドキュメント作成ソフトウェア名>
</ドキュメント情報>

<ドキュメント情報>
<ドキュメント名称>協議書 2008-03-12</ドキュメント名称>
<ドキュメントファイル形式>PDF</ドキュメントファイル形式>
<ドキュメントファイル名>MEETS002.PDF</ドキュメントファイル名>
<ドキュメントファイル名副題>協議書 2008-03-12.PDF</ドキュメントファイル名副題>
<ドキュメント作成ソフトウェア名> ADOBE ACROBAT 5.0</ドキュメント作成ソフトウェア名>
</ドキュメント情報>

<ドキュメント情報>
<ドキュメント名称>実施報告書</ドキュメント名称>
<ドキュメントファイル形式>DOC</ドキュメントファイル形式>
<ドキュメントファイル名>SUVRP001.DOC</ドキュメントファイル名>
<ドキュメントファイル名副題>実施報告書 001.DOC</ドキュメントファイル名副題>
<ドキュメント作成ソフトウェア名>Microsoft Word 2002</ドキュメント作成ソフトウェア名>
</ドキュメント情報>

<その他>
<受注者説明文/>
<予備/>
</その他>
<ソフトメーカー用 TAG/>
</SURV_DOC>

```

付属資料3 成果表数値フォーマット

1. 基準点測量成果表数値フォーマット

(1) 基本構造

- 1) 成果表出力フォーマットは、1行1レコードのカンマ区切りのテキストファイルとする。
- 2) 文字コードはASCIIコード、漢字コードはシフトJISコードとする。
- 3) 成果表出力フォーマットのファイルは、拡張子を“TXT”とする。
- 4) レコードの記述方法

デ - タ区分	区切り	項目 1	区切り	...	項目 n	区切り	CRLF
---------	-----	------	-----	-----	------	-----	------

データ区分

- ・その行のデータの種類を表す記号。この情報は省略できない。
- ・1文字目が英字、2,3文字目が数字の3文字とする。

区切り

- ・各データの項目は、“,”(カンマ)によって区切るものとする。
- ・項目を省略する場合は、“,”とする。(スペースは入れない。)

項目 1 ~ 項目 n

- ・データ区分に応じて項目数は変わり、次ページ以降の記載通りとする。

CRLF

- ・各行の終了コード(0D0Ah)で、各行の最大長は、CRLFを含まず、128バイトとする。

留意事項

- 1) 名称・コメントなど、文字として認識するデータには、“,”(カンマ)を使用しない。
- 2) 点名称、測器名称、標尺名称、水準点番号などの名称、コメントは全角文字(英数字については半角文字)とし、それ以外のデータは、半角文字とする。

(2) 基準点測量成果表フォーマット

- 1) コメントデータ(コメントを示すデ - タ)

Z00 , コメント , フォーマット識別子 , バージョン , CRLF

Z00	コメントを示すデ - タ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可
フォーマット 識別子	本フォーマットの種類を記載する。識別子の表記は下記のとおり。(整数1桁) 1: 基準点測量成果フォーマット 2: 簡易網基準点測量成果フォーマット 3: 水準成果表フォーマット 4: 水準測量観測成果表フォーマット	省略不可
バージョン	本フォーマットのバージョンを記述する。バージョン表記はマイナーチェンジを考慮して小数点形式とし、整数2桁、小数点以下2桁の5桁表記とする。(02.00に固定)	省略不可

2) タイトルデータ (業務のタイトル名を示すデ - タ)

Z01 , タイトル , CRLF

Z01	タイトルを示すデ - タ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略可

3) 測地系データ (測地系を示すデ - タ)

Z02 , 測地系 , 座標系 , CRLF

Z02	測地系を示すデ - タ区分。	省略不可
測地系	0 : 世界測地系、1 : 日本測地系 (0 : 世界測地系に固定)	省略不可
座標系	平面直角座標系	省略可

4) 座標出力開始データ (座標デ - タの出力開始を示すデ - タ)

A00 , CRLF

A00	座標デ - タの出力開始を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	-------------------------	------

5) 座標データ (点の座標を示すデ - タ)

A01 , 点番号 , 点名称 , 緯度 , 経度 , X座標 , Y座標 , 座標系 , 標高 , ジオイド高 , CRLF

A01	座標デ - タを示すデ - タ区分。	省略不可
点番号	5桁以内の整数とする。	省略不可
点名称	40バイト以下	省略不可
緯度 , 経度	緯度は、小数点形式 (DD° . MM SS SSSS) とし、秒以下4桁までとする。 経度は、小数点形式 (DDD° . MM SS SSSS) とし、秒以下4桁までとする。 X, Y座標の記載がある場合は省略可。	省略可
X, Y	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。 緯度、経度の記載がある場合は省略可。	省略可
座標系	平面直角座標系 (X, Y座標の記載がある場合は省略不可。)	省略可
標高	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。 水平網のみの場合省略可。	省略可
ジオイド高	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。	省略可

6) 属性データ (点の属性を示すデ - タ)

A02 , 等級 , 縮尺係数 , 真北方向角 , 柱石長 , 埋標形式 , 標識 , 標識番号 , アンテナ高 , CRLF

A02	属性データを示すデ - タ区分。	省略不可
等級	2桁の整数とする。 10 : 電子基準点 11 ~ 14 : 1等 ~ 4等 21 ~ 24 : 1級 ~ 4級	省略不可
縮尺係数	小数点形式、小数点以下6桁まで記載する。	省略不可
真北方向角	小数点形式 (DD° . MM SS S) とし、秒以下1桁までとする。	省略不可
柱石長	小数点形式、m単位とし、m以下2桁まで記載する。	省略可
埋標形式	0 : 地上、1 : 地中、2 : 屋上	省略不可
標識	0 : 標石、1 : 金属標 2 : その他	省略不可

標識番号	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。1,2 級の場合は省略不可。	省略可
アンテナ高	等級 10：電子基準点の時省略不可。	省略可

7) 視準データ (視準成果の方向数を示すデータ)

A03 , 方向数 , CRLF

A03	視準成果データを示すデータ区分。	省略不可
方向数	2 桁以内の整数とする。	省略不可

視準成果が無い (方向数=0) 場合は、A04 レコードを省略可。

8) 視準データ (点の視準成果を示すデータ)

A04 , 点番号 , 点名称 , 等級 , 平均方向角 , 距離 , 備考 , 観測日 , CRLF

A04	視準成果データを示すデータ区分。	省略不可
点番号	5 桁以内の整数とする。	省略不可
点名称	40 バイト以下	省略不可
等級	2 桁の整数とする。 10：電子基準点 11～14：1 等～4 等 21～24：1 級～4 級	省略不可
平均方向角	平均方向角は、小数点形式 (DD° . MM SS S) とし、秒以下 1 桁までとする。	省略不可
距離	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁まで記載する。	省略不可
備考	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略可
観測日	形式 (YYYYMMDD：年月日)：GPS 測量時省略不可。 観測が複数日にわたる場合は、観測初日を記載する。	省略可

9) 座標出力終了データ (座標データの出力終了を示すデータ)

A99 , CRLF

A99	座標データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

出力例 1

Z00,SEIKA,1,02.00,
Z01,平成 13 年度 1 級基準点測量 (範例集データ),
Z02,0,9,
A00,
A01,1,広尾,36.02416679,140.09147463,5029.510,28898.460,9,37.150,33.570,
A02,13,0.999910,-0.11195,0.79,0,0,1,,
A03,1,
A04,4,1,21,192.13210,747.348,,
A99,

出力例 2

Z00,SEIKA,1,02.00,
Z01,平成 13 年度 1 級基準点測量 (範例集データ),
Z02,0,9,
A00,

A01,4,1,36.02179849,140.09083291,4299.168,28740.254,9,23.180,34.751,
A02,21,0.999910,-0.11156,0.60,0,1,1,,
A03,2,
A04,1,広尾,13,12.13211,747.348,,,
A04,5,2,21,183.59117,1329.395,,,
A01,5,2,36.01349635,140.09044637,2973.109,28647.839,9,33.946,42.766,
A02,21,0.999910,-0.11131,0.09,2,1,2,,
A03,3,
A04,4,1,21,3.59119,1329.395,,,
A04,2,浅川,13,85.14023,1091.503,,,
A04,3,上野山,13,262.39258,987.435,,,
A99,

(3) 簡易網基準点測量成果表フォーマット

1) コメントデータ(コメントを示すデータ)

Z00 , コメント , フォーマット識別子 , バージョン , CRLF

Z00	コメントを示すデータ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可
フォーマット 識別子	本フォーマットの種類を記載する。識別子の表記は下記のとおり。(整数1桁) 1: 基準点測量成果フォーマット 2: 簡易網基準点測量成果フォーマット 3: 水準成果表フォーマット 4: 水準測量観測成果表フォーマット	省略不可
バージョン	本フォーマットのバージョンを記述する。バージョン表記はマイナーチェンジを考慮して小数点形式とし、整数2桁、小数点以下2桁の5桁表記とする。(02.00に固定)	省略不可

2) タイトルデータ(業務のタイトル名を示すデータ)

Z01 , タイトル , CRLF

Z01	タイトルを示すデータ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略可

3) 測地系データ(測地系を示すデータ)

Z02 , 測地系 , 座標系 , CRLF

Z02	測地系を示すデータ区分。	省略不可
測地系	0: 世界測地系、1: 日本測地系 (0: 世界測地系に固定)	省略不可
座標系	平面直角座標系	省略可

4) 座標出力開始データ(座標データの出力開始を示すデータ)

A00 , CRLF

A00	座標データの出力開始を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

5) 座標データ (点の座標を示すデ - タ)

A01 , 点番号 , 点名称 , 緯度 , 経度 , X座標 , Y座標 , 座標系 , 標高 , ジオイド高 , CRLF

A01	座標デ - タを示すデ - タ区分。	省略不可
点番号	5桁以内の整数とする。	省略不可
点名称	40バイト以下	省略不可
緯度 , 経度	緯度は、小数点形式 (DD° . MM SS SSSS) とし、秒以下4桁までとする。 経度は、小数点形式 (DDD° . MM SS SSSS) とし、秒以下4桁までとする。 X, Y座標の記載がある場合は省略可。	省略可
X, Y	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。 緯度、経度の記載がある場合は省略可。	省略不可
座標系	平面直角座標系	省略不可
標高	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。 水平網のみの場合省略可。	省略可
ジオイド高	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。	省略可

6) 属性データ (点の属性を示すデ - タ)

A02 , 等級 , 縮尺係数 , 真北方向角 , 柱石長 , 埋標形式 , 標識 , 標識番号 , アンテナ高 , CRLF

A02	属性データを示すデ - タ区分。	省略不可
等級	2桁の整数とする。 10 : 電子基準点 11 ~ 14 : 1等 ~ 4等 21 ~ 24 : 1級 ~ 4級	省略不可
縮尺係数	小数点形式、小数点以下6桁まで記載する。	省略可
真北方向角	小数点形式 (DD° . MM SS S) とし、秒以下1桁までとする。	省略可
柱石長	小数点形式、m単位とし、m以下2桁まで記載する。	省略可
埋標形式	0 : 地上、1 : 地中、2 : 屋上	省略可
標識	0 : 標石、1 : 金属標 2 : その他	省略可
標識番号	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略可
アンテナ高	等級10 : 電子基準点の時省略不可。	省略可

7) 視準データ (視準成果の方向数を示すデ - タ)

A03 , 方向数 , CRLF

A03	視準成果データを示すデ - タ区分。	省略不可
方向数	2桁以内の整数とする。(方向が無い場合は0を入れる。)	省略不可

視準成果が無い (方向数=0) 場合は、A04レコードを省略可。

8) 視準データ (点の視準成果を示すデ - タ)

A04 , 点番号 , 点名称 , 等級 , 平均方向角 , 距離 , 備考 , 観測日 , CRLF

A04	視準成果データを示すデ - タ区分。	省略不可
点番号	5桁以内の整数とする。	省略可
点名称	40バイト以下	省略可
等級	2桁の整数とする。	省略可

	10：電子基準点 11～14：1等～4等 21～24：1級～4級	
平均方向角	平均方向角は、小数点形式（DD° . MM SS S）とし、秒以下1桁までとする。	省略可
距離	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。	省略可
備考	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略可
観測日	形式（YYYYMMDD：年月日） 観測が複数日にわたる場合は、観測初日を記載する。	省略可

9) 座標出力終了データ（座標デ - タの出力終了を示すデ - タ）

A99 , CRLF

A99	座標デ - タの出力終了を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	-------------------------	------

出力例 1

Z00,SEIKA,2,02.00,
 Z01,平成15年度3級基準点新点設置業務,
 Z02,1,9,
 A00,
 A01,1,301,,,-58831.120,29318.870,9,132.230,41.662,
 A02,22,,,,0,1,H15-20-1,,
 A03,2,
 A04,2,305,22,15.31211,423.068,,,
 A04,3,1,23,169.53258,159.276,,,
 A01,3,1,,,-58987.909,29346.825,9,124.602,41.668,
 A02,23,,,,0,2,,,
 A03,2,
 A04,4,2,23,181.36454,153.252,,,
 A04,1,301,22,349.53259,159.276,,,
 A01,4,2,,,-59141.086,29342.513,9,123.098,41.672,
 A02,23,,,,0,2,,,
 A03,3,
 A04,3,1,23,1.36454,153.252,,,
 A04,5,9,23,52.16209,147.709,,,
 A04,6,3,23,169.18515,160.714,,,
 A01,6,3,,,-59299.000,29372.310,9,121.026,41.679,
 A02,23,,,,0,2,,,
 A03,2,
 A04,7,4,23,191.03221,161.453,,,
 A04,4,2,23,349.18515,160.714,,,
 A01,7,4,,,-59457.442,29341.351,9,121.774,41.681,
 A02,23,,,,0,2,,,
 A03,3,
 A04,6,3,23,11.03221,161.453,,,
 A04,8,10,23,53.45583,139.967,,,
 A04,9,501,23,159.17026,72.385,,,
 A01,10,302,,,-59713.720,29291.070,9,132.180,41.684,
 A02,22,,,,0,1,H15-20-3,,
 A03,2,
 A04,9,501,23,21.55108,203.293,,,
 A04,11,306,22,176.42512,394.864,,,
 A99,

(4) 水準測量成果表フォーマット

1) コメントデータ(コメントを示すデ - タ)

Z00 , コメント , バージョン , フォーマット識別子 , CRLF

Z00	コメントを示すデ - タ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可
フォーマット 識別子	本フォーマットの種類を記載する。識別子の表記は下記のとおり。(整数1桁) 1: 基準点測量成果フォーマット 2: 簡易網基準点測量成果フォーマット 3: 水準成果表フォーマット 4: 水準測量観測成果表フォーマット	省略不可
バージョン	本フォーマットのバージョンを記述する。バージョン表記は マイナーチェンジを考慮して小数点形式とし、整数2桁、 小数点以下2桁の5桁表記とする。(02.00に固定)	省略不可

2) タイトルデータ(業務のタイトル名を示すデ - タ)

Z01 , タイトル , CRLF

Z01	タイトルを示すデ - タ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略不可

3) 種類データ(水準成果の種類を示すデ - タ)

Z03 , 成果の種類 , CRLF

Z03	成果の種類を示すデ - タ区分。	省略不可
成果の種類	桁数の制限はしない。	省略可

4) 座標出力開始データ(座標デ - タの出力開始を示すデ - タ)

S00 , CRLF

S00	座標デ - タの出力開始を示すデ - タ区分。	省略可
-----	-------------------------	-----

5) 座標データ(点の座標を示すデ - タ)

S01 , 点番号 , 点名称 , 緯度 , 経度 , X座標 , Y座標 , 座標系 , 平均標高 , 等級 , CRLF

S01	座標デ - タを示すデ - タ区分。	省略不可
点番号	11桁の整数を標準とする。	省略不可
点名称	40バイト以下	省略可
緯度 , 経度	緯度は、小数点形式(DD° . MM SS SSSS)とし、秒以下4桁までとする。 経度は、小数点形式(DDD° . MM SS SSSS)とし、秒以下4桁までとする。	省略可
X,Y	小数点形式、m単位とし、m以下1桁まで記載する。	省略可
座標系	平面直角座標系(X,Yがある時は省略不可)	省略可
平均標高	小数点形式、m単位とし、m以下4桁まで記載する。 成果がm以下3桁までの場合は最後に0を付ける。	省略不可
等級	2桁の整数とする。 11~14:1等~4等	省略不可

	21～24：1級～4級 25：簡易	
--	----------------------	--

6) 座標出力終了データ(座標データ出力終了を示すデータ)

S99 , CRLF

S99	座標データ出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	--------------------	------

出力例

Z00, SEIKA,3,02.00,
 Z01,平成 13 年度 1 級水準測量,
 Z03,2000 年度平均成果,
 S00,
 S01,000000000001,,36.02179849,140.09083291,,,9,144.6150,21,
 S01,000000000002,,36.02181949,140.09329108,,,9,109.7710,21,
 S99,

(5) 水準測量観測成果表フォーマット

1) コメントデータ(コメントを示すデ - タ)

Z00 , コメント , フォーマット識別子 , バージョン , CRLF

Z00	コメントを示すデ - タ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可
フォーマット 識別子	本フォーマットの種類を記載する。識別子の表記は下記のと おり。(整数1桁) 1: 基準点測量成果フォーマット 2: 簡易網基準点測量成果フォーマット 3: 水準成果表フォーマット 4: 水準測量観測成果表フォーマット	省略不可
バージョン	本フォーマットのバージョンを記述する。バージョン表記は マイナーチェンジを考慮して小数点形式とし、整数2桁、小 数点以下2桁の5桁表記とする。(02.00に固定)	省略不可

2) タイトルデータ(業務のタイトル名を示すデ - タ)

Z01 , タイトル , CRLF

Z01	タイトルを示すデ - タ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略可

3) 種類データ(水準成果の種類を示すデ - タ)

Z03 , 成果の種類 , CRLF

Z03	成果の種類を示すデ - タ区分。	省略不可
成果の種類	桁数の制限はしない。	省略不可

4) 出力開始データ(デ - タの出力開始を示すデ - タ)

P00 , CRLF

P00	水準測量観測成果表の出力開始を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	---------------------------	------

5) 路線開始データ(路線開始を示すデ - タ)

P01 , 路線番号 , CRLF

P01	路線開始を示すデ - タ区分。	省略不可
路線番号	桁数の制限はしない。	省略不可

6) 地区情報データ(測量地区を示すデ - タ)

P02 , 自水準点番号 , 至水準点番号 , 自地区名 , 至地区名 , CRLF

P02	地区情報を示すデ - タ区分。	省略不可
自水準点番号	先頭の自水準点番号を入力する。	省略不可
至水準点番号	最後の至水準点番号を入力する。	省略不可
自地区名	桁数の制限はしない。	省略不可
至地区名	桁数の制限はしない。	省略不可

7) 観測情報データ (観測情報を示すデ - タ)

P03 , 観測者, 測器名称, 測器番号, 標尺名称, 標尺番号, 膨張係数, 標尺係数, CRLF

P03	観測情報を示すデ - タ区分。	省略不可
観測者	桁数の制限はしない。	省略不可
測器名称	桁数の制限はしない。	省略不可
測器番号	桁数の制限はしない。	省略不可
標尺名称	桁数の制限はしない。	省略不可
標尺番号	桁数の制限はしない。	省略不可
膨張係数	小数点形式、小数点以下 2 桁まで記載する。	省略不可
標尺係数	小数点形式、小数点以下 2 桁まで記載する。	省略不可

8) 路線終了データ (路線終了を示すデ - タ)

P04 , CRLF

P04	路線終了を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	-----------------	------

9) 観測比高データ

P05 , 水準点番号 1, 水準点番号 2, 距離, 往復測点数, 水準差 1, 水準差 2, 温度, 標尺補正数, 観測高低差, 観測月日, 正標高補正数, 変動補正数, 観測高低差結果, 備考, CRLF

P05	観測比高を示すデ - タ区分。	省略不可
水準点番号 1	桁数の制限は行なわず、有効桁数に調整する。	省略不可
水準点番号 2	桁数の制限は行なわず、有効桁数に調整する。	省略不可
距離	小数点形式、km 単位とし、km 以下 3 桁まで記載する。	省略不可
往復観測数	整数値とする。	省略不可
水準差 1	小数点形式、m 単位とし、m 以下 4 桁まで記載する。	省略不可
水準差 2	小数点形式、m 単位とし、m 以下 4 桁まで記載する。	省略不可
温度	単位は摂氏とし、整数値とする。	省略不可
標尺補正数	小数点形式、mm 単位とし、mm 以下 1 桁まで記載する。	省略不可
観測高低差	小数点形式、m 単位とし、m 以下 4 桁まで記載する。	省略不可
観測月日	月と日を “/” で区切ることとする。(例 1/31)	省略不可
正標高補正数	小数点形式、mm 単位とし、mm 以下 1 桁まで記載する。楕円補正と同時に使用することは不可。	省略可
変動補正数	小数点形式、mm 単位とし、mm 以下 1 桁まで記載する。地盤沈下調査は省略不可。	省略可
観測高低差結果	小数点形式、m 単位とし、m 以下 4 桁まで記載する。地盤沈下調査は省略不可。	省略可
備考	桁数の制限はしない。	省略可

10) 観測点データ

P06 , 水準点番号, 観測標高, 楕円補正, 単路線閉合差補正, 結果, 与点・求点の別, 備考, CRLF

P06	共通情報を示すデ - タ区分。	省略不可
水準点番号	P05 で使用されている名称を使用する。	省略不可
観測標高	小数点形式、m 単位とし、m 以下 4 桁まで記載する。	省略不可
楕円補正	小数点形式、mm 単位とし、mm 以下 1 桁まで記載する。正標高補正数と同時に使用することは不可。	省略可
単路線閉合差	小数点形式、mm 単位とし、mm 以下 1 桁まで記載する。	省略可

補正		
結果	小数点形式、m 単位とし、m 以下 4 桁まで記載する。	省略不可
与点・求点の別	0：求点、1：与点	省略不可
備考	桁数の制限はしない。	省略可

P06 の重力補正は P05 に正標高補正数が追加されたので削除。

11) 距離合計データ (距離合計を示すデ - タ)

P07 , 距離合計 , CRLF

P07	路線距離合計を示すデ - タ区分。	省略不可
距離合計	小数点形式、km 単位とし、km 以下 3 桁まで記載する。	省略不可

12) 距離累計データ (距離累計を示すデ - タ)

P08 , 距離累計 , CRLF

P08	路線距離累計を示すデ - タ区分。	省略不可
距離累計	小数点形式、km 単位とし、km 以下 3 桁まで記載する。	省略不可

13) 出力終了データ (終了を示すデ - タ)

P99 , CRLF

P99	観測成果表デ - タの出力終了を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	----------------------------	------

データ構造について

P01 ~ P07 のデータは下の構造体を一組とし、必要な路線数分だけ出力される。

- Z00
- Z01
- Z03
- P00
- P01
- P02
- P03
- P05(測線数分)
- P06(測点数分)
- P07
- P04
- P01
- P02
- P03
- P05(測線数分)
- P06(測点数分)
- P07
- P04
- P01
- P02
- P03
- P05(測線数分)
- P06(測点数分)
- P07
- P04
- P08
- P99

出力例 (基準点測量計算範例集 P572)

Z00,SEIKA,4,02.00,
 Z01,平成 13 年度 1 級水準測量,
 Z03,2001 年度観測成果,
 P00,
 P01,1,
 P02,BM.1,BM.2, 県 郡 町, 県 郡 町,
 P03,観測者,測器 ,NO.12345,標尺 ,NO.1234A・B,0.89,1.7,
 P05,BM.1,41,1.300,34,4.5476,-4.5464,8,0.0,4.5470,1/28,,,,,
 P05,41,BM.2,1.206,32,-8.5199,8.5189,6,0.0,-8.5194,1/28,,,,,
 P06,BM.1,5.1245,,,5.1245,1,199 年平均成果,
 P06,41,9.6715,0.0,,9.6715,0,,
 P06,BM.2,1.1521,0.0,,1.1521,1,,
 P07,2.506,
 P04,
 P01,2,
 P02,BM.2,42, 県 郡 町, 県 郡 町,
 P03,観測者,測器 ,NO.12345,標尺 ,NO.1234A・B,0.89,1.7,
 P05,BM.2,43,1.365,34,3.1216,-3.1206,9,0.0,3.1211,1/29,,,,,
 P05,43,42,1.005,28,-2.2469,2.2453,11,0.0,-2.2461,1/28,,,,,
 P06,BM.2,1.1515,,,1.1515,1,199 年平均成果,
 P06,43,4.2726,0.0,,,4.2726,0,,
 P06,42,2.0265,0.0,,,2.0265,0,,
 P07,2.370,
 P04,
 P01,3,
 P02,42,BM.1, 県 郡 町, 県 郡 町,
 P03,観測者,測器 ,NO.12345,標尺 ,NO.1234A・B,0.89,1.7,
 P05,42,BM.1,1.405,36,3.0973,-3.0967,8,0.0,3.0970,1/30,,,,,
 P06,42,2.0265,,,2.0265,0,,
 P06,BM.1,5.1235,0.0,,,5.1235,0,1,,
 P07,1.405,
 P04,
 P01,4,
 P02,BM.2, BM.3, 県 郡 町, 県 郡 町,
 P03,観測者,測器 ,NO.12345,標尺 ,NO.1234A・B,0.89,1.7,
 P05,BM.2,44,1.023,28,6.4706,-6.4716,8,0.0,6.4711,1/30,,,,,
 P05,44,45,1.102,26,-3.0899,3.0891,7,0.0,-3.0895,1/31,,,,,
 P05,45,BM.3,1.082,26,-2.5430,2.5434,5,0.0,-2.5432,1/31,,,,,
 P06,BM.2,1.1515,,,1.1515,1,199 年平均成果,
 P06,44,7.6226,0.0,,7.6226,0,,
 P06,45,4.5331,0.0,,4.5331,0,,
 P06,BM.3,1.9899,0.0,,1.9899,1,,
 P07,3.207,
 P04,
 P01,5,
 P02,BM.3, 42, 県 郡 町, 県 郡 町,
 P03,観測者,測器 ,NO.12345,標尺 ,NO.1234A・B,0.89,1.7,
 P05,BM.3,42,1.395,40,0.0375,-0.0387,4,0.0,0.0381,1/31,,,,,
 P06,BM.3,1.9890,,,1.9890,1, 199 年平均成果,
 P065,42,2.0271,0.0,,2.0271,0,,
 P07,1.395,
 P04,
 P08,10.883,
 P99,

2. 地形測量及び写真測量成果表数値フォーマット

(1) 標定点成果表フォーマット

- 出力する座標系は、数学座標系を標準とする。
- 標定点成果表 / 簡易水準成果のファイル仕様は、1行1レコードのテキストファイルとする。
- 文字コードはASCIIコード、漢字コードはシフトJISコードとする。
- 各データの項目は、スペース又はタブによって区切るものとする。
- レコード記述方法は、次のとおりである。

情報の順番 : 点名、分類、X、Y、H、対標高

点名 : 日本語(Shift JIS)

分類 : 本点のみ(0)、本点对標(1)、対標点(2)、刺針点(3~5)、簡易水準点(6)

X : 実数 (m 単位)、平面直角座標系

Y : 実数 (m 単位)、平面直角座標系

H : 実数 (m 単位)、平面直角座標系

対標高 : 実数 (m 単位)、本点のみ場合は空白

点名	分類	X	Y	H	対標高
二等六月坂	0	-34875.23	-27007.01	60.24	
三等馬放	1	-34971.72	-26693.03	71.24	71.88
三等野沢	1	-34910.88	-26272.07	59.24	62.02
三等筒下	1	-34964.59	-25946.00	72.96	75.94
標1	1	-34834.96	-25591.08	57.45	60.64
標2	1	-34935.75	-25209.34	56.82	59.17
P1	6	57.14			
P2	6	73.48			
P3	6	72.22			
P4	6	67.19			
P5	6	58.82			
P6	6	67.22			
P7	6	57.18			

(2) 同時調整成果表(外部標定要素成果表)フォーマット

- 同時調整成果表(外部標定要素成果表)フォーマットは、1行1レコードのテキストファイルとする。
- 文字コードは、ASCIIコードとする。
- データの項目は、スペース又はタブによって区切るものとする。
- レコード記述方法は、データ区分を用いて、地上座標(POINT)と外部標定要素(PHOTO)をひとつのファイルに記述する。データの範囲は、別のデータ区分が出現するか、ファイルが終了するまでとする。なお、外部標定要素はオプションとする。
- 同時調整成果表(外部標定要素成果表)は、必須項目を含む関連データをフリーフォ

フォーマットで記述する。必須項目は、次のとおりである。

POINT : 点番号、調整後の座標 X,Y,Z

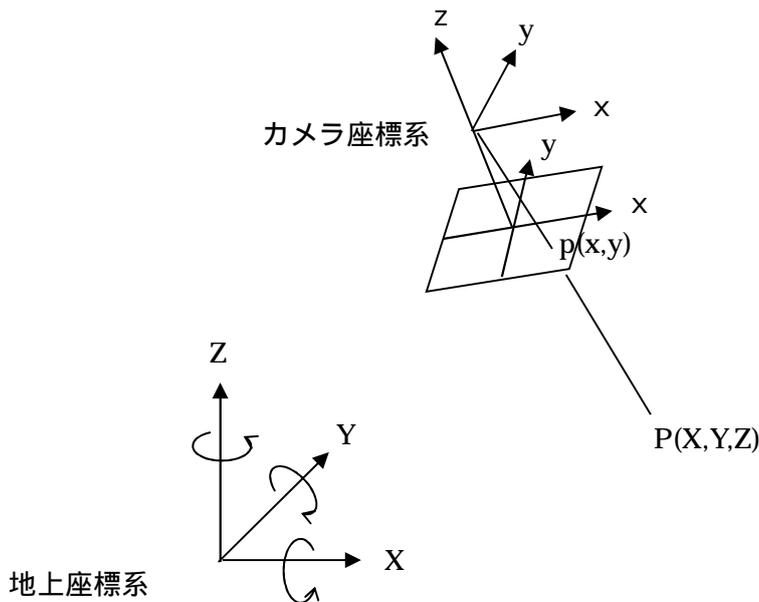
PHOTO : 写真番号、主点位置 X0、Y0、Z0、 、 、

- 位置の単位はmを標準とする。
- 出力する座標系は数学座標系を標準とする。
- 角度(, ,)は次に示す座標軸の回転順で、単位は度として、小数点以下 5 桁とする。

a) 回転順番と座標系との関係式

$$\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos \kappa & \sin \kappa & 0 \\ -\sin \kappa & \cos \kappa & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \cos \varphi & 0 & -\sin \varphi \\ 0 & 1 & 0 \\ \sin \varphi & 0 & \cos \varphi \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & \cos \omega & \sin \omega \\ 0 & -\sin \omega & \cos \omega \end{pmatrix} \begin{pmatrix} X - X_0 \\ Y - Y_0 \\ Z - Z_0 \end{pmatrix}$$

b) カメラ座標系と地上座標系の関係図



POINT 必須項目

POINT	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
1010002	-27007.019384			-34875.233929		60.249231	4	0.041	0.039	0.087
1020002	-26693.034367			-34971.726194		71.246014	4	0.032	0.032	0.075
1030002	-26272.076209			-34910.886772		59.246450	4	0.028	0.029	0.070
1040002	-25946.004007			-34964.596802		72.965954	4	0.027	0.027	0.071
1050002	-25591.083929			-34834.961127		57.457268	4	0.027	0.028	0.074
1060002	-25209.342442			-34935.753746		56.829396	4	0.026	0.027	0.073
1070002	-24844.112941			-34824.348848		57.149940	4	0.028	0.029	0.079
1080002	-24464.688994			-34963.299961		73.484600	4	0.028	0.029	0.080
1090002	-24101.873302			-34890.768352		72.223067	4	0.032	0.033	0.079
1100002	-23701.996522			-34952.156919		67.199039	4	0.039	0.041	0.087
2010002	-26999.662881			-35404.938950		58.823724	4	0.031	0.033	0.048
2020002	-26702.817197			-35579.208389		67.228761	4	0.026	0.027	0.041
PHOTO										
6904	-24594.372	-34605.243	671.840	-0.56218	1.29678	-0.39364				
6905	-24948.299	-34604.920	673.563	0.53172	-0.77237	0.06961				
6906	-25329.754	-34604.930	673.461	0.80307	0.19091	0.98822				
6907	-25686.039	-34605.940	674.329	-0.26950	0.48304	-0.65503				
6908	-26066.903	-34601.930	675.135	-1.08080	0.04133	-0.59004				
6909	-26423.336	-34595.484	673.008	-0.42375	-1.02954	-0.04323				
6910	-26808.171	-34592.378	670.688	-0.77434	-0.12508	0.82504				
6911	-27142.508	-34591.676	669.299	-0.36658	-0.08455	-0.15523				
6912	-27144.814	-35217.886	668.524	0.42876	0.80215	178.96938				
6913	-26774.825	-35218.461	670.978	0.71388	-0.44402	176.37331				
6914	-26407.240	-35226.317	675.232	0.38332	0.43221	177.34896				

PHOTO 必須項目

(3) 写真座標測定簿フォーマット

- 写真座標測定簿フォーマットは、1行1レコードのテキストファイルとする。
- 文字コードは、ASCIIコードとする。
- データの項目は、スペース又はタブによって区切るものとする。
- レコード記述方法は、基本情報、指標観測座標、観測座標、終了番号を写真枚数分、繰り返し記載する。
- 焦点距離及び座標の単位は、mmもしくは μm とし、同一とする。
- 出力する座標系は、数学座標系を標準とする。

写真番号と焦点距離

指標座標

各点の座標

写真のデリミッタ

2753153450.000	0			
1	-111811.0	97470.0		
2	100206.0	96608.0		
3	99344.0	-115400.0		
4	-112660.0	-114566.0		
27530101	-2846.0	84510.0		
27530501	-10354.0	44392.0		
27530201	-7610.0	-15368.0		
27530601	-12620.0	-47152.0		
27530301	-10685.0	-94570.0		
27540101	93763.0	77777.0		
27540501	97073.0	28073.0		
27540201	101259.0	-18583.0		
27540601	88171.0	-59681.0		
27540301	92775.0	-110689.0		
1010002	24027.0	-88097.0		
40190003	457.0	37058.0		
-99				
2754153450.000	0			
1	-113676.0	97308.0		
2	98331.0	97065.0		
3	98119.0	-114940.0		
4	-113888.0	-114729.0		
27530101	-98775.0	96965.0		
27530501	-108103.0	56506.0		
27530201	-107626.0	-4703.0		
27530601	-114209.0	-37338.0		
27530301	-115534.0	-86320.0		

(4) 調整計算簿フォーマット

- 調整計算簿フォーマットは、1行1レコードのテキストファイルとする。
- 文字コードは、ASCIIコードとする。
- レコード記述方法は、フリーフォーマットとし、使用した空中三角測量プログラムの出力形式でよい。
- 計算後の内容は、採用した調整法、空中三角測量タイポイント較差表、パスポイント及びタイポイント残差一覧表（独立モデル法）、交会残差一覧表（バンドル法、セルフキャリブレーション付きバンドル法）によって異なる。
- 座標の単位は、使用したソフトウェアの仕様に準じる。
- 出力する座標系は、数学座標系を標準とする。

```

D:\My Documents\測技協 & 地理院\電子納品\空三\納品物サンプル\CKAE4001.txt
1行 3桁 1ライン 00H,0AH 2/135,787A'イト テキスト ファラ/ホストフコセザなし
-----
          BINGO-F - VERS. 4.0 Mar2001#
          FREE NETWORK BUNDLE ADJUSTMENT FOR ENGINEERING APPLICATIONS#
          -----#
                          10:15:17 Friday, 8 February 2002#
          -----#
          SAMPLE PRINT OUT#
          -----#
          Names of connected files :#
          -----#
          Image coordinates : image.dat#
          Geo input file   : geoin.dat#
          Itera file      : itera.dat#
          Bingo list file  : bingo.lis#
          Bingo save file  : bgsave.tmp#
          A matrix file   : bgamat.tmp#
          N matrix file   : bgnmat.tmp#
          C matrix file   : bgcmat.tmp#
          I matrix file   : bgimat.tmp#
          -----#
          DATA FROM IMAGE COORDINATE FILE#
          -----#
    
```

```

D:\My Documents\測技協 & 地理院\電子納品\空三\納品物サンプル\CKAE4001.txt
1行 1桁 31H 1/266,098A'イト テキスト ファラ/ホストフコセザなし
-----
PATB-NT :                COPYRIGHT : H.KLEIN/F.ACKERMANN 1988-1999#
BLOCK ADJUSTMENT WITH BUNDLES                REVISION Jan-99#
PROJECT : SAMPLE
USER-ID. : PASCO CORP.
START OF EXECUTION : 26-01-2001 17:44:44#
-----
*****#
*****#
**#
** PROGRAM VERSION PATB-NT **#
**#
** INPUT FILES: **#
** PROJECT PARAMETERS: D:\patdata\POS\POS.PRO **#
** PHOTOGRAPHS: d:\patdata\SAMPLE\SAMPLE.ptb **#
** CONTROL POINTS: d:\patdata\SAMPLE\SAMPLE.gnd **#
**#
** INITIAL VALUES FOR EXTERIOR ORIENTATION PARAMETERS ARE CALCULATED **#
**#
** OPTIONAL FEATURES: **#
** WITHOUT AUTOMATIC GROSS ERROR DETECTION **#
** WITH CORRECTION OF EARTH CURVATURE AND REFRACTION **#
** NO CORRECTION OF SYSTEMATIC ERRORS **#
** ADJUSTMENT WITHOUT GPS-OBSERVATIONS **#
** WITH INVERSION OF NORMAL EQUATIONS **#
**#
** REGISTRATION UNITS: **#
** IMAGE SYSTEM: **#
    
```

付属資料4 CAD データ作成に当たっての留意点

1. ファイルフォーマット

電子納品する CAD データファイルは、SXF(SFC)形式とする。また、SXF のバージョンとレベルは、SXF Ver.2.0 レベル 2 とする。

【解説】

SXF (Scadec data eXchange Format) は、STEP AP202(製品モデルとの関連を持つ図面)規格を実装した CAD データ交換標準である。これは、「CAD データ交換標準開発コンソーシアム (SCADEC)(平成 11 年 3 月～平成 12 年 8 月)」、「建設情報標準化委員会 CAD データ交換標準小委員会(平成 12 年 10 月～平成 19 年 6 月)」、「建設情報標準化委員会 図面/モデル情報交換小委員会(平成 19 年 7 月～)」(いずれも事務局は(一財)日本建設情報総合センター)にて策定されたもので、ISO TC184/SC4(STEP 規格を審議する国際会議)にて、STEP 規格を実装したものであることが認知されている。

SXF の物理ファイルには国際標準に則った「P21 形式」と国内 CAD データ交換のための簡易形式である「SFC 形式」の 2 種類がある。CAD 製図基準では、SXF(SFC)形式のバージョンとレベルは、SXF Ver.2.0 レベル 2 以上を対象としている。

本要領では、SXF Ver.2.0 レベル 2 とする。また、協議により SXF Ver.3.0 レベル 2 以上及び SXF(P21)形式、SXF(P2Z)形式を使用する場合は国土交通省の関連基準等に準拠する。

2. 格納フォルダ

電子納品する CAD データファイルは、本要領「2 フォルダ構成」に従い、SURVEY フォルダ以下に格納する。

【解説】

CAD 製図基準では、CAD データは DRAWING フォルダに格納することを定めているが、測量作業では本要領「2 フォルダ構成」に従い、SURVEY フォルダ以下の測量区分、測量細区分フォルダに成果等を格納する。

3. ファイル命名

電子納品する CAD データのファイル名は、本要領「5 ファイル命名規則」による。

【解説】

CAD 製図基準では、CAD データは、ライフサイクル、整理番号、図面種類、図面番号、改訂履歴の組合せで、ファイル命名を行うが、測量作業では本要領「5 ファイル命名規則」に従い、

ファイル命名を行う。

CAD データは、SXF(SFC)、ラスタファイルのデータセットから構成されるが、各ファイルの命名規則は、図1、図2による。

ラスタファイルについては、成果種類の設定記号、同一成果種類のファイル内での連番は、対応する SXF(SFC)ファイルと一致させる。

SXF(SFC)のファイル中に記述されるラスタファイルの名称は、格納したラスタファイルの名称と必ず一致するように留意する。

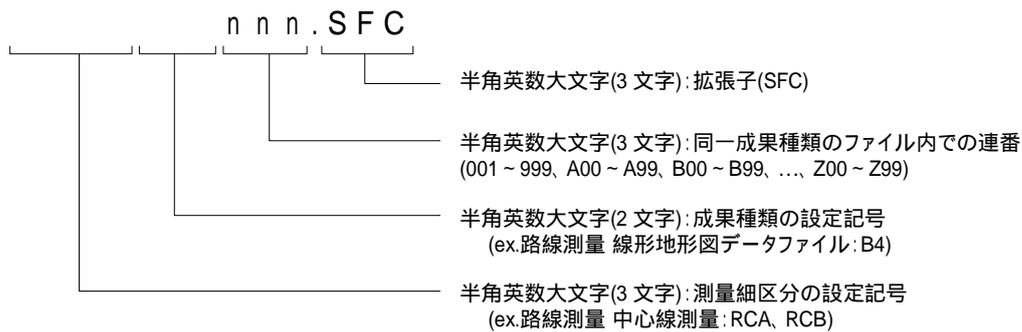


図1 SXF(SFC)ファイルの命名規則

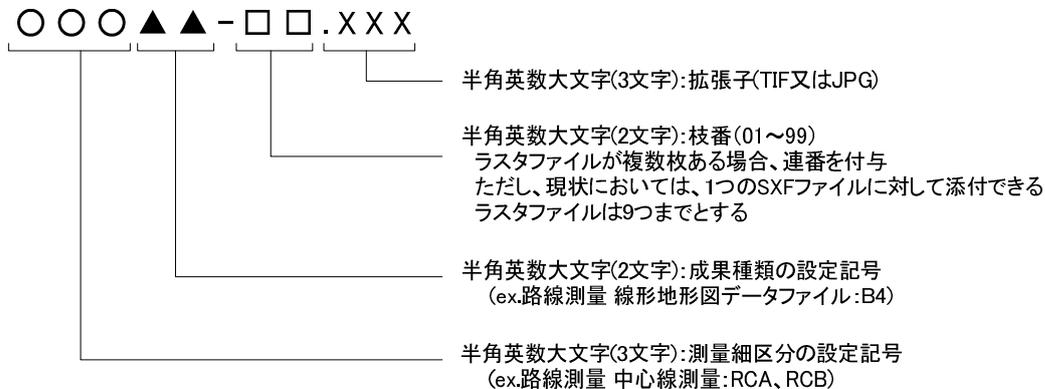


図2 ラスタファイルの命名規則

4. レイヤの名称

CAD データのレイヤ名は、表 1 による。

表 1 測量作業で作成する CAD データのレイヤ名

項目		取得分類		CAD データの レイヤ		
		取得分類コード	名称			
基 盤 地 図 情 報 に 該 当 す る も の	座標の基準	測量の基準点	7301 ~ 7312	三角点 等	S-SUV-SRVR	
	地表の高さ の基準	標高点				
		等高線(計曲線)の屈曲 点	7101、7105	等高線(計曲線) 等	S-SUV-HICN	
		等高線(主曲線)の屈曲 点	7102 ~ 7104、 7106 ~ 7108	等高線(主曲線) 等	S-SUV-LWCN	
	面的・線的に 画する基礎 的なもの	海岸線	5106	海岸線	S-SUV-COLN (COastLiNe)	
		公共施設の境界線(道 路区域界)	6522	公共施設の境 界線(道路区域 界)	S-SUV-SLOP (SLOPe)	
		公共施設の境界線(河 川区域界)	6523	公共施設の境 界線(道路区域 界)	S-SUV-BRWA (BreakWAter)	
		行政区画の境界線及 び代表点	1101 ~ 1111	都府県界 等	S-SUV-BORD (BORDER)	
			6511 ~ 6518	大字の境界 等	S-SUV-ROW	
		道路縁	2101、2106 ~ 2109、 2203、2204、 2206	真幅道路 等	S-SUV-ROAD	
		河川堤防の表法肩の 法線	6103	表法肩の法線	S-SUV-EMBA (EMBAnkment)	
		軌道の中心線	2301 ~ 2315	普通鉄道 等	S-SUV-RAIL (RAILload)	
		水涯線	5101、5103、 5104、5105	河川 等	S-SUV-RIV (RIVer)	
建築物の外周線		3001 ~ 3004	普通建物 等	S-SUV-STR (STRucture)		
地理識別子	行政区画の境界線及 び代表点(再掲)	8110 ~ 8119	市・東京都の区	S-SUV-HTXT		
	市町村の町若しくは 字の境界線及び代表 点					
	街区の境界線及び代 表点					
そ の	中心線	2505	中心線	S-SUV-CELN (CEnterLiNe)		
	中心杭、IP 点 等	2501、2503、 2504、6501、 6502	中心杭、IP 点 等	S-SUV-BMK (BenchMarK)		

他	整飾	7903、7904	タイトル(外枠)等	S-SUV-FRAM
		7906、7908	凡例(罫線)等	S-SUV-LINE
		7901、7902、7905、7907、7911～7916	図枠(外枠)等	S-SUV-TTL
	注記	(注記データ)		S-SUV-HTXT
	上記以外のデータ	(上記以外)		S-SUV

【解説】

CAD 製図基準では、CAD データのレイヤ名は、図 3 の原則に従い、レイヤの文字数は全体で 256 文字以内と規定されている。また、図面オブジェクトには、測量成果を格納するための「SUV」が割り当てられている（表 2 参照）。

測量作業で作成する CAD データは、全て S-SUV 以下のレイヤに格納することを基本とし、具体のレイヤ構成は、表 1 による。

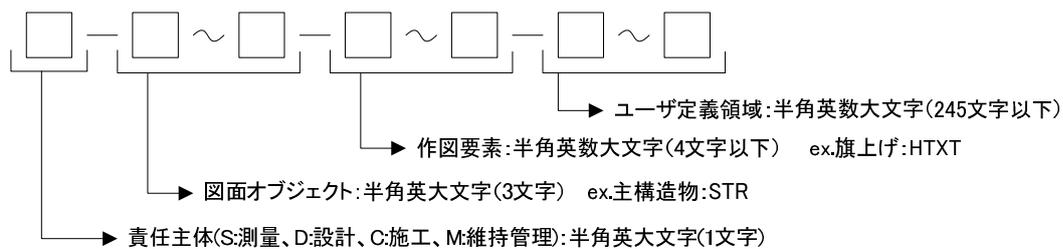


図 3 レイヤ名称の原則

表2 レイヤの図面オブジェクトの分類

図面オブジェクト			記 載 内 容
1	図 枠	TTL (TiTLe)	外枠、表題欄、罫線、文字、縦断図の帯枠
2	背 景	BGD (BackGround Drawing)	主計曲線、現況地物、既設構造物 等
3	基 準	BMK (BenchMarK)	基準点、測量ポイント、中心線、幅杭、 等
4	主構造物	STR (STRucture)	当該図面名称であらわす構造物
5	副構造物	BYP (BYProduct)	主構造図から派生する構造物
6	材 料 表	MTR (MaTeRial)	切盛土、コンクリート、鉄筋加工、 数量(購入品、規格 等)
7	説明、着色	DCR (DeCoRation)	ハッチ、シンボル、塗りつぶし、記号 等
8	文章	DOC (DOCument)	文章領域(説明事項、指示事項、参照事項、位置 図)
9	測 量	SUV (SUrVey)	地形図等の測量成果データであり改変しないデ ータ

5. CAD データの図式

CAD データの図式は、公共測量標準図式を適用する。

【解説】

公共測量標準図式は、大縮尺地形図図式(地図情報レベル 500 及び 1000)、国土基本図図式(地図情報レベル 2500 及び 5000)を包括した名称である。

CAD 製図基準では、CAD データで使用できる線種、線色、線幅、フォントなどの原則が定められているが、公共測量標準図式が、CAD 製図基準にすべて対応しているものではない。

測量作業で作成する CAD データの図式は、CAD 製図基準を適用せず、公共測量標準図式を適用する。